

六人部地域公民館・体育館大規模改修工事

表紙・図面リスト

建築						電気			機械		
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-01	表紙・図面リスト（１）	—	A-41	【公民館】改修後 階段断面詳細図（１）	1/30	A-81	【公民館】改修前 エレベーター断面詳細図	1/30	A-121	【体育館】改修前 建具表	1/60
A-02	表紙・図面リスト（２）	—	A-42	【公民館】改修前 階段断面詳細図（２）	1/10・1/30	A-82	【公民館】改修後 エレベーター断面詳細図	1/30	A-122	【体育館】改修後 建具表	1/60
A-03	建築工事特記仕様書（１）	—	A-43	【公民館】改修後 階段断面詳細図（２）	1/10・1/30	A-83	【公民館】エレベーター詳細図（１）	—	A-123	【体育館】改修前 体育室床割付図 各部詳細図	1/5・1/20・1/100
A-04	建築工事特記仕様書（２）	—	A-44	【公民館】改修前 階段断面詳細図（３）	1/30・1/50	A-84	【公民館】エレベーター詳細図（２）	1/20	A-124	【体育館】改修後 体育室床割付図 各部詳細図	1/5・1/20・1/100
A-05	建築工事特記仕様書（３）	—	A-45	【公民館】改修後 階段断面詳細図（３）	1/30・1/50	A-85	【公民館】エレベーター詳細図（３）	1/20	A-125	【体育館】改修前 体育施設配置伏図	1/100
A-06	建築工事特記仕様書（４）	—	A-46	【公民館】改修前 玄関ロビー 平面詳細図・展開図	1/60	A-86	【公民館】エレベーター詳細図（４）	1/20	A-126	【体育館】改修後 体育施設配置伏図	1/100
A-07	建築工事特記仕様書（５）	—	A-47	【公民館】改修後 玄関ロビー 平面詳細図・展開図	1/60	A-87	【公民館】エレベーター詳細図（５）	1/50	A-127	【体育館】改修前 ジャバラ式バスケット 詳細図	1/30
A-08	建築工事特記仕様書（６）	—	A-48	【公民館】改修前 玄関ロビー他 展開図	1/60	A-88	【公民館】エレベーター詳細図（６）	1/20	A-128	【体育館】改修後 ジャバラ式バスケット 詳細図	1/30
A-09	建築工事特記仕様書（７）	—	A-49	【公民館】改修後 玄関ロビー他 展開図	1/60	A-89	【公民館】エレベーター詳細図（７）	1/20	A-129	【体育館】改修前 鉄骨詳細図（１）	1/30
A-10	建築工事特記仕様書（８）	—	A-50	【公民館】改修前 事務室 平面詳細図・展開図	1/60	A-90	【体育館】仕上表	—	A-130	【体育館】改修前 鉄骨詳細図（２）	1/30
A-11	建築改修工事特記仕様書（１）	—	A-51	【公民館】改修後 事務室 平面詳細図・展開図	1/60	A-91	【体育館】改修前 １階平面図	1/100	A-131	【体育館】改修後 部分詳細図（１）	1/10
A-12	EV特記仕様書（１）	—	A-52	【公民館】改修前 図書室 平面詳細図・展開図	1/60	A-92	【体育館】改修後 １階平面図	1/100	A-132	【体育館】改修後 部分詳細図（２）	1/10・1/20・1/50
A-13	EV特記仕様書（２）	—	A-53	【公民館】改修後 学習室 平面詳細図・展開図	1/60	A-93	【体育館】改修前 １階（上部）平面図	1/100	A-133	【新築棟】仕上表	—
A-14	付近見取図	1/2500	A-54	【公民館】改修前 和室 平面詳細図・展開図	1/60	A-94	【体育館】改修後 １階（上部）平面図	1/100	A-134	【新築棟】１階平面図	1/100
A-15	改修前 配置図	1/400	A-55	【公民館】改修後 和室 平面詳細図・展開図	1/60	A-95	【体育館】改修前 屋根平面図	1/100	A-135	【新築棟】立面図・断面図	1/100
A-16	改修後 配置図	1/400	A-56	【公民館】改修前 便所・洗面所・多目的便所・廊下 平面詳細図・展開図	1/60	A-96	【体育館】改修後 屋根平面図	1/100	A-136	【新築棟】矩計図（１）	1/30
A-17	敷地求積図	1/400	A-57	【公民館】改修後 便所・授乳室・バリアフリー便所・廊下 平面詳細図・展開図（１）	1/60	A-97	【体育館】改修前 平面詳細図・立面図（１）	1/100	A-137	【新築棟】矩計図（２）	1/30
A-18	建物求積図（１）	1/200	A-58	【公民館】改修後 便所・授乳室・バリアフリー便所・廊下 平面詳細図・展開図（２）	1/60	A-98	【体育館】改修後 平面詳細図・立面図（１）	1/100	A-138	【新築棟】平面詳細図	1/30
A-19	建物求積図（２）	1/200	A-59	【公民館】改修前 ホール・廊下・便所・湯沸室・倉庫・会議室 平面詳細図・展開図（１）	1/60	A-99	【体育館】改修前 立面図（２）	1/100	A-139	【新築棟】展開図（１）	1/50
A-20	【公民館】仕上表（１）	—	A-60	【公民館】改修後 ホール・廊下・便所・湯沸室・倉庫・会議室 平面詳細図・展開図（１）	1/60	A-100	【体育館】改修後 立面図（２）	1/100	A-140	【新築棟】展開図（２）	1/50
A-21	【公民館】仕上表（２）	—	A-61	【公民館】改修前 ホール・廊下・便所・湯沸室・会議室・倉庫 平面詳細図・展開図（２）	1/60	A-101	【体育館】改修前 断面図	1/100	A-141	【新築棟】展開図（３）	1/50
A-22	【公民館】改修前 １階平面図	1/100	A-62	【公民館】改修後 ホール・廊下・便所・湯沸室・会議室・倉庫 平面詳細図・展開図（２）	1/60	A-102	【体育館】改修後 断面図	1/100	A-142	【新築棟】展開図（４）	1/50
A-23	【公民館】改修後 １階平面図	1/100	A-63	【公民館】改修前 天井伏図	1/150	A-103	【体育館】改修前 矩計図１	1/30	A-143	【新築棟】建具キープラン・天井伏図	1/100
A-24	【公民館】改修前 ２階平面図	1/100	A-64	【公民館】改修後 天井伏図	1/150	A-104	【体育館】改修後 矩計図１	1/30	A-144	【新築棟】建具表（１）	1/50
A-25	【公民館】改修後 ２階平面図	1/100	A-65	【公民館】改修前 建具キープラン	1/200	A-105	【体育館】改修前 矩計図２	1/30	A-145	【新築棟】建具表（２）	1/50
A-26	【公民館】改修前 R階平面図	1/100	A-66	【公民館】改修後 建具キープラン	1/200	A-106	【体育館】改修後 矩計図２	1/30	A-146	【新築棟】部分詳細図（１）	1/5・1/20
A-27	【公民館】改修後 R階平面図	1/100	A-67	【公民館】改修前 建具表（１）	1/60	A-107	【体育館】改修前 渡り廊下 平面詳細図	1/30	A-147	【新築棟】部分詳細図（２）	1/5・1/10
A-28	【公民館】改修前 立面図	1/150	A-68	【公民館】改修後 建具表（１）	1/60	A-108	【体育館】改修後 渡り廊下 平面詳細図	1/30	A-148	【新築棟】部分詳細図（３）	1/20
A-29	【公民館】改修後 立面図	1/150	A-69	【公民館】改修前 建具表（２）	1/60	A-109	【体育館】改修前 渡り廊下 断面詳細図	1/30	A-149	【外構】改修前 外構図（１）	1/250
A-30	【公民館】改修前 断面図	1/150	A-70	【公民館】改修後 建具表（２）	1/60	A-110	【体育館】改修後 渡り廊下 断面詳細図	1/30	A-150	【外構】改修後 外構図（１）	1/250
A-31	【公民館】改修後 断面図	1/150	A-71	【公民館】改修前 建具表（３）	1/60	A-111	【体育館】改修前 体育室・器具庫 展開図	1/60	A-151	【外構】改修前 外構図（２）	1/60
A-32	【公民館】改修前 矩計図（１）	1/30	A-72	【公民館】改修後 建具表（３）	1/60	A-112	【体育館】改修後 体育室・器具庫 展開図	1/60	A-152	【外構】改修後 外構図（２）	1/60
A-33	【公民館】改修後 矩計図（１）	1/30	A-73	【公民館】改修前 部分詳細図（１）	1/10	A-113	【体育館】改修前 体育室・ホール・物置 展開図	1/60	A-153	【外構】改修前 部分詳細図（１）	1/20・1/30・1/50
A-34	【公民館】改修前 矩計図（２）	1/30	A-74	【公民館】改修後 部分詳細図（１）	1/10	A-114	【体育館】改修後 体育室・ホール・物置 展開図	1/60	A-154	【外構】改修前 部分詳細図（２）	1/10・1/20・1/50
A-35	【公民館】改修後 矩計図（２）	1/30	A-75	【公民館】改修後 部分詳細図（２）	1/10	A-115	【体育館】改修前 体育室・更衣室 展開図	1/60	A-155	【外構】改修前 部分詳細図（３）	1/10・1/30
A-36	【公民館】改修前 矩計図（３）	1/30	A-76	【公民館】改修後 部分詳細図（３）	1/10・1/30	A-116	【体育館】改修後 体育室・更衣室 展開図	1/60	A-156	【外構】改修前 部分詳細図（４）	1/40
A-37	【公民館】改修後 矩計図（３）	1/30	A-77	【公民館】改修後 部分詳細図（４）	1/40	A-117	【体育館】改修前 建具キープラン（１）	1/100	A-157	【外構】改修前 部分詳細図（５）	1/50
A-38	【公民館】改修前 矩計図（４）	1/30	A-78	【公民館】改修後 部分詳細図（５）	1/10	A-118	【体育館】改修後 建具キープラン（１）	1/100	A-158	【外構】改修後 部分詳細図（１）	1/20
A-39	【公民館】改修後 矩計図（４）	1/30	A-79	【公民館】改修後 部分詳細図（６）	1/10	A-119	【体育館】改修前 建具キープラン（２）	1/100	A-159	【外構】改修後 部分詳細図（２）	1/20・1/30
A-40	【公民館】改修前 階段断面詳細図（１）	1/30	A-80	【公民館】改修後 部分詳細図（７）	1/30・1/50	A-120	【体育館】改修後 建具キープラン（２）	1/100	A-160	【外構】改修後 部分詳細図（３）	1/10・1/20・1/40

六人部地域公民館・体育館大規模改修工事

表紙・図面リスト

建築			電気					機械			
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-161	【外構】改修後 部分詳細図（４）	1/5・1/10	E-01	電気設備工事特記仕様書（１）	—	E-41	【体育館】拡声設備 機器姿図（１）	—	M-01	機械設備工事特記仕様書（１）	—
A-162	【外構】改修後 部分詳細図（５）	1/5・1/10・1/20 1/30・1/50	E-02	電気設備工事特記仕様書（２）	—	E-42	【体育館】拡声設備 機器姿図（２）	—	M-02	機械設備工事特記仕様書（２）	—
A-163	【外構】改修後 部分詳細図（６）	1/20・1/50	E-03	配置図（改修後）	1/400	E-43	【体育館】改修後 １階平面図 拡声設備	1/100	M-03	改修前 部分配置図	1/150
A-164	【外構】改修後 部分詳細図（７）	1/10・1/30	E-04	受変電設備 屋外キュービクル単線結線図・姿図	—	E-44	【体育館】改修後 １階(上部) 平面図 拡声設備	1/100	M-04	改修後 部分配置図	1/150
A-165	【グラウンド】改修前 配置図・平面図・断面図	1/40・1/50 1/300・1/800	E-05	電灯分電盤リスト（１）	—	E-45	【体育館】改修後 １階平面図 火災報知設備（自動火災報知）	1/100	M-05	給排水衛生器具設備 衛生器具リスト	—
A-166	【グラウンド】改修後 配置図	1/300 1/800	E-06	電灯分電盤リスト（２）	—	E-46	【体育館】改修後 １階(上部) 平面図 火災報知設備（自動火災報知）	1/100	M-06	【公民館】改修前 給排水衛生器具設備 １階平面図	1/100
A-167	【グラウンド】パブリックトイレ詳細図	1/50	E-07	動力制御盤盤リスト	—	E-47	【体育館】改修前 １階平面図 電灯設備（電灯・コンセント分岐）	1/100	M-07	【公民館】改修後 給排水衛生器具設備 １階平面図	1/100
A-168	【グラウンド】倉庫 平面図・立面図・基礎	1/30	E-08	【公民館】改修後 １階平面図 電灯動力設備（電灯動力幹線・分岐）	1/100	E-48	【体育館】改修前 １階(上部) 平面図 電灯設備（電灯分岐）	1/100	M-08	【公民館】改修前 給排水衛生器具設備 ２階平面図	1/100
			E-09	【公民館】改修後 ２階平面図 電灯動力設備（電灯動力幹線・分岐）	1/100	E-49	【体育館】改修前 １階平面図 拡声設備	1/100	M-09	【公民館】改修後 給排水衛生器具設備 ２階平面図	1/100
			E-10	【公民館】改修後 １階平面図 電灯設備（コンセント分岐）	1/100	E-50	【体育館】改修前 １階(上部) 平面図 拡声設備	1/100	M-10	【公民館】改修前・改修後 給排水衛生器具設備 １階平面詳細図（１）	1/50
S-01	構造特記仕様書	—	E-11	【公民館】改修後 ２階平面図 電灯設備（コンセント分岐）	1/100	E-51	【体育館】改修前 １階平面図 火災報知設備（自動火災報知）	1/100	M-11	【公民館】改修前・改修後 給排水衛生器具設備 １階平面詳細図（２）	1/50
S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）	—	E-12	照明器具姿図（１）	—	E-52	【体育館】改修前 １階(上部) 平面図 火災報知設備（自動火災報知）	1/100	M-12	【公民館】改修前・改修後 給排水衛生器具設備 １階平面詳細図（３）	1/50
S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）	—	E-13	照明器具姿図（２）	—	E-53	【新築棟】１階平面詳細図 電灯動力設備（電灯動力幹線分岐・コンセント分岐）	1/50	M-13	【公民館】改修前・改修後 給排水衛生器具設備 １階平面詳細図（１）	1/50
S-04	鉄骨工作標準図（１）	—	E-14	【公民館】改修後 １階平面図 電灯設備（電灯分岐）	1/100	E-54	【新築棟】１階平面詳細図 電灯設備（電灯分岐 非常照明・誘導灯）	1/50	M-14	【公民館】改修前・改修後 給排水衛生器具設備 ２階平面詳細図	1/50
S-05	鉄骨工作標準図（２）	—	E-15	【公民館】改修後 ２階平面図 電灯設備（電灯分岐）	1/100	E-55	【新築棟】１階平面詳細図 弱電設備	1/50	M-15	【公民館】改修前 空気調和・換気設備 機器リスト	—
S-06	QLTマシ合成スラブ設計・施工標準	—	E-16	【公民館】改修後 １階平面図 電灯設備（電灯分岐 非常照明・誘導灯）	1/100	E-56	【新築棟】１階平面詳細図 火災報知設備（自動火災報知）	1/50	M-16	【公民館】改修前 空気調和・換気設備 １階平面図	1/100
S-07	柱状図	—	E-17	【公民館】改修後 ２階平面図 電灯設備（電灯分岐 非常照明・誘導灯）	1/100	E-57	発電設備（太陽光発電）特記仕様書	—	M-17	【公民館】改修前 空気調和・換気設備 ２階平面図	1/100
S-08	【公民館】EV 伏図・軸組図・架構詳細図	1/50・1/100	E-18	拡声・テレビ共同受信設備 系統図	—	E-58	発電設備（太陽光発電）配置図（改修後）	1/400	M-18	【公民館】改修前 空気調和・換気設備 R階平面図	1/100
S-09	【公民館】EV 部材リスト	1/30	E-19	弱電設備 機器姿図	—	E-59	発電設備（太陽光発電）単線結線図	—	M-19	【公民館・新築棟】改修後 空気調和設備 機器リスト	—
S-10	【新築棟】伏図	1/100	E-20	【公民館】改修後 １階平面図 弱電設備	1/100	E-60	発電設備（太陽光発電）機器姿図	—	M-20	【公民館】改修後 空気調和設備 １階平面図	1/100
S-11	【新築棟】軸組図（１）	1/100	E-21	【公民館】改修後 ２階平面図 弱電設備	1/100	E-61	発電設備（太陽光発電）太陽電池配置図・機器基礎図	1/100 ・1/40・1/25	M-21	【公民館】改修後 空気調和設備 ２階平面図	1/100
S-12	【新築棟】軸組図（２）	1/100	E-22	火災報知設備（自動火災報知）系統図	—				M-22	【公民館】改修後 空気調和設備 R階平面図	1/100
S-13	【新築棟】部材リスト（１）	1/30	E-23	【公民館】改修後 １階平面図 火災報知設備（自動火災報知）	1/100				M-23	【公民館・新築棟】改修後 換気設備 機器リスト	—
S-14	【新築棟】部材リスト（２）	1/30	E-24	【公民館】改修後 ２階平面図 火災報知設備（自動火災報知）	1/100				M-24	【公民館】改修後 換気設備 １階平面図	1/100
S-15	【新築棟】架構詳細図・部分詳細図	1/30・1/50	E-25	配置図（改修前）	1/400				M-25	【公民館】改修後 換気設備 ２階平面図	1/100
			E-26	受変電設備 屋外キュービクル単線結線図・姿図撤去	—				M-26	【体育館】改修後 消火設備 １階平面図	1/100
			E-27	【公民館】改修前 １階平面図 電灯動力設備（電灯動力幹線・分岐）	1/100				M-27	【新築棟】給排水衛生器具設備 平面図	1/50
			E-28	【公民館】改修前 ２階平面図 電灯動力設備（電灯動力幹線・分岐）	1/100				M-28	【新築棟】空気調和・換気設備 平面図	1/100
			E-29	【公民館】改修前 １階平面図 電灯設備（コンセント分岐）	1/100						
			E-30	【公民館】改修前 ２階平面図 電灯設備（コンセント分岐）	1/100						
			E-31	【公民館】改修前 １階平面図 電灯設備（電灯分岐）	1/100						
			E-32	【公民館】改修前 ２階平面図 電灯設備（電灯分岐）	1/100						
			E-33	【公民館】改修前 １階平面図 電灯設備（電灯分岐 非常照明・誘導灯）	1/100						
			E-34	【公民館】改修前 ２階平面図 電灯設備（電灯分岐 非常照明・誘導灯）	1/100						
			E-35	【公民館】改修前 １階平面図 弱電設備	1/100						
			E-36	【公民館】改修前 ２階平面図 弱電設備	1/100						
			E-37	【公民館】改修前 １階平面図 火災報知設備（自動火災報知）	1/100						
			E-38	【公民館】改修前 ２階平面図 火災報知設備（自動火災報知）	1/100						
			E-39	【体育館】改修後 １階平面図 電灯設備（電灯・コンセント分岐）	1/100						
			E-40	【体育館】改修後 １階(上部) 平面図 電灯設備（電灯分岐）	1/100						

章

項

目

特

記

事

項

4

地業工事

⑥砂利及び砂地業
(4.6.2)
(4.6.3)

⑦捨てコンクリート地業
(4.6.4)

⑧床下防湿層
(4.6.5)

⑨土間断熱材

10 地盤改良

6

コンクリート工事

①コンクリートの種類
(6.2.1)

②コンクリートの強度
(6.2.2)
(6.2.4)
(6.10.2)
(6.14.1)

③セメントの類別
(6.3.1)

④骨材
(6.3.1)

⑤混和材料
(6.3.1)

⑥構造体強度補正值
(6.3.2)

⑦打継ぎ
(6.6.4)

⑧型枠(せき板)
(6.2.5)
(6.8.1)
(6.8.2)

⑨スリーブ
(6.8.2)

章

項

目

特

記

事

項

種類 ※普通コンクリート
類別 ※Ⅰ種 ○Ⅱ種 (表6.2.1)

設計基準強度 (F_c)

打設部位	F _c (N/mm ²)	スラブ (cm)	備考
構造体	基礎	○21 ●24 ●15 ○18	
	上部	○21 ●24 ○15 ※18	土間スラブを含む
土間コンクリート	●18 ○15 ○18	●15 ○18	側溝・犬走り
捨コンクリート	●18 ○15	●15 ○18	
軽量コンクリート	○21 ●18	※21 ●18	
無筋コンクリート	※18 ○15 ○18	標仕6.14.1による	

※構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。
[F_c + 構造体強度補正值 (S)] N/mm²
(6.14.1)によるもの及び土間コンクリートは構造体強度補正は行わない

※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種
○高炉セメントのB種 (適用箇所)
○シリカセメント
○フライアッシュセメントのB種 (適用箇所)

粗骨材 ※砂利 (JIS A5308)、砕石 (JIS A5005) ○高炉スラグ ○電気炉酸化スラグ
○再生骨材H
細骨材 ※砂 (JIS A5308)、砕砂 (JIS A5005) ○高炉スラグ ○電気炉酸化スラグ
○銅スラグ ○ポロックスラグ
○再生骨材H
アルカリシリカ反応性による区分 ※A (無害) ○

○混和剤 ※AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤のⅠ種 (JIS A 6204)
防錆剤 ※鉄筋コンクリート用防錆剤 (JIS A 6025)
○混和材 ※フライアッシュ (JIS A 6201) Ⅰ種、Ⅱ種若しくはⅣ種
○コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206)
○コンクリート用シリカフューム (JIS A 6207)
○コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)

※気温による構造体強度補正值 (S) (表6.3.2)

予想平均気温 (℃)	補正值 (S)	期 間 (打 設 日)		
普通	早強	南部地域	中部地域	北部地域
8以上	5以上	3 3/6 ~ 6/30 N/mm ²	3/11 ~ 7/20 9/11 ~ 11/15	3/11 ~ 7/10 9/1 ~ 11/5 9/1 ~ 10/31
0以上	0以上	6 11/16 ~ 3/5 N/mm ²	11/6 ~ 3/10	11/1 ~ 3/10

南部地域 (京都市 (一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村)
北部地域 (宮津市、旧加悦町以北の市町)
中部地域 (上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町含む)

位置 ※構造図による ○標仕 6.6.4 (1) による
目地の寸法 ※図示による ○

合板の規格 ※「合板の日本農林規格」の「コンクリート型枠用合板の規格」による合板
合板の材種 ※広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板
厚さ (mm) ※12 ○

打直し仕上げのせき板
※合板せき板を用いる場合 (表6.2.4)

種 別	板 面 の 品 質	施 工 箇 所
○ A 種	※6.8.2 (2) (7) ○	
● B 種	※6.8.2 (2) (4) ○	基礎・立上り
○ C 種	※6.8.2 (2) (4) ○	

○合板せき板を用いない場合
せき板の材料

コンクリートの仕上りの平たんさ

種 別	適 用 箇 所
○ a 種	
● b 種	基礎・立上り
○ c 種	

外部に面する打直し仕上げの打増し厚さ ※図示による ○20mm
ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法 ※図示による ○

スリーブの材種 (表6.8.1)

適 用 箇 所	材 種 (規 格 そ の 他)
水密を要する地中部分等	※つば付き銅管 (JIS G3452 の黒管に厚さ6mm以上、つば幅50mm以上の銅板を溶接したもの)
水密を要しない地中部分等	※硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K6741 のVU)
上記以外の円形スリーブ	※溶融亜鉛めっき鋼板 (径200mm以下は厚0.4mm以上、径200mmを超え350mm以下は厚0.6mm以上) ○

章

項

目

特

記

事

項

⑩コンクリートの試験
(6.9.2)
~ (6.9.5)

⑪軽量コンクリート
(6.10.1)
~ (6.10.3)

⑫寒中コンクリート
(6.11.1)

⑬暑中コンクリート
(6.12.2)

14 マスコンクリート
(6.13.1)
(6.13.2)

15 無筋コンクリート
(6.14.1)

⑭コンクリートミキサー車の過積載防止対策等

1 鉄骨の製作工場
(7.1.3)

②施工管理技術者
(7.1.4)

③鋼材
(7.2.1)

④高力ボルト
(7.2.2)
(7.4.2)

5 溶融亜鉛めっき高力ボルト
(7.2.2)
(7.4.2)

⑥普通ボルト
(7.2.3)
(7.3.8)

⑦溶接材料 (7.2.5)

⑧ターンバックル
(7.2.6)

⑨デッキプレート
(7.2.7) (7.7.8)

※フレッシュコンクリートの試験
○省略する

常時土又は水に直接接する部分の使用 ○可 ○不可
種類 ○1種 ○2種
施工箇所
気乾単位容積質量 t/m³

予想平均気温が表6.3.2に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第11節 (寒中コンクリート) による。

※暑中における構造体強度補正值 (S)

地 域	日平均気温が25度を超える期間 (打設日)	補 正 値
北 部 地 域	7 月 1 1 日 ~ 8 月 3 1 日	※ 6 N/mm ² ○ 3 N/mm ²
中 部 地 域	7 月 2 1 日 ~ 8 月 3 1 日	
南 部 地 域	7 月 1 1 日 ~ 9 月 1 0 日	

施工箇所
セメントの種類 ○中熱ポルトランドセメント ○シリカセメント
○低熱ポルトランドセメント
○高炉セメントB種
○フライアッシュセメントB種
○普通ポルトランドセメント
混和材料 ○混和剤 ※AE減水剤又は高性能AE減水剤 (JIS A 6204)
○
○混和材 ○フライアッシュのⅡ種 (JIS A 6201)
○高炉スラグ微粉末の3000若しくは4000 (JIS A 6206)
○
スラブ ※15cm ○

コンクリートの種類 ※普通コンクリート ○

受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車1台毎の積載量が把握できる運搬管理表を検査時に提出しなければならない。

※建築基準法第77条の5第61項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構 (旧(社)全国鐵構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(○S ○H ●M ○R ○J) グレード」として、国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
○監督職員の承諾する工場 (標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る)
適用する

種類 形状及び寸法 ※図示による ○

ボルトの区分 ●トルシア形高力ボルト ○溶融亜鉛めっき高力ボルト
●J1S形高力ボルト ○
ねじの呼び ●図示
すべり係数試験 ●行わない
○行う 試験方法等 ○図示による ○

セットの種類 ○1種 (F8T) 相当
摩擦面の処理 ○プラスト処理 (表面粗度50μmRz以上)
○リン酸塩処理
すべり耐力等の確認方法 ※すべり耐力試験
試験方法等 ○図示による ○

ねじの呼び ●図示
母屋又は胴縁の取付けに使用する普通ボルトの孔径 ○ ※呼び径+1.0mm

溶接材料 ※標準仕様書7.2.5 (1) (2) による
○図示による
○

胴の種類 ※割枠式 ○パイプ式
ボルトの種類 ※羽子板ボルト ○両ねじボルト ○アイボルト
ねじの呼び ●図示

材質、形状及び寸法 ※図示による ○
デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法 図示による

章

項

目

特

記

事

項

7

鉄骨工事

⑩工作図
(7.3.2)

11 仮組
(7.3.10)

⑫溶接作業における技能資格者
(7.6.3)

⑬溶接接合
(7.6.4)
(7.6.7)

⑭溶接部の試験
(7.6.12)

⑮耐火被覆
(7.9.2)
~ (7.9.7)

16 アンカーボルト
(7.2.4)
(7.3.2)
(7.10.3)

⑰柱底均しモルタル
(7.2.9)
(7.10.3)

高力鋼材、普通鋼材の「ゲージ、ピッチ、へりあき等」
※図示による (図に無い場合は鉄骨設計基準による)

○実施する 部位 ()
○実施しない

溶接作業者の技量付加試験
※行わない
○行う 試験の要領 ○図示による () ○

開先の形状
○図示による ●構造関係共通図 (鉄骨標準図) による
○
エンドタブの切断 ●有 ○無
適用箇所 ※図示による ○
切断面の仕上げ ※「ライジング」により、粗さ100μmRz程度以下及び「フ」深さ1mm程度以下
○

スカラップの形状
○図示による ○構造関係共通図 (鉄骨標準図) による
●改良型スカラップ

完全溶込溶接部の超音波探傷試験
※行う ○行わない
●工場溶接
AQL ●4.0% ○2.5%
検査水準 ●第6水準 (節全て)
●工事現場溶接

H12建設省告示第1464号第二号に関する外観試験方法等
○「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強」(独立行政法人建築研究所)」3.5.2による受入検査
○抜き取り検査① ※抜き取り検査②

JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付則3「溶接」に関する試験方法等
○JASS 10.4 [受入検査] e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波深傷試験の試験箇所と同一とする。
外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。

種別

種 別	材 料 ・ 工 法	適用箇所 (部位・部分)
●耐火材吹付け	○乾式吹付ロックウール ●半乾式吹付ロックウール ○湿式ロックウール ○	柱 梁 (EVシャフト EVホール)
○耐火板張り	○繊維強化ケイ酸カルシウム板 ○	
○耐火材巻付け	○高断熱ロックウール ○	
○5mm張り珪藻土塗り	-	
○耐火塗料		

材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする

性能

性 能	適 用 箇 所 (部 位 ・ 部 分)
○30分耐火	
●1時間耐火	2階 柱 梁、床、屋根
●2時間耐火	1階 柱 梁
○3時間耐火	

適用
●構造用アンカーボルト
種類 ○SNR400B ●図示
アンカーフレームの形状及び寸法
○図示による ○

○建方用アンカーボルト
種類 ○SS400
アンカーボルトの保持及び埋め込み工法 (表7.10.1)
種別 ○A種 ○B種
柱底均しモルタルの厚さ ○50mm ○30mm

モルタルの種類 ※無収縮モルタル ○
材料・割合等 ※標示 7.2.9 (2) (7)から(7)による ○
厚さ ※図示による ○
工法 ※A種 ○B種

1/100

1/200

1/300

1/400

1/500

1/600

1/700

1/800

1/900

1/1000

株式会社 山崎設計

一級建築士事務所京都府知事登録 (01A) 第02439号

一級建築士 大臣登録 第 219288 号 山崎友也

設計番号

設計年度

令和 年 月

課長

担当課長

副課長

担当

工事名

図名

縮尺

—

六人部地域公民館・体育館大規模改修工事

建築工事特記仕様書 (2)

図 番

No. A-004

168

枚の内

Ver. H25.02

A2 594 x 420

7

鉄骨工事

⑮

錆止め塗料

(7.8.4)
(18.3.2)

塗料の種類

●鉄鋼面の錆止め塗料

●表18.3.1による※A種○B種

○亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料

○表18.3.2による※A種○B種○C種

鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る)

○表18.3.1による※A種○B種

耐火被覆材の接着する面への塗装

○行わない○行う(範囲○図示による○)

耐火被覆材の接着する面以外への塗装

○行わない○行う(範囲○図示による○)

8

コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1補強コンクリートブロック造

(8.2.2)~(8.2.8)

ブロックの種類

○16(C種)普通ブロック○16-W(C種)防水ブロック

モジュール呼び寸法及び正味厚さ○図示による○

コンクリートの設計基準強度F_o(N/mm²)

充填用及びまぐさ※21以上○

上記以外※21以上○

各部の配筋※図示による

モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲○図示による○

2コンクリートブロック壁及び塀

(8.3.2)~(8.3.4)

ブロックの種類

(表8.3.1)

適用箇所

種類

記号

間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀

※空洞ブロック

16

○

外壁の化粧積み

○空洞ブロック

16-W

○

モジュール呼び寸法及び正味厚さ

○図示による○

塀の厚さ

○図示による○

壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状

※図示による

各部の配筋

※図示による

塀化粧ブロック

○有()

ブロック塀の基礎及び控壁のコンクリートの設計基準強度F_o(N/mm²)

○18※21○

3ALCパネル

(8.4.2)~(8.4.5)

パネルの種類

(表8.4.2)(表8.4.3)(表8.4.4)

区分

単位荷重(N/m²)

厚さ(mm)

構造法

耐火性能

○外壁パネ

※1180○1960

※100

○A種

※有り(時間)

○無し

○間仕切パネ

※640○

※100

○C種

○E種

※有り(時間)

○無し

○D種

○無し

○屋根パネ

※980○

※100

※F種

※有り(時間)

○無し

○床パネ

○2350○3530

○100

※F種

※有り(時間)

○無し

○150

○無し

パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材

○図示による○

外壁パネの工法

※本特記仕様書「1章一般共通事項4風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。

※建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。

パネル幅の最小限度

※300mm○

パネの出隅及び入隅のパネ接合部並びにパネと他部材との取り合い部の目地幅

mm

伸縮調整目地への耐火目地材の充填○適用する○適用しない

4押出成形セメント板

(ECP)

(8.5.2)~(8.5.5)

種類

※無糸綿タイプ(タイプⅡ)

施工箇所

表面形状

厚さ(mm)

工法

耐火性能

○外壁

※フラットパネル

○35

○A種

※有り(時間)

○無し

○デザインパネル(図示)

○50

○B種

○無し

○タイルベースパネル

○60

○C種

○有り(時間)

○無し

○間仕切り

※フラットパネル

○35

○B種

○有り(時間)

○無し

○デザインパネル(図示)

○50

○C種

○有り(時間)

○無し

○タイルベースパネル

○60

○C種

○有り(時間)

○無し

外壁パネの工法

※本特記仕様書「1章一般共通事項4風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。

※建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。

パネル幅の最小限度

※300mm○

パネ相互の目地幅

○図示による○

出隅及び入隅のパネ接合部目地の目地幅

※15mm○

やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出すること。

開口の大きさ

切断後のパネの残り部分の幅

パネに開口を設ける場合

短辺

長辺

パネを切り欠く場合

短辺

長辺

9

防水工事

①

アスファルト防水

(9.2.2)~(9.2.5)

(表9.2.3)~(表9.2.9)

種別

防水層

施工箇所

仕上塗料

種類

使用量

○保護防水

○A-1●A-2○A-3

表9.2.3

○A1-1○A1-2○A1-3

表9.2.4

○B-1○B-2○B-3

表9.2.5

○B1-1※B1-2○B1-3

表9.2.6

○露出防水

※D-1○D-2○D-3

表9.2.7

○D-4

表9.2.8

○D1-1○D1-2

表9.2.8

○屋内防水

※E-1○E-2

表9.2.9

○断熱材(屋根保護防水断熱工法)

厚さ

mm

○断熱材(屋根露出防水断熱工法)

厚さ

mm

種類

ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置

※図示による○

絶縁用シート

※ポリエチレンフィルム厚0.15(保護防水工法)

○フラットヤーンクロス(70g/m²程度)(保護防水断熱工法)

○

押え金物

※アルミニウム製L-30×15×2.0○

立上り部の保護

○乾式保護材()

○普通れんが○化粧れんが○

○コンクリート(工法)

保護層

平場のコンクリート厚さ

○mm

○こて仕上げ

mm

○床タイル張り等仕上げ

mm

屋上排水溝

※図示による

脱気装置(露出防水絶縁(断熱)工法)

※設ける

材種()

設置数量(1箇所/ m²)

②

改質アスファルトシート防水

(9.3.2)~(9.3.4)

(表9.3.1)~(表9.3.3)

種別

防水層

施工箇所

仕上塗料

種類

使用量

○AS-T1○AS-T2

表9.3.1

●AS-T3○AS-T4○AS-J1

表9.3.2

○AS1-T1○AS1-J1

表9.3.3

断熱材(露出防水断熱工法)

厚さ

mm

種類

○

脱気装置(絶縁工法)

※設ける

材種()

設置数量(1箇所/ m²)

防湿層(露出防水絶縁断熱工法)

○設ける○設けない

押え金物

※アルミニウム製L-30×15×2.0○

3

合成高分子系ルーフingシート防水

(9.4.2)~(9.4.4)

(表9.4.1)(表9.4.2)

種別

防水層

施工箇所

仕上塗料

種類

使用量

○S-F1

表9.4.1

PO部材入隅増張(※有り○無し)

○S-F2

表9.4.2

PO部材入隅増張(※有り○無し)

○S1-F2

表9.4.2

○S1-M1○S1-M2

表9.4.3

○S-C1

表9.4.3

モルタル塗り厚さ

mm

平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ

○mm

○断熱材(機械的固定工法)

厚さ

mm

種類

○断熱材(接着工法)

厚さ

mm

種類

○防湿用フィルムを設置する(断熱工法)

10

防水工事

④

塗膜防水

(9.5.3)

(表9.5.1)(表9.5.2)

種別

防水層

施工箇所

仕上塗料

種類

使用量

○X-1

表9.5.1

●X-2

表9.5.2

○Y-1

表9.5.2

○Y-2

表9.5.2

脱気装置(X-1)○設ける

材種()

設置数量(1箇所/ m²)

保護層(Y-2)○設ける

※水張り試験を行う(○屋内○屋外)

※受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。(保証年限は工事目的物引渡しより10年間以上とする。)

工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。

材質

※真鍮製エッチング仕上150×100○

設置数量

箇所

シーリング材の種類

※表9.7.1による

施工箇所

※図示による

目地寸法

コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地

※幅20mm以上、深さ10mm以上○

ガラス回りの目地

※幅5mm以上、深さ5mm以上○

その他の目地

※幅10mm以上、深さ10mm以上○

シーリングの試験

※簡易接着性試験(部位外壁シーリング)

○引張接着性試験(部位)

材質

形状

○差込式○据置式○壁張り式

適用範囲

5

タイル工事

1

天然石張り

(10.2.1)

(表10.2.1)

岩石の等級

床用石材

○1等品※2等品

壁及びその他の石材

※1等品○2等品

石の種類・表面仕上げ

(表10.2.1)

施工箇所

種類(産地、名称、形状、寸法)

表面仕上げの種類

施工箇所

種石の種類

種石の大きさ

形状・寸法等

表面仕上げ

※大理石

○

※1.5~12mm

○

2

テラゾ張り

(10.2.1)

(表10.2.2)

施工箇所

種石の種類

種石の大きさ

形状・寸法等

表面仕上げ

※大理石

○

※1.5~12mm

○

3

壁の石張り工法

(10.2.2)(10.2.3)(10.3.2)(10.3.3)(10.4.2)(10.4.3)(10.4.4)(10.5.2)(10.5.3)

外壁石張り

工法

○外壁湿式工法(※洗し施工○あと施工アール工法○あと施工アール機械洗し工法)

受金物の材質、形状及び寸法

○

○乾式工法

※建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。

金物の種類、形状、寸法等

○スライド方式○ロッキング方式○

石の厚さ

mm

表面及び裏打ち処理

※行わない○行う(表面処理の場合小口共)

ドレンパイプ

※ステンレスSUS304○

目地

○一般目地幅

mm

○伸縮調整目地位置

mm

○シーリング材の目地寸法

mm

10

石工事

⑤

張付け用材料

(11.3.3)

1

伸縮調整目地等

(11.1.3)

(表11.1.1)

外壁

※表11.1.1による

○図示による

屋内壁面

※図示による

○

床面

※表11.1.1による

○

2

施工後の確認及び試験

(11.1.5)

浮きの確認

※全面打診による確認を行う

接着力の試験

※接着力試験機による引張接着強度の測定を行う

○行わない

③

タイル張り

(11.2.2)(11.2.7)(11.3.2)(11.3.7)

施工箇所・形状・タイルの種類

寸法(mm)

生地

釉薬

耐凍害性

耐滑り性

役物

色

工法その他

玄関床

150×150

○磁器○陶器○せつ器

○無釉○施釉

○●有り○無し

○有り○無し

※標準○特注

ポーチ

○磁器○陶器○せつ器

○無釉○施釉

○有り○無し

○有り○無し

※標準○特注

タイルの試験張り

※行わない○行う

タイルの見本焼き

※行わない○行う

既調合モルタル

mm

4

下地及びタイルごしらえ

(11.2.7)

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理

○MCR工法

○目荒し工法

○図示による

○

6

タイル工事

⑥

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

⑦

保証書

(9.6.3)

(表9.6.2)

種別

防水層

施工箇所

仕上塗料

種類

使用量

○C-U1

表9.6.2

○C-UP

表9.6.2

5

タイル工事

⑧

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

⑨

シーリング

(9.7.2)(9.7.3)(9.7.5)

(表9.7.1)

シーリング材の種類

※表9.7.1による

施工箇所

※図示による

目地寸法

コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地

※幅20mm以上、深さ10mm以上○

ガラス回りの目地

※幅5mm以上、深さ5mm以上○

その他の目地

※幅10mm以上、深さ10mm以上○

シーリングの試験

※簡易接着性試験(部位外壁シーリング)

○引張接着性試験(部位)

材質

形状

○差込式○据置式○壁張り式

適用範囲

10

石工事

⑩

止水板

(10.2.1)

(表10.2.1)

岩石の等級

床用石材

○1等品※2等品

壁及びその他の石材

※1等品○2等品

石の種類・表面仕上げ

(表10.2.1)

施工箇所

種類(産地、名称、形状、寸法)

表面仕上げの種類

施工箇所

種石の種類

種石の大きさ

形状・寸法等

表面仕上げ

※大理石

○

※1.5~12mm

○

10

石工事

⑪

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

⑫

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

⑬

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

⑭

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

⑮

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

⑯

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

⑰

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

⑱

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

⑲

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

⑳

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㉑

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㉒

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㉓

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㉔

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㉕

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㉖

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㉗

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㉘

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㉙

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㉚

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㉛

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㉜

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㉝

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㉞

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㉟

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㊱

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㊲

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㊳

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㊴

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㊵

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㊶

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㊷

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㊸

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㊹

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㊺

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㊻

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㊼

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㊽

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㊾

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㊿

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋀

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋁

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋂

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋃

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋄

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋅

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋆

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋇

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋈

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋉

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋊

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋋

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋌

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋍

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋎

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋏

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋐

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋑

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋒

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋓

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋔

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋕

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋖

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋗

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋘

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋙

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋚

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋛

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋜

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋝

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋞

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

10

石工事

㋟

張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散

12

①揮発性有機化合物対策

(12.2.1)
(12.2.2)
(12.2.3)

材料(集成材、合板等)のホルムアルデヒド放散量
表示がある場合 ※F☆☆☆☆ ○
表示がない場合 ※非ホルムアルデヒド系接着剤使用(塗装していないもの)
※非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用(塗装したもの)
※非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用(化粧加工したもの)
○

接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○

②表面仕上げ

(12.1.4)

③含水率

(12.2.1)

④製材

(12.2.1)

5 樹種

(12.2.1)

12

6 集成材 (12.2.1)

⑦合板等

(12.2.1)

12

木工事

⑧接合具等

(12.2.2)

9 防腐、防蟻及び防虫処理

(12.3.1) ~ (12.3.2)

13 屋根及びびとい工事

3 折板葺

(13.3.2)
(13.3.3)

4 粘土瓦葺

(13.4.2)
(13.4.3)

⑤とい(雨水)

(13.5.2)
(13.5.3)

⑥保証書

MDF

⑨性能

⑩長尺金属板葺

(13.2.2)
(13.2.3)

3 折板葺

(13.3.2)
(13.3.3)

4 粘土瓦葺

(13.4.2)
(13.4.3)

⑤とい(雨水)

(13.5.2)
(13.5.3)

⑥保証書

14

①一般事項

(14.1.3)

②ステンレスの表面仕上げ

(14.2.1)

③アルミニウム合金の表面処理

(14.2.2)

4 鉄鋼の垂鉛めっき

(14.2.3)

⑤軽量鉄骨天井地

(14.4.2)
~(14.4.4)

⑥軽量鉄骨壁下地

(14.5.3)

7 金属成形板張り

(14.6.2)
(14.6.3)

8 アルミニウム製 笠木

(14.7.2)
(14.7.3)

⑨手すり

(14.8.2)

10 タラップ及び丸環

(14.8.3)

⑪天井点検口

12 床点検口

13 屋上点検口

あと施工アンカーの引張試験 ※行う (箇所以上、 箇所)
○行わない

種 類 施 工 箇 所 (手すり、タラップ、建具以外)
※H・L程度 下記以外の見掛り全て
○No.2 B程度
○鏡面仕上げ

(表14.2.1)

種 別 施 工 箇 所 (手すり、成形板、笠木、建具以外)
BB-1 額縁

陽酸化皮膜の着色方法
※二次電解着色 ○三次電解着色 ○
色合等

(表14.2.2)

表面処理方法 種 別 試 験 施 工 箇 所
○溶融亜鉛めっき ○A種 ○B種 ○C種 ○行う
○電気亜鉛めっき ○D種 ○E種 ○F種 ○行う

野縁等の種類 屋内 ※19型 ○25型
屋外 ○19型 ※25型
屋外の野縁受け・吊りボルト・インサートの間隔 mm
屋外の周辺部の端からの寸法 mm
屋外の野縁の間隔 mm
屋外のはずれ留め補強 ※有り ○無し
開口補強
吊りボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示による ○
天井のふところの補強 (1.5m以上3m以下) ※行う
(3mを超える) ※行う (図示による)
天井下地材における耐震性を考慮した補強 ○行う ●行わない
屋外の軒天井、ビロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 ○行う ●行わない

(表14.5.1)
※表14.5.1における「A」の「高さ」による区分に応じた種類 ○
スタッドの高さが5mを超える場合
※図示による ○

(表14.2.1)

形 状 製 法 材 種 寸 法 (mm) 表面処理(種別)
○スパンドレル形 ○押出し ○アルミ合金製 板厚 幅
○パネル形 ※プレス ○板幅

伸縮調整継手 ○設けない ○設ける (施工箇所は図示)

(表14.7.1)

種 類 板厚(mm) 表面処理(種別) 備 考
○250 形 1.6 ○ コナ部及び突当たり部等の役物は
○300 形 1.8 本体製所造の仕様による。
○350 形 2.0
○

建築基準法に基づく風圧力・積雪荷重に対応した工法
※図示による ○

材 料 及 び 表 面 処 理 施 工 箇 所
●ステンレス製SUS304 ※H・L程度 ○
○鋼製 亜鉛めっき 外部 ○ 内部 ○
●アルミニウム製 ○

材種 ○ステンレス製SUS304 (表面処理 ※研磨なし)
○亜鉛めっき (表面処理 ※C種)
○

●アルミニウム製既製品 (450×450) 箇所
○アルミニウム製既製品 (600×600) 箇所

○アルミニウム製既製品 (600×600) 箇所
○ステンレス製既製品 (600×600) 箇所
○鋳鉄製マンホール蓋 型 箇所

寸法 (mm) ○φ600 ○500角
断熱材 ○有り ○無し

Ver. H25.02

株式会社 山崎設計
一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号
一級建築士 大臣登録 第 219288 号 山崎友也
設計番号 設計年度 令和 年 月

課長 担当課長 副課長 担当

⑤とい(雨水) (13.5.2) (13.5.3)

⑥保証書

工務名 六人部地域公民館・体育館大規模改修工事
図名 建築工事特記仕様書 (4) 縮尺 ー

図番 No. A-006
168 枚の内

A2 594×420

15

左官工事

1ラス系下地
(15.2.4)

2モルタル塗り
(15.3.2)~(15.3.5)

3セルフレベリング材塗り
(15.5.2)(15.4.3)

4仕上塗材仕上げ
(15.6.2)

下地の種類

○ 通気工法 二層下地
○ 通気工法 単層下地
○ 直張り工法 ラスモルタル下地
○ 直張り工法 ラスシートモルタル下地

○ 耐力壁、防火構造、準耐火構造等の指定 ※ 図示による ○

材料 ○ 現場調合材料 ○ 既調合材料 ()

既製目地材 ○ 適用する (形状)

床塗り
目地の設置 ※ 有り (種類 ※ 押目地 ○)
(目地割 ※ 2m程度 最大目地間隔 3m ○)
○ 無し

外装タイル張り下地等の下地モルタル塗りの確認及び試験
浮きの確認 ※ 全面打診による確認を行う
接着力試験 ○ 行う ○ 行わない

※ 種類及び品質は表15.5.1による
○ セッコウ系 ○ セメント系
厚さ (mm) ※ 10 ○ 15

内装塗材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○

薄付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.6.1)

種類 (呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考
○ 外装薄塗材Si	○ 砂壁状 ○ ゆず肌状	吹付け	
	○ ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラー	
○ 可とう形外装薄塗材S	○ 砂壁状 ○ ゆず肌状	吹付け	
	○ ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラー	
● 外装薄塗材E	○ 砂壁状 ○ ゆず肌状	吹付け	
	○ 平たん状 ○ 凹凸状	こて塗	
	● ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラー	
	○ 着色骨材砂壁状	○ 吹付け ○ こて塗	
○ 可とう形外装薄塗材E	○ 砂壁状 ○ ゆず肌状	吹付け	
	○ 平たん状 ○ 凹凸状	こて塗	
	○ ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラー	
○ 防水形外装薄塗材E (○ 増塗材)	○ ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラー	
	○ 凹凸状	吹付け	
○ 外装薄塗材S	砂壁状	吹付け	
○ 内装薄塗材C	○ 凹凸状	吹付け	○ 調湿形
○ 内装薄塗材L	○ 平たん状 ○ 凹凸状	こて塗	
	○ ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラー	
○ 内装薄塗材Si	○ 砂壁状じゅらく ○ ゆず肌状	吹付け	
○ 内装薄塗材E	○ 平たん状 ○ 凹凸状	こて塗	
	○ ゆず肌状 ○ さざ波状	ローラー	
○ 内装薄塗材W	○ 京壁状じゅらく ○ ゆず肌状	吹付け	○ 調湿形 ○ 耐アルカリ性
	○ 平たん状 ○ 凹凸状	こて塗	○ 耐湿性

厚付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.6.1)

種類 (呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考
○ 外装厚塗材C	○ 吹放し ○ 凸部処理	吹付け	
(○ 上塗材)	○ 平たん状 ○ 凹凸状	こて塗	
	○ ひき起し ○ かき落とし		
○ 外装厚塗材Si	○ 吹放し ○ 凸部処理	吹付け	
○ 外装厚塗材E	○ 平たん状 ○ 凹凸状	○ こて塗	
(○ 上塗材)	○ ひき起し	○ ローラー	
○ 内装厚塗材C	○ 吹放し ○ 凸部処理	吹付け	○ 調湿形
	○ 平たん状 ○ 凹凸状	こて塗	
	○ ひき起し ○ かき落とし		
○ 内装厚塗材L	○ 平たん状 ○ 凹凸状	こて塗	
	○ ひき起し ○ かき落とし		
○ 内装厚塗材G	○ 平たん状 ○ 凹凸状	こて塗	
	○ ひき起し ○ かき落とし		
○ 内装厚塗材Si	○ 吹放し ○ 凸部処理	吹付け	
○ 内装厚塗材E	○ 平たん状 ○ 凹凸状	○ こて塗	
	○ ひき起し	○ ローラー	

15

左官工事

5仕上塗材の下地処理
(15.6.4)

6マステック塗材塗り
(15.7.2)

7セッコウアラスター塗り
(15.8.2)(15.8.3)

8しっくい塗り
(15.10.1)~(15.10.3)

9こまい壁塗り
(15.11.2)~(15.11.8)

10ロックウール吹付け
(15.12.2)(15.12.3)

複層仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.6.1)

種類 (呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考
○ 複層塗材CE	○ 凸部処理	吹付け	
○ 複層塗材Si	○ 凹凸状		
○ 複層塗材E			
○ 複層塗材RE	○ ゆず肌状	ローラー	
○ 可とう形複層塗材CE	○ 凸部処理 ○ 凹凸状	吹付け	
	○ ゆず肌状	ローラー	
○ 防水形複層塗材CE	○ 凸部処理	吹付け (○ 増塗材)	
● 防水形複層塗材E	○ 凹凸状		
○ 防水形複層塗材RE	● ゆず肌状	ローラー	

複層仕上塗材の耐候性 ※ 耐候形3種 ○
複層仕上塗材の上塗材 溶媒 ※ 水系 ○ 弱溶剤系 ○ 溶剤系
樹脂 ※ アクリル系 ○
外観 ※ つや有 ○ つやなし ○ メタリック

軽量骨材仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.6.1)

種類 (呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考
○ 吹付け軽量塗材	砂壁状	吹付け	
○ こて塗用軽量塗材	平たん状	こて塗	

ALCパネルの内壁目地部の形状 ※ V型目地付き ○

種別 ○ A種 ○ B種 (表15.7.1)

下塗り及び中塗り ○ 既調合アラスター ○ 現場調合アラスター
上塗り ○ 既調合アラスター ○ しっくい塗り

下地 ○ 木ずり ○ こまい土壁塗り ○ セッコウアラスター ○ セッコウアラスター ○

材料 ○ 現場調合材料
○ 既調合材料 しっくい塗材の種類等 ()

調査・塗厚 ○ 木ずり下地 ※ 表15.10.1 ○
○ こまい土壁下地 ※ 表15.10.2 ○

土間用のり ※ つのまた ○ ふのり ○ ぎんなんそう ○ 粉末海藻 ○
砂壁用のり ※ ふのり ○ つのまた ○ こんにゃくのり ○ にわか
○ 合成高分子系混和剤 ○
色土の種類 ○ 土物仕上げ ○ 大津仕上げ
色砂の種類 ○ 天然砂と岩石の砕砂 ○ 人工的に着色・製造したもの
下塗りの調査 ※ 表15.11.2 ○
塗厚 ※ 表15.11.8 ○
○ 耐力壁の指定がある場合 (mm)
工程 ※ A種 ○ B種
○ 土物 仕上げ
種類 ○ 土もの仕上げ工法
○ 水ごね土物1工法 ○ 水ごね土物2工法
○ のりさし土物工法 ○ のりごね土物工法
○ 砂壁仕上げ工法
○ 切返し仕上げ工法
ちりじゃくり
○ 大津 仕上げ
種類 ○ 普通大津仕上げ工法 ○ 大津みがき仕上げ工法
ちりじゃくり

吹付け厚さ (mm) 施 工 箇 所
※ 仕上げ表による

ワケールのホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○

16

建具工事

1性能

2防火戸 (16.1.3)

3見本の製作等
(16.1.4)

4防犯建物部品
(16.1.6)

5アルミニウム製建具
(16.2.2)~(16.2.5)

6網戸等 (16.2.3)(16.3.3)

7樹脂製建具
(16.3.2)~(16.3.4)

※ 本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。

※ 図示による ○

建具見本の製作 ○ 行う (建具番号)
特殊な建具の仮組 ○ 行う (建具番号)

開口部の進入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所
・ ドア 適用箇所 ()
・ サッシ 適用箇所 ()
・ シャッター 適用箇所 ()

外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (コンクリート系下地、鉄骨下地) (表16.2.1)

性能等級	● A種	○ B種	○ C種
耐風圧性	※ S-4 ○	※ S-5 ○	※ S-6 ○
気密性	※ A-3 ○		※ A-4 ○
水密性	※ W-4 ○		※ W-5 ○
枠見込み (mm)	※ 図示 ○ 70 ○ 100		※ 図示 ○

外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (木下地) (表16.2.2)

性能等級	○ D種	○ E種
耐風圧性	※ S-2 ○	※ S-3 ○
気密性	※ A-3 ○	
水密性	※ W-3 ○	
枠見込み (mm)		

表面処理 (表14.2.1)

種 別	色	施 工 箇 所
● BB-1種	● 標準 ○ 特注	※ 図示による ○
○ BB-2種	○ 標準 ○ 特注	※ 図示による ○
○ BC-1種	○ 標準 ○ 特注	※ 図示による ○
○ BC-2種	○ 標準 ○ 特注	※ 図示による ○
○	○ 標準 ○ 特注	

○ 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級)
○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級)
○ 耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級)
結露水の処理方法 ※ 図示による ○
水切り、ぜん板等 ※ 図示による ○
※ 出入口のくつずりにステンレスを使用する場合は図示による。
木下地の場合の外部に面する内付建具の止水処理 ○ 行う

防虫網 材 質 ※ 合成樹脂製 ○ ガラス繊維入り合成樹脂製
● ステンレス製 (SUS316)
形 式 ※ 外部可動式 ○ 固定式
線径、網目 ※ 0.25mm以上、16~18メッシュ ○
防鳥網 ○ 設置する

外部に面する樹脂製建具の性能等級 (コンクリート系下地、鉄骨下地) (表16.2.1)

性能等級	○ A種	○ B種	○ C種
耐風圧性	※ S-4 ○	※ S-5 ○	※ S-6 ○
気密性		※ A-4 ○	
水密性	※ W-4 ○		※ W-5 ○
枠見込み (mm)	※ 図示 ○		

外部に面する樹脂製建具の性能等級 (木下地) (表16.2.2)

性能等級	○ D種	○ E種
耐風圧性	※ S-2 ○	※ S-3 ○
気密性		
水密性	※ W-3 ○	
枠見込み (mm)		

○ 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 ○ T-1 ○ T-2 ○)
○ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 ○ H-4 ○ H-5 ○ H-6 ○)

ガラス ※ 複層ガラス ○ 単板ガラス ○ 三重ガラス ○
表面色 ○ 標準色 ○ 特注色

16

建具工事

8鋼製建具
(16.4.2)~(16.4.4)

9鋼製軽量建具
(16.5.2)~(16.5.4)

10ステンレス製建具
(16.6.2)~(16.6.4)

11木製建具
(16.7.2)(16.7.3)

外部に面する建具の耐風圧性 ○ S-4 ○ S-5 ○ S-6 (表16.2.1)
簡易気密扉の気密性、水密性 ※ 適用する ○ 適用しない (表16.4.1)
○ 防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級)
○ 断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級)
○ 耐震ドアの適用 (面内変形追随性の等級)
JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は標仕による)
※ 製造所標準製作規定寸法許容差による
鋼板類の厚さ ※ 表16.4.2 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く)
○ mm
※ 適用する (A-3) ○ 適用しない

簡易気密型ドアセットの気密性 ※ 適用する (A-3) ○ 適用しない
○ 防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級)
○ 断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級)
○ 耐震ドアの適用 (面内変形追随性の等級)
鋼板 ● 表面処理亜鉛めっき鋼板 ○ ビニル被覆鋼板
○ カラー鋼板 ○ ステンレス鋼板
鋼板類の厚さ ※ 表16.5.1 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く)
○ mm
召合せ、縦小口包み板等 ※ 鋼板 ○ ステンレス鋼板 ○ アルミニウム合金の押出型材

外部に面する建具の耐風圧性 ○ S-4 ○ S-5 ○ S-6 (表16.2.1)
簡易気密扉の気密性、水密性 ※ 適用する ○ 適用しない (表16.4.1)
○ 防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級)
○ 断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級)
○ 耐震ドアの適用 (面内変形追随性の等級)
ステンレス鋼板 ※ JIS G 4305
種類 ○ SUS304 ○ SUS430J1L ○ SUS443J1 ○

JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は標仕による)
※ 製造所標準製作規定寸法許容差による
表面仕上げ ※ HL ○ 鏡面
曲げ加工 ※ 普通曲げ ○ 角出し曲げ

建具材の含水率の種類別 ○ A種 ※ B種 ○ C種

フラッシュ戸
表面材の合板の種類及び品質等 ● 1類
表面板の厚さ ※ 図示による ○
かまち戸
かまち及び鏡板の樹種 ※ 図示による ○
見込み寸法 ※ 36mm ○
ふすま
材料の種類別 ○ I型 ○ II型
上張りの種類 ※ 図示による ○
見込み寸法 ※ 19.5mm ○
戸ぶすま
上張りの種類 ※ 図示による ○
見込み寸法 ※ 30mm ○
紙張り障子
見込み寸法 ※ 30mm ○
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○

1/100

1/300

1/500

1/500

株式会社 山崎設計

一級建築士事務所京都府知事登録 (01A) 第02439号

一級建築士 大臣登録 第 219288 号 山崎友也

設計番号 設計年度 令和 年 月

課長

担当課長

副課長

担当

工事名

図名

縮尺

—

六人部地域公民館・体育館大規模改修工事

建築工事特記仕様書 (5)

168 枚の内

Ver. H25.02

A2 594 × 420

16

建具工事

⑫建具用金物
(16.8.2)～(16.8.4)

マスターキーの製作
※作成する(グループ、各グループ個)作成しない
○在来マスターキーに合わせる
鍵の製作本数※3本1組○
開き戸(表16.8.1)

金物の種類	見え掛り部の材質	その他
○シリリンダー箱錠	○握り玉:ステンレス ●ハンドル:7系ニッケル合金。 (○ステンレス、○黄銅) シリリンダー:ステンレス	○取付位置 () 実用性能項目 ※グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) ○ 耐じん性能のグレード○
○本締り錠	シリリンダー:ステンレス	実用性能項目 ※グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) ○ 耐じん性能のグレード○
○空錠	○握り玉:ステンレス ○ハンドル:7系ニッケル合金。 (○ステンレス、○黄銅)	○取付位置 ()

○グレモン錠	ハンドル:垂鉛合金。(○ステンレス)	○取付位置 ()
ケースハンドル錠	ステンレス	
点検口錠	垂鉛合金程度。(○ステンレス)	
丁香	ステンレス。(○黄銅)	
○ピボットヒンジ	カバー部:ステンレス。(○垂鉛合金)	垂鉛合金は木製建具用のみ
点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	○自閉装置付き
○フロアヒンジ	カバー部:ステンレス。(本体は鋼)	ドアクローザー
○ヒンジクローザー(丁香型)	鋼(焼付け塗装)	○遅延閉り機能付き
○ヒンジクローザー(ピボット型)	カバー部:ステンレス。(本体は鋼)	
●ドアクローザー	本体:7系ニッケル合金 7系鋼・鋼(焼付け塗装)	
閉鎖順位調整器	ステンレス。(○鋼)	
●押棒・押板	●ステンレス、○黄銅、○合成樹脂	○取付位置 ()
上げ落し (フランス落し)	垂鉛合金程度。(○ステンレス)	
○7系ストッパー	鋼(7系メッキ)。(○ステンレス)	
●戸当り	垂鉛合金程度。(○ステンレス、○黄銅)	●あおり止め付き

引き戸(表16.8.1)

金物の種類	見え掛り部の材質	その他
引戸用錠		木製建具の場合 シリリンダー等はステンレス
○クレセント	建具製作所の仕様による。	○取付位置 ()
引手類		木製建具の場合:ステンレス (○黄銅)
戸車 (上吊りの場合を除く)		
レール (上吊りの場合を除く)	ステンレス。 (○7系ニッケル合金 ○黄銅)	黄銅は木製建具用のみ

金属製建具用丁番※表16.8.2による○
樹脂製建具用丁番※表16.8.3による○
木製建具用丁番※表16.8.4による○
戸車及びレール※表16.8.5による○

16

建具工事

13自動7開閉装置
(16.9.2)～(16.9.4)

駆動装置及び検出装置の性能
○引き戸用駆動装置性能値
※標仕 表16.9.1による(○SSLD-1○SSLD-2○DSL-1○DSL-2)
○種類・開閉方式耐電圧温度上昇耐久性(サイクル)防錆電源
○多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置性能値
※標仕 表16.9.2による
○耐電圧温度上昇耐久性(サイクル)防錆電源
○引き戸用検出装置性能値
※標仕 表16.9.3による
○放射無線周波数電磁界耐性耐電圧防錆防滴電源
戸の開閉方式※建具表による○
引き戸検出装置の種類○表16.9.4()による※建具表による
凍結防止措置○行う

性能値等の区分(表16.10.1)

適用戸の総質量(kg)	●40以下	○40を越えるもの
手動開き力(N)	※15以下○	※20以下○
手動閉じ力(N)	※15以下○	※20以下○

性能等
品質・規格

種類○管理用シャッター(シャッターケース○設ける)耐風圧強度
○外壁用防火シャッター(シャッターケース○設ける)耐風圧強度
○屋内用防火シャッター(シャッターケース○設ける)
○屋内用防煙シャッター(シャッターケース○設ける)
開閉方式※上部電動式(手動併用)○手動式
電動式シャッターには保護装置を設ける
設置箇所※図示による○
耐風圧強度

スラット及びシャッターケース用鋼板

材質	めっきの付着量
○JIS G 3302	○Z12又はF12を満足するもの○
○JIS G 3312	○Z12又はF12を満足するもの○

開閉方式○上部電動式(手動併用)※手動式
電動式シャッターには保護装置を設ける
設置箇所※図示による○
耐風圧強度

スラット

材質	めっきの付着量	形状
○JIS G 3312	○Z06又はF06を満足するもの○	○インターロッキング形
○JIS G 3322	○AZ90を満足するもの○	○オーバーラッピング形

セクション材※7系鋼○7系ニッケル合金○7系アルミ合金
耐風圧性能
開閉方式※バランス式○チェーン式○電動式
電動式には保護装置を設ける
設置箇所※図示による○
収納形式○スタンダード型○ローヘッド型
○ハイルフト型○パーチカル型
ガイドレール等※溶融亜鉛めっき鋼板○ステンレス鋼板

材料

種類	種類等	種類	種類等
●フロント板ガラス		○強化ガラス	
●型板ガラス		○熱線吸収板ガラス	
○網入板ガラス		●複層ガラス	
○網入板ガラス		○熱線反射板ガラス	
○合わせガラス		○倍強度ガラス	
○		●Low-Eガラス	

ガラス溝の大きさ(図16.14.1)

種類	面クリアランス	エッジクリアランス	掛り代
●アルミニウム建具	※建具製造所の仕様による	※建具製造所の仕様による	※建具製造所の仕様による
○鋼製建具			
○ステンレス建具	○	○	○
○	○	○	○

熱線反射ガラスの映像調整○行わない○行う()

17

カーテンウォール工事

1性能
(17.1.3)

※本特記仕様書「1章一般共通事項4風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。

耐風圧性	○S4○S5○S6○
耐震性	水平方向(KH)※1.0○鉛直方向(KV)※0.5○
水密性	○W1○W2○W3○W4○W5
気密性	○A1○A2○A3○A4○
耐火性	※図示○30分○1時間○
耐温度差性(℃)	○80○70○60○
遮音性	○T1○T2○T3○T4○
断熱性	○H1○H2○H3○H4○H5

材料○7系ニッケル合金○ステンレス製○

形状・寸法※図示による

断熱材※図示による

見え掛り仕上げ○A-1種(無着色)○A-2種(着色)

製品の寸法許容差○表17.2.1による○

2メタルカーテンウォール
(17.2.2)～(17.2.3)

コンクリート○種類○品質
鉄筋※SD295A○
補強鉄線径網目寸法
耐火目地材断熱材
仕上げ
仕上げ材、建具枠、ゴンドラ用ガイドレール等※図示による

3PCカーテンウォール
(17.3.2)～(17.3.3)

※表9.7.1による○

4シーリング材及びガラス取付材料
(17.2.2)(17.3.2)

材質※図示による○
形状※図示による○
寸法※図示による○

5構造用ガスケット
(17.2.2)(17.3.2)

※図示による○

18

塗装工事

⑬ガラス留め材
(16.14.2)

20ガラスブロック
(16.14.5)

21ポリカーボネイト樹脂板

種類
厚さmm

種類
厚さmm

18

塗装工事

①塗装材料
(18.1.3)

②素地ごしらえ
(18.2.2)～(18.2.7)

③錆止め塗料塗り
(18.3.2)(18.3.3)

4塗装工程
(18.4.1)～(18.14.2)

18

塗装工事

①塗装材料
(18.1.3)

②素地ごしらえ
(18.2.2)～(18.2.7)

③錆止め塗料塗り
(18.3.2)(18.3.3)

4塗装工程
(18.4.1)～(18.14.2)

19

内装工事

①揮発性有機化合物対策
(19.2.2)(19.3.3)(19.4.2)(19.5.2)(19.5.4)(19.5.5)(19.7.2)(19.8.2)(19.9.2)

②ビニル床シート張り
(19.2.2)

3ビニル床タイル張り
(19.2.2)

19

内装工事

①揮発性有機化合物対策
(19.2.2)(19.3.3)(19.4.2)(19.5.2)(19.5.4)(19.5.5)(19.7.2)(19.8.2)(19.9.2)

②ビニル床シート張り
(19.2.2)

3ビニル床タイル張り
(19.2.2)

19

内装工事

①揮発性有機化合物対策
(19.2.2)(19.3.3)(19.4.2)(19.5.2)(19.5.4)(19.5.5)(19.7.2)(19.8.2)(19.9.2)

②ビニル床シート張り
(19.2.2)

3ビニル床タイル張り
(19.2.2)

19

内装工事

4 帯電防止床シート、
床タイル (19. 2. 2)

⑨視覚障害者用
床タイル
(19. 2. 2)

6 耐動荷重性床シート
(19. 2. 2)

⑦防滑性床シート、
床タイル
(19. 2. 2)

⑧ビニル幅木
(19. 2. 2)

9 ゴム床タイル張り
(19. 2. 2)

10カーベツト敷き
(19. 3. 2)
(19. 3. 3)

11 合成樹脂塗り床
(19. 4. 2)
(19. 4. 3)

⑫フローリング張り
(19. 5. 2)
～(19. 5. 7)

○帯電防止床シート

種 類	性 能	厚 さ (mm)
○	○体積抵抗値 1×10 ₇ ～1×10 ₁₀ Ω程度	
○	○	

○帯電防止床タイル

種 類	性 能	寸法	厚 さ (mm)
○	○体積抵抗値 1×10 ₇ ～1×10 ₁₀ Ω程度		
○	○		

種 類	形 状	備 考
●塩化ビニル系	※ 3 0 0 mm角	
○レジンコンクリート系	○ 1 5 0 mm角	
○磁器又はセラミックスタイル	○	

種 類	厚 さ (mm)	備 考
○	○	
○	○	

●防滑性床シート

種 類	厚 さ (mm)	備 考
●防滑性	● 2. 5	
○	○	

○防滑性床タイル

種 類	寸 法	厚 さ (mm)	備 考
○	○	○	
○	○	○	

種 類	高 さ (mm)	厚 さ (mm)
●軟質 ○硬質	※ 60 ○ 75 ○ 100 ○	※ 1. 5 ○ 2. 0

種 類	色 柄	厚 さ (mm)	寸法 (mm)
○単層品 ○積層品			

○織じゅうたん

種 別	織り方	パイル形状	帯電性	色 柄	接合方法	施 工 箇 所
○ A種			○適用	※ 無地	○ヒートセツト工法	
○ B種				○	○	
○ C種						

○タフトドカーベツト

パイル形状	パイル長さ (mm)	工 法	帯電性	施 工 箇 所
		○ゲリツパ工法	○適用	
		○全面接着工法		

○ニードルパンチカーベツト

厚さ (mm)	帯電性	施 工 箇 所
	○適用	

○タイルカーベツト

種別	パイル形状	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	施 工 箇 所
※一種	※ループパイル	※ 500×500	※ 6. 5	
○二種				

タイルカーベツトの敷き方

平場部分	※市松敷き	○
階段部分	※模様流し	○

下敷き材

※ JIS L 3204 (反毛フェルト) の第 2 種 2 号	呼び厚さ 8mm
○	

見切り、押さえ金物

材質、形状等	※ 図示による	○
--------	---------	---

厚膜型塗床材

○弾性ウレタン樹脂系塗床材

※平滑仕上げ	○防滑仕上げ	○つや消し仕上げ
塗厚 (mm) ○		

○エポキシ樹脂系塗床材

○薄膜流しのべ仕上げ (○平滑	○防滑)
○厚膜流しのべ仕上げ (○平滑	○防滑)
○樹脂モルタル仕上げ (○平滑	○防滑)

薄膜型塗床材

○エポキシ樹脂系塗床材

⑫フローリング張り (表19. 5. 1)～(表19. 5. 6)

種 類	樹 種	厚さ (mm)	大きさ	工 法	備 考
○フローリング ボード 1 等	※なら ●カバ	○ ●15 ○12 ○8	○表19. 5. 1 ○表19. 5. 4 ○表19. 5. 5	釘留め工法 ○根太張り工法 ○直張り工法 ○接着工法	
○フローリング ブロック 1 等	※なら	○8 ○15 ○		○接着工法	○防水処理足金物付

19

内装工事

13 緑甲板張り
(19. 5. 1)

⑭畳敷き (19. 6. 2)

⑮せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り
(19. 7. 2)

複合フローリング

種 別	樹 種	厚さ (mm)	工 法	種 別	備 考
○ 1 × 6 タイプ		○ 8	釘留め工法		
○ フローリング ボードタイプ	※なら ○	○ 15 ○	○根太張り工法 ○直張り工法	○ A 種 ○ B 種 ○ C 種	
○			○接着工法		

接着工法のフローリング裏面の緩衝材

※合成樹脂発泡シート	○
仕上げ塗装	○ウレタン樹脂ワニス塗り (1 液形) B 種
	○オイルステインの上ワックス塗り
	○生地そのままワックス塗り
○	

樹 種	等 級	仕上程度	施工箇所

種別

○ A 種	● B 種	○ C 種	○ D 種 (KT-)
-------	-------	-------	--------------

(表19. 6. 1)

種別

※表19. 7. 1による J I S 規格品とする

(表19. 7. 1)

種 類	規 格 、 厚 さ (mm) 等
●せっこうボード (GB-R)	※ 12. 5 (不燃) ○ 9. 5 (準不燃)
●化粧せっこうボード (GB-D)	○杉証模様 ○ 12. 5 (不燃) ●トラバーチン模様 ● 9. 5 (準不燃) (経路下地は専用のものとする)
○不燃積層せっこうボード (GB-NC)	○トラバーチン模様 ○ 9. 5 (不燃) ○模様なし
○シージングせっこうボード (GB-S)	○ 15 (不燃) ○ 12. 5 (準不燃) ※ 9. 5 (準不燃)
○強化せっこうボード (GB-F)	○ 21 (不燃) ○ 15 (不燃) ○ 12. 5 (不燃)
○ロックウール吸音ボード (RW-B)	※ 25 ○
○グラスウール吸音ボード (GW-B)	※ 25 ○
○吸音あなあきせっこうボード (GB-P)	○ 9. 5 (準不燃)
○ロックウール化粧吸音板 (DR)	内部用 フラット ○ 12 (不燃) ※ 9 (不燃) 立体模様 ○ 15 (不燃) ※ 12 (不燃) 軒天用 フラット ○ 12 (不燃) ※ 9 (不燃) 立体模様 ○ 15 (不燃) ※ 12 (不燃)
●けい酸カルシウム板 (0. 8FK)	タイプ 2 (無石綿) ○ 8. 0 ● 6. 0 ● 3. 0
●メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による ※ 1. 2 ● 3. 0
○難燃木毛セメント板	○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 15
○断熱木毛セメント板	○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 15
●普通合板	厚さ 12 接着の程度 2 類 表板樹種 ラワン 板面の品質 2 等 防虫処理 ●行う
○天然木化粧合板	厚さ 接着の程度 化粧板樹種 ○なら ○しおじ 防虫処理 ○行う
○特殊加工化粧合板	厚さ 接着の程度 化粧加工の方法 表面性能 ○ F ○ FW ○ W ○ WS 防虫処理 ○行う
○その他下張り用合板	

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材

○アクリル系シーリング

○ウレタン系シーリング

○ジョイントコンパウンド

合板類の張付け (表19. 7. 3)

○ A 種	※ B 種
-------	-------

せっこうボードの目地処理 (表19. 7. 5)

○目透かし	○突付け	○縦目処理
-------	------	-------

防火性能・種類・規格・施工箇所

※ 図示による	○ 下表による	
施 行 箇 所	防火性能	品 質 ・ 規 格
図示	準不燃	

素地ごしらえ

モルタル及びプラスター面	○ A 種	※ B 種
コンクリート面	○ A 種	※ B 種

せっこうボード面

目地継目処理工法の場合	※ A 種	○ B 種
突付け・目透し工法の場合	○ A 種	※ B 種

(表18. 2. 4)
(表18. 2. 5)
(表18. 2. 7)
(表18. 2. 7)

材質

●アルミニウム製	●塩化ビニル製
----------	---------

⑬断熱・防露

材	料	そ の 他
断熱材	○ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	断熱材厚さ
打込み工法	○押出法ポリスチレンフォーム断熱材	● 25 mm
	●硬質ウレタンフォーム断熱材	JIS A 9511 JIS A 9521
	○フェノールフォーム断熱材	
断熱材現場 発泡工法	○ A 種 1 ○ A 種 I H ○ (難燃性を有するものとする)	JIS A 9526

※開口部等補修用接着剤の熱安定性放散量は JIS で定める F☆☆☆☆ とする

※特定フロンを使用しないものとする。

20

ユニット及びその他の工事

①家具、ユニット等の
揮発性有機化合物
対策

2 フリーアクセス
フロア
(20. 2. 2)

3 可動間仕切
(20. 2. 3)

4 移動間仕切
(20. 2. 4)

⑤トイレブース
(20. 2. 5)

⑥階段滑り止め
(20. 2. 6)

⑦階段手すり

8 黒板及び
ホワイトボード
(20. 2. 8)

⑨鏡 (20. 2. 9)

⑩表示・標識
(20. 2. 10)
(20. 2. 11)

特 記 事 項

収納家具その他ユニットに使用する材料で、合板、化粧合板、MDF等の
熱安定性放散量 ※ F☆☆☆☆ ○
収納家具その他ユニットに使用する合板等の接着剤
熱安定性放散量 ※ F☆☆☆☆ ○
含まれる可塑剤 ※ フタル酸エステル等を含有しない、難燃発煙性のもの ○

※建設技術評価制度「耐震型カーテンウォールの開発」の技術評価を取得した製品とする。

施 工 箇 所	寸法 (mm)	フロア 高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	帯電防止 性能	漏えい 抵抗

スロープ及びボーダー

※製造所の標準仕様	○ 図示による
-----------	---------

コンセント等の取付け

※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事)

配線用取出し用開口

※対応品又は工場加工品 (施工箇所は図示)

空調用吹出しパネル

○あり (※固定式) ○可変式	施工箇所は図示
-----------------	---------

※表面仕上げ材の品質、規模等は、標仕 1 章内装工事による。

フリーアクセスフロアの試験方法

耐荷重性能

○

耐衝撃性能

○

ローリングロード性能

○

耐燃焼性能

○

種 類	バ 枒 内 に 取 付 け る 建 具			
構 造 形 式	構成基材	表 面 仕 上	遮 音 性	寸 法 ・ 形 状
○ パネル式		○メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付		
○ スタッド式		○		
○ スリットバ 枒 式				

パネル材料のホルムアルデヒド放散量 F☆☆☆☆

パネル操作方法による種類	パネル表面材・仕上	パネル圧接装置の操作方法	遮音性

あと施工アンカー

材質	寸法
引抜耐力試験	※ 行う

表面材

●メラミン樹脂系化粧板	○ポリエステル樹脂系化粧板
-------------	---------------

脚部

※黒木型	○足金物型
------	-------

ドアエッジの材質

※トイレブース製造所の仕様による。	○
-------------------	---

パネル材料のホルムアルデヒド放散量 F☆☆☆☆

材質

●ステンレス製 (SUS304)	○
------------------	---

幅

●約35mm	○
--------	---

形状

●ビニルタイヤ入り	両端フラット	○あり (○ビニル ○ SUS304)
-----------	--------	---------------------

取付工法

※接着工法	○埋込み工法
-------	--------

○ステンレス製 (SUS304 H 仕上)

径 mm	(仕様は金属工事参照)
------	-------------

○集成材

径 mm	○クリアラッカー仕上げ
------	-------------

○ビニル製ハンドレール

※丸型	径 mm	○平型	幅 mm
-----	------	-----	------

●アルミ製

	区 分	種 類	色彩	備 考
○黒板	※焼付け	○鋼製黒板	※緑	○曲面
○	○	○ほうろう黒板	○黒	○スクリーン付引分け
○ホワイトボード		○ほうろう白板	※白	○曲面
		○	○	○スクリーン付引分け

顔縁金属

※アルミ製 (表面処理の種類	※ B-2 ○ B-1)
----------------	---------------

品質・規格

厚さ (mm)

※ 5	○
-----	---

衝突防止表示

※ 図示による (市販品 ○ ステンレス製 径 30 mm ○)	
○なし	

法令に基づく表示

※非常用進入口表示等は消防法に適合する市販品とし、その他は標準詳細図による。
--

室名札

厚さ (mm)	材 質	色	書 体	印刷等の種別	取付け形式
○ 5	○アクリル板		○角太ゴシック	○シルク印刷	○平付型
○	●アルミ板		○丸	○	○持出型

外国語表現

○ 行う (○ 英語 ○	
--------------	--

寸 法 (mm)

○ 50×250 ○ 60×250 ○ 図示による

ピクトグラフ (便所、車いす、階段等)

厚さ (mm)	材 質	印刷等の種別	取付け形式	備 考
○ 5	○アクリル板	○シルク印刷	○平付型	
○	○アルミ板	○	○持出型	

寸 法 (mm)

○ 150×150 ○ 図示による

20

ユニット及びその他の工事

⑪ブラインド
(20. 2. 12)

12 ロールスクリーン
(20. 2. 13)

13 カーテン
(20. 2. 14)

14 カーテンレール
(20. 2. 14)

15 ブラインドボックス
カーテンボックス

16 くつふきマット

17 鋼製書架及び棚

18 収納家具(木製)

19 掲示板

20 カウンター

⑫洗面カウンター

22 流し台ユニット

23 非常用救助袋等

24 鍵箱

25 定礎

26 旗竿受金物

特 記 事 項

案内板 (館内、各階、便所)

厚さ (mm)	材 質	色	書 体	印刷等の種別	取付け形式
○ 5	○アクリル板		○角太ゴシック	○シルク印刷	○平付型
○	○アルミ板		○丸	○	○持出型

外国語表現

○ 行う (○ 英語 ○	
--------------	--

寸 法 (mm)

○ 600×600 ○ 100×600 ○ 200×200 ○ 図示による

館名板等

品質・規格

形 式	種 類	スリットの材質	スリット幅 (mm)	バックスリールの材質
●横形	※ギヤ式	※7mmアルミ合金	※ 25	※鋼製
○コード式			○ 35	○
○縦形	※ 2 本操作コード式	○7mmスリット	○ 80	※7mmアルミ合金製
○ 1 本操作コード式	○ガラススリット	○ 100		

操作方法

○スプリング式	○コード	○電動式
---------	------	------

幅及び高さ

スクリーンの材質

○布製	○ガラス繊維製	○木製
-----	---------	-----

品質・規格

(20. 2. 14)

取付箇所	形 式	開閉操作方法	カーテン用きれ地の 種類・品質・特殊加工等	ひだの種類				
シングル	ダブル	片引	引分	電動	ひも引	手引		
	○	○	○	○	○	○		○
	○	○	○	○	○	○		○
	○	○	○	○	○	○		○
	○	○	○	○	○	○		○
	○	○	○	○	○	○		○

消防法で定める防火性能の表示があるもの

材質

※アルミニウム製又はアルミニウム合金の押し出し成形材製	○ ステンレス製
-----------------------------	----------

形式

○片引き	○引分け (暗幕用は300 mm以上の召合せの重ね掛けとする。)
------	----------------------------------

形状

○C型	○D型	※角型
-----	-----	-----

強さによる区分

※ 10-90	○	仕上げ	※アルマイト	○
---------	---	-----	--------	---

○ 図示による

○市販品 (アルミニウム製 押し出し型材)

仕様等

溝幅×深さ (mm)	○ 90×150 ○ 150×80 ○ 120×80 ○
表面処理	○C-1 (無着色) ○C-2 (着色)

材質

○塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製 (SUS304) 受枠)	
○硬質アルミニウム合金 (受枠とも) ○ステンレス製 (SUS304) (受枠とも)	
○ゴム製 (ステンレス製 (SUS304) 受枠)	

品質・規格

品質・規格

	枠 の 材 質	表面の材質	照 明 器 具	施 錠	品質・規格
○屋内	○7mmアルミ製 (B-2)		—	—	
	○ステンレス製 (SUS304)				
○屋外	○7mmアルミ製 (B-2)		○あり	○あり	
	○ステンレス製 (SUS304)		○なし	○なし	

品質・規格

品質・規格

種 類	部品寸法 (mm)	規 格	仕 様
○流し台		○優良住宅部品	トラップ付き
○コンロ台		○優良住宅部品	バックガード有り
○吊戸棚		○優良住宅部品	高さ 約500 mm
○水切り棚		○優良住宅部品	ステンレス製 1 段式
○			

※垂直降下式緩下機は消防法に基づく国家検定に合格したものとする。

形式

○傾斜式	○垂直式
------	------

品質・規格

市販品

形式	※ 約下式 ○ 差込式 (○ 30 ○ 60 ○ 120 ○) 組用 () 個
----	---

定礎石

○御影石	文字掘込共 寸法 450×600×30	○
定礎銘板	○銅板製 両面文字掘込共 寸法 B 4 版 厚さ 5 mm	○
定礎箱	○銅板製 寸法 400×300×60	○

材質

※ ステンレス鋼 (SUS304) (市販品	※ 1 箇所 ○ 箇所)
------------------------	--------------

品質・規格

Ver. H25. 02

株式会社 山崎設計
一級建築士事務所京都府知事登録 (01A) 第02439号
一級建築士 大臣登録 第 219288 号 山崎友也

設 計 番 号

設計年度

令和 年 月

課 長

担当課長

副 課 長

担 当

工事名

図 名

縮 尺

—

図 番

No. A-009

168
枚の内

A2 594×420

1
仮設工事

建築改修工事特記仕様書

①足場その他
(2.1.3)
(2.2.1)

労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。
外部足場 ●施行箇所面に枠組足場を設ける。
○施行箇所面にくさび緊結式足場を設ける。
○施行箇所面に単管本足場を設ける。
○仮設ゴンドラを使用する。
○移動式足場を使用する。
内部足場 ※ 脚立、足場板等 ○ _____
防護シート等
○ 防音パネル ● 防音シート ○ 養生シート ○ ネット及び養生シート
材料、撤去材等の運搬方法
○ A 種 ● B 種 ○ C 種 ○ D 種 ○ E 種 (表2.2.1)

足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省 基発第0424001号）」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中枝及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体及び変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立に関する基準」の2を採用すること。
屋根工事及び小屋組の建方工事における墜落事故防止対策は、JIS A 8971（屋根工事用足場及び施工方法）の施工標準に基づく足場及び装備機材を設置すること。

②既存部分の養生
(2.3.1)

既存部分の養生 ※ 行う（※ ビニールシート、合板 ○ _____）
○ 行わない
既存家具・既存設備等の養生
※ 行う（※ ビニールシート ○ _____） ○ 行わない
既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 ○ 行う ● 行わない
養生の方法 ○ 取り外しのうえ清掃 ○ _____
保管場所 ○ 室内にてカバー掛の上、適切保管 ○ _____
家具の移動 ○ 行う（図示） ● 行わない

○ 設ける（図示）

種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填
○ A 種	○ せっこうボード 種類 ○GB-R 厚さ ○ mm ○ 9.5mm	○ なし ○ 片面 ○	グラスウール ○ 24kg/m ³ ○ _____ 厚さ ○50mm
○ B 種	○ 合板 材質 ○ 珪藻合板 ○ _____ 厚さ ○ mm ○ 9mm		
※ C 種	全面シート張り		

● 設けない

3 仮設間仕切り
(2.3.2)

2
環境配慮改修工事

①一般事項
(9.1.1)

●石綿含有吹付け材除去工事

石綿含有部位	工法
○ 表面吹付け材	● 除去工法（乾式集塵装置付き（ディスクグラインダー工法））
● 下地調整材	○ 封じ込め工法（ ）
○	○ 囲い込み工法（ ）

○ 石綿含有保温材除去工事

● 石綿含有成形板除去工事

石綿含有建材除去後の仕上げ工事
※ 図示による ○ _____

施工調査
● 行う
石綿の除去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を下記により行い、結果を図面により監督職員に提出する。
調査範囲 ※ 図示による ○ _____
調査事項
※ 石綿使用部位の確認
※ 石綿層の厚さの確認
※ 施工範囲と工事管理区分の確認
※ 更衣施設等の仮設計画
※ 廃棄物等の撤出方法

○ 行わない

石綿含有分析方法
○ 行う（分析結果を監督職員に提出する）
※ JIS A 1481に基づくこと

材 料 名	定性分析	定量分析
	○（箇所数）	○（箇所数）
	○（箇所数）	○（箇所数）
	○（箇所数）	○（箇所数）
	○（箇所数）	○（箇所数）
	○（箇所数）	○（箇所数）

サンプル数 1箇所あたり3サンプル

● 行わない

既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 ● あり ○ なし

②仕上げ工事
(9.1.1)

③施工調査等
(9.1.1)

4 石綿粉じん
濃度測定
(9.1.1)

○ 行う

測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備 考
除去作業前	除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点	
	調査対象室外部付近	○ 1点 ○ 2点 ○ 点	
除去作業中	除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点	
	吹き上げ～入り口	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点	
	集じん・排気装置の排出口	出口吹出し風速1m/秒以下の位置	除去作業室 外の場合
	除去作業区画周辺	各 ○ 1点 ○ 2点 ○ 3点	
除去作業後	除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点	シート養生中
	除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点	シート撤去後
	調査対象室外部付近	○ 1点 ○ 2点 ○ 点	1週間以降

※ 周囲の状況等により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。
● 行わない

測定方法
○ 自動測定器による測定

測定場所	測定方法
○ 吹き上げ～入り口	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター
○ 集じん・排気装置の排出口(除去作業室外)	繊維状粒子自動測定器(17μm/47μm-モニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

○ JIS K 3850-1に基づいた測定

測定場所	メッシュ径 直径 (mm)	試料の吸引流量 (L/mm)	試料の吸引時間 (min)
○ 吹き上げ～入り口			
○ 集じん・排気装置の排出口 (除去作業室外)	25	5	30
○	47	10	120
○	47	10	240
○			
○			

測定機関 ※（公社）日本作業環境測定協会による「石綿含有の有無の判定及び石綿の含有率の測定が可能な石綿含有率分析可能機関」とする。
○ _____

報告書提出部数 ※ 3 部 ○ _____ 部

施工業者
※ 工事に相応した技術を有することを証明する資料をあらかじめ提出すること。
○ 「吹付石綿粉じん飛散防止処理技術」について（一財）日本建築セーフの建設技術審査証明事業による建築物等の施工技術及び保全技術の審査証明を取得した工法の施工業者等。

除去を行う範囲
※ 図示による（仕上げ表による 床・壁・天井毎に種別を確認）
○ 全ての室 ○ _____

除去工法
※ 改修標仕9.1.3(2)(7)(a)～(d)による
○ _____

除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止
※ 密封処理（二重袋梱包）
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。
※ 湿潤化
○ セメント固化
○ 溶融固化

除去物等の保管
※ 他の建設副産物等と分別して保管する。
※ 飛散防止措置を講ずる。
※ 石綿等の保管場所であることの表示を行う。

除去した石綿含有吹付け材等の処分方法
○ 埋立処分（管理型又は遮断型最終処分場）
○ 中間処理（無害化施設又は溶融施設）
（中間処理を行った場合は、安定型最終処分場にて処分可。）

除去を行う範囲
※ 図示による
○ _____

除去方法
※ 原形のまま手ばらし
○ 手ばらし以外（この場合は改修標仕9.1.3(1)による隔離とする）
○ _____

除去した石綿含有保温材の処分
○ 埋立処分（管理型又は遮断型最終処分場）
○ 中間処理（無害化施設又は溶融施設）
（中間処理を行った場合は、安定型最終処分場にて処分可。）

5 石綿含有
吹付け材の除去
(9.1.3)

6 石綿含有
保温材等の除去
(9.1.4)

課 長

担当課長

副 課 長

担 当

工
事
名

六人部地域公民館・体育館大規模改修工事

図 番

No. A-011

Ver. H25.02

設 計 番 号

設計年度

令和 年 月

決
裁
欄

図 名

建築改修工事特記仕様書（1）

縮 尺

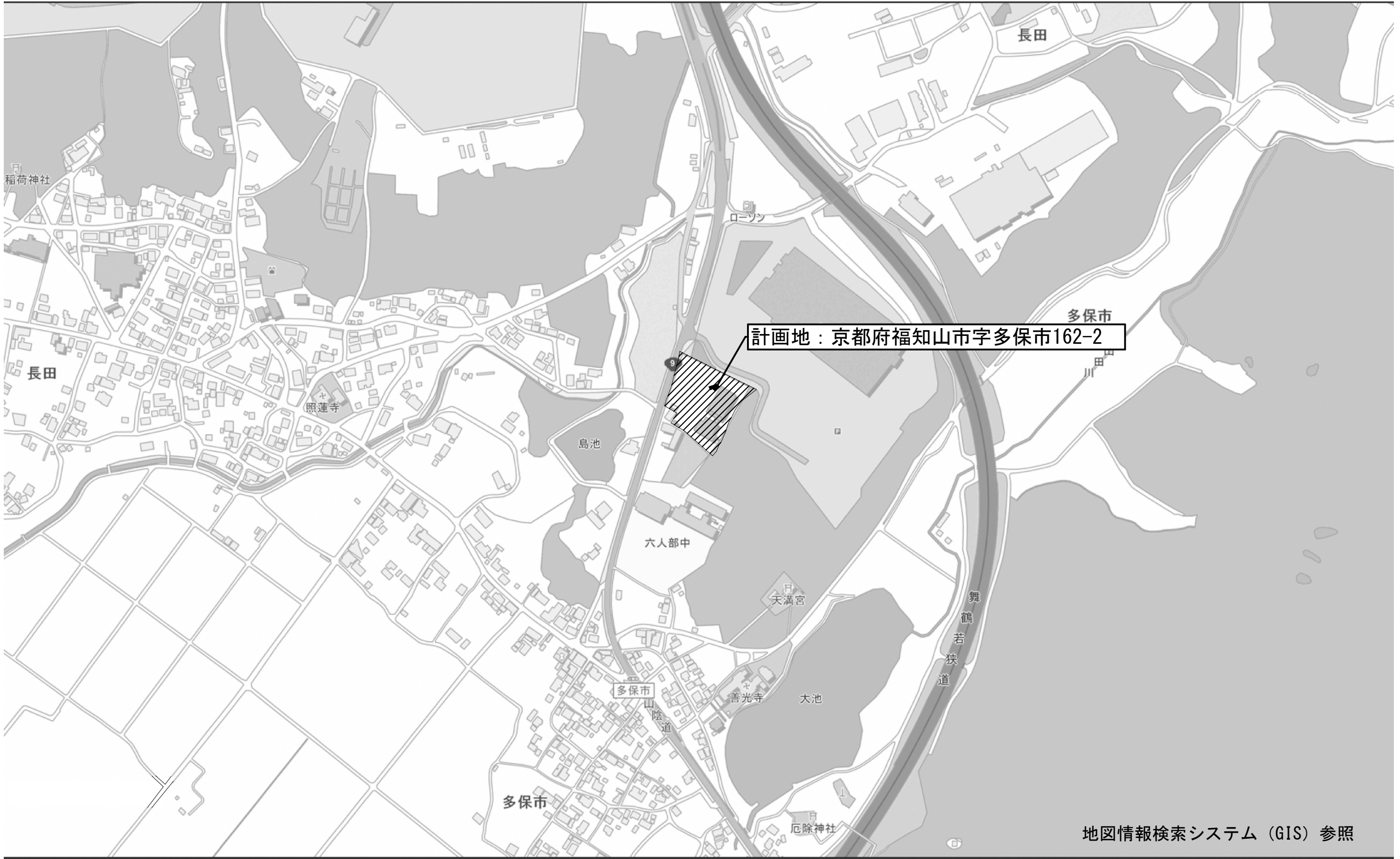
—

168
枚の内

A2 594 × 420

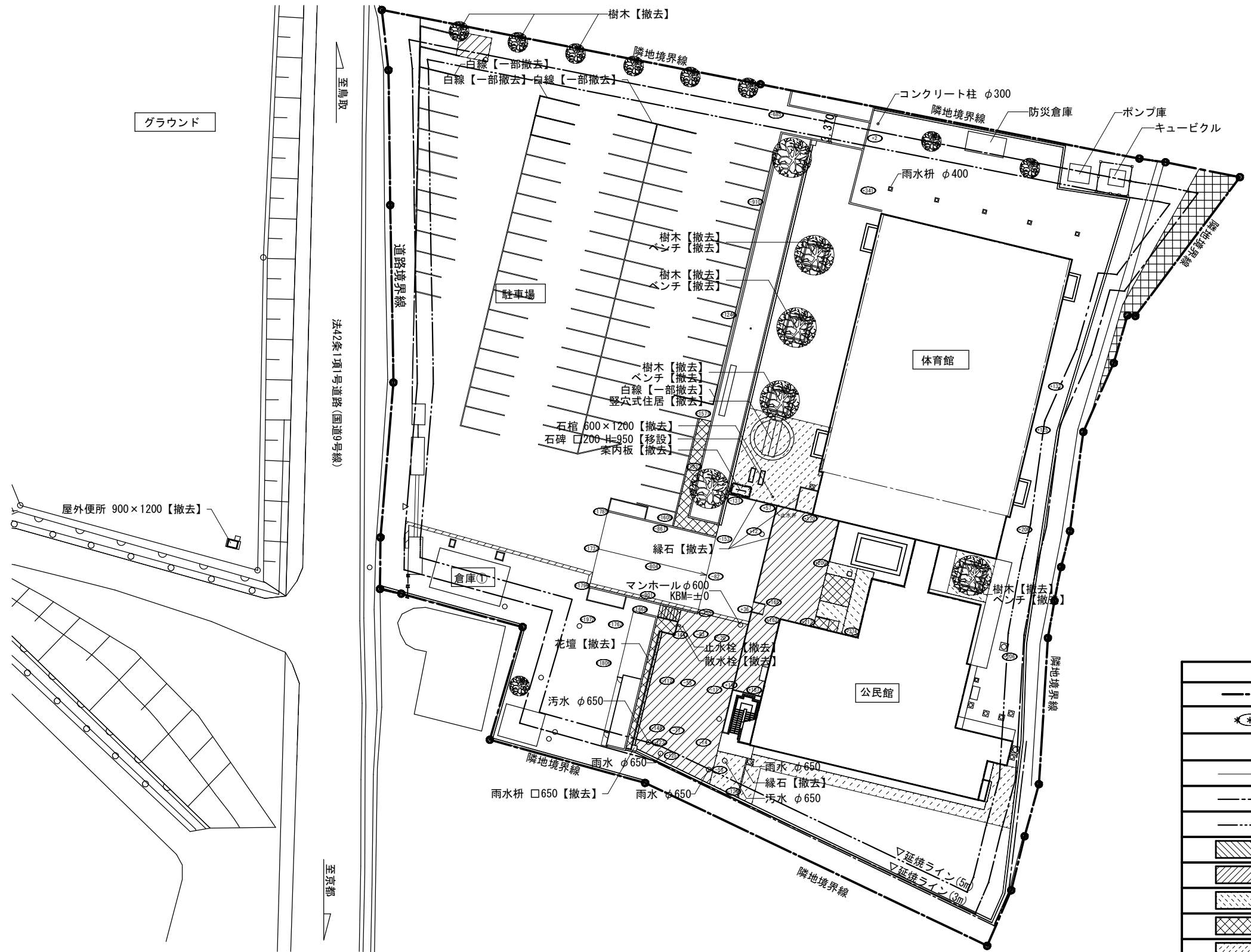
9人乗り昇降機設備工事特記仕様書							章	項目			特記事項			章	項目			特記事項																																																																																													
<div>【1】工事概要</div> <div>1 工事名称六人部地域公民館・体育館大規模改修工事</div> <div>2 工事場所福知山市宇多保市162-2</div> <div>3 工事範囲（本工事は●印の工事）<div>●昇降機設備工事</div><div>・昇降機電源工事</div></div> <div>4 用途地域</div> <div>5 敷地面積</div> <div>6 建築物概要</div> <table><tr><td></td><td>棟名</td><td>構造</td><td>階数</td><td>建築面積(m²)</td><td>延べ面積(m²)</td><td>備考</td></tr><tr><td>増築</td><td>エレベーター棟</td><td>S造</td><td>2</td><td>6.84</td><td>6.84</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <div>7 工事科目</div> <table><tr><td>科目</td><td>(第○号棟)</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>マシンルーム型</td><td>●</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>								棟名	構造	階数	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)	備考	増築	エレベーター棟	S造	2	6.84	6.84																																					科目	(第○号棟)					マシンルーム型	●																							1一般共通事項	<div>①適用基準</div> <div>次の仕様書を準用する。<div>●公共住宅建設工事共通仕様書（○○年版）<div>国土交通省住宅局住宅総合整備課監修</div></div><div>●昇降機技術基準の解説2016年版 国土交通省住宅局建築指導課監修</div></div> <div>※公共建築工事標準仕様書○○年版（機械設備編、電気設備編） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修</div> <div>※公共建築設備工事標準図○○年版（機械設備編、電気設備編） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修</div> <div>2電気保安技術者</div> <div>③設備機材等</div> <div>④工事実績情報の登録</div> <div>5処理計画書の提出</div> <div>6発生材の処理等</div>			<div>1一般共通事項</div> <div>⑧施工条件</div> <div>⑨現場代理人</div> <div>⑩施工体制台帳等の作成・提出</div> <div>⑪建設業退職金共済制度</div> <div>⑫関連工事との取合い</div> <div>⑬施工図等の取扱い</div> <div>⑭工事写真</div> <div>⑮工事報告</div> <div>⑯完成図その他</div> <div>⑰保全に関する資料</div>			<div>※現場説明書による。</div> <div>※本工事にあたっては、請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、請負者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。</div> <div>※請負者は、請負金額にかかわらず、施工体制台帳（下請負契約書等添付）及び施工体系図を作成し、監督職員に提出しなければならない。</div> <div>※請負者は、工事完成時に建退共運営実績報告書を提出しなければならない。</div> <div>施工範囲 ※工事区分表による</div> <div>※施工図等の著作権に関わる当該建築物に限る使用权は、発注者に移譲される。 ※施工図等の電子納品については、現場説明書による。</div> <div>※「工事写真の撮り方（改訂3版）建築設備編」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）による他は、監督職員の指示による。 ※下記のことを監督職員に提出する。<table><tr><td></td><td>部数（材1枚につき）</td><td></td><td></td></tr><tr><td>着工前</td><td>※1部 ○部</td><td>※カラーサービス版</td><td>※24×36以上</td></tr><tr><td>工事中</td><td>※1部 ○部</td><td>※カラーサービス版</td><td>※24×36以上</td></tr><tr><td>完成時（ ）箇所</td><td>※2部 ○部</td><td>※カラーサービス版 ○カラーキャビネ版</td><td>※24×36以上 ○60×70以上</td></tr></table><div>※着工前及び工事中の工事写真に限り、デジタルカメラ使用を可とする。この場合の規格等は「工事写真の撮り方（改訂3版）」による。 ※完成写真撮影場所は、監督職員の指示による。 ※工事写真及び完成写真の電子納品については、現場説明事項書による。</div><div>月報 ※提出する（月末〆め、翌月5日までに提出） ○提出不要 日報 ※提出不要 ○提出する 週報 ※提出不要 ○提出する</div><div>完成図 ※作成する（提出部数 ※A2版2部 ○部；詳細は監督職員の指示による） 完成図書 ※作成する（提出部数 ※2部 ○部；詳細は監督職員の指示による） ※完成図書等の電子納品については、現場説明書による。</div><div>※作成する。（提出部数 ※2部 ○部） 詳細は監督職員の指示による。 建設大臣官房官庁営繕部監修「管理者のための建築物保全の手引き」を参考に作成すること。 また、保守点検業務の詳細を示す「点検・手入れ項目詳細」及び、機器等の劣化・摩耗による故障予防のための「維持修繕項目詳細」を提出する。</div></div>				部数（材1枚につき）			着工前	※1部 ○部	※カラーサービス版	※24×36以上	工事中	※1部 ○部	※カラーサービス版	※24×36以上	完成時（ ）箇所	※2部 ○部	※カラーサービス版 ○カラーキャビネ版	※24×36以上 ○60×70以上
	棟名	構造	階数	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)	備考																																																																																																									
増築	エレベーター棟	S造	2	6.84	6.84																																																																																																										
科目	(第○号棟)																																																																																																														
マシンルーム型	●																																																																																																														
	部数（材1枚につき）																																																																																																														
着工前	※1部 ○部	※カラーサービス版	※24×36以上																																																																																																												
工事中	※1部 ○部	※カラーサービス版	※24×36以上																																																																																																												
完成時（ ）箇所	※2部 ○部	※カラーサービス版 ○カラーキャビネ版	※24×36以上 ○60×70以上																																																																																																												
<div>【2】適用範囲</div> <div>現場説明書（質疑回答書、特記事項書を含む）、本特記仕様書、設計図、共通仕様書に示す範囲とする。</div> <div>全ての設計図書は、相互に補完するものとし、相違がある場合は、上記の順を優先順位とする。 上記の共通仕様書とは、国土交通省住宅局住宅総合整備課監修公共住宅建設工事共通仕様書（最新年度版）をいう。（以下、これを「共仕」という。） 設計図書等に疑義が生じた場合は、監督員と協議を行うこと。</div> <div>【3】工事区分</div> <div>設計図書による 別契約の施工上密接に関連する工事との取り合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。</div> <div>【4】工事仕様</div> <div>1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、メーカー標準仕様による。</div> <div>2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。</div> <div>3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。※印と●印の付いた場合は共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のもののみ適用する。</div>							2仮設工事・その他	<div>①工事用仮設物</div> <div>②工事用水</div> <div>③工事用電力</div> <div>④表示板</div> <div>⑤足場その他</div> <div>⑥付属品及び予備品</div>			<div>構内に設置 ○出来る ○出来ない</div> <div>構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる（○有償 ○無償）</div> <div>構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる（○有償 ○無償）</div> <div>※500×1800</div> <div>●工事で設置する足場については、「公共住宅建設工事共通仕様書（平成25年版）」の総則編1.3.1足場、その他の2に規定されている「手すり先行法等に関するガイドライン」（厚生労働省 平成21年4月）の「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの「手すり先行法による足場の組立等に関する基準」の2の（2）手すり据置き方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。</div> <div>※メーカーの規定による。</div>																																																																																																				
<div>Ver. H25_02</div>								<div>株式会社 山崎設計</div> <div>一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第 219288 号 山崎友也</div> <table><tr><td>設計番号</td><td>設計年度</td><td>令和 年 月</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>			設計番号	設計年度	令和 年 月				決裁欄	課長	担当課長	副課長	担当	工事名	六人部地域公民館・体育館大規模改修工事		図番	No. A-012																																																																																					
設計番号	設計年度	令和 年 月																																																																																																													
								図名	EV特記仕様書（1）		縮尺	—	168枚の内																																																																																																		

項 目			仕 様 事 項			項 目			仕 様 事 項			項 目			仕 様 事 項											
昇 降 機 設 備	①	昇降機仕様	型 式	※中低層共同住宅用エレベータ（マシングルームレス型）		昇 降 機 設 備	④	乗 場	乗場枠	※構造・形態はメーカー標準とし、化粧鋼板又は鋼板焼付塗装仕上とする。		⑧	福祉型仕様	※かがが着床したときの床面差は±15mm以内とする。												
			積載荷重	※600kg （9名）					戸	※かごの戸に連動して開閉する片面張りパネルドアとする。 ※厚さ1.6mm以上の化粧鋼板又は焼付塗装仕上とする。 ※窓付（ガラス厚6.8mm以上、700mm×200mm以上の網入りガラス） ※建築基準法施行令第112条第14項第2項の規定により遮煙機能を有するもの				※各階に一般乗場ボタンを低い位置に設置する。（床±1,000mm）												
			速 度	※4.5m/min					敷居	※硬質アルミ製とし、清掃性を考慮した構造とする。				※かが内に一般操作盤を1面設ける。（車椅子でも使用可能な形状・位置に設置する。）												
②		基本仕様	停止箇所	2 箇所		⑤		その他	色	※監督職員の指示による。		⑨	その他事項	※かが内の片面に手すりを設ける。												
			かご内寸	※間口1500mm×奥行1520mm×天井高2300mm （トランクルームは取付けない）					※照明・換気扇自動休止装置 ○いたずら呼びキャンセル装置 ※信号装置 <ul style="list-style-type: none"> ●乗場位置表示器及び押しボタン ●かご内位置表示器（点灯以外でも可） ●かご内操作盤 				※かが内の背面に鏡を設ける。大きさは、500×1400以上。													
			出入口幅	※幅800mm×高さ2,000mm					※警報装置（インターホンボタン及び専用ボタンによる） ※連絡装置（1階エレベータホール設置のインターホン及び遠隔監視センターへの連絡） <ul style="list-style-type: none"> ●電源は、自動充電式蓄電池 				※専用乗場ボタン及び専用操作盤に点字銘板を設ける。													
③			電動機	※ 3.1 kw以下		⑥			※安全装置 <ul style="list-style-type: none"> ●戸開走行保護装置 ●かご戸及び乗場ドアスイッチ ●乗場ドアロック ●リミットスイッチ ●ファイナルリミットスイッチ ●過速安全スイッチ ●非常止め装置 ●緩衝装置 ●戸繰り返し反転機構 ●低速自動救出運転装置 ●過荷重検出装置 ●冠水検知スイッチ ●非常停止スイッチ（メンテナンス関係安全装置） ●ピット内安全スイッチ（メンテナンス関係安全装置） ●制御壁扉スイッチ（メンテナンス関係安全装置） ●かご上安全手すり（メンテナンス関係安全装置） 			⑦			※自動放送装置（音声案内装置）を設ける。											
			運転方式	※方向性乗合全自動方式乗り捨て式					※連絡装置（1階エレベータホール設置のインターホン及び遠隔監視センターへの連絡） <ul style="list-style-type: none"> ●電源は、自動充電式蓄電池 					※乗場床先とかご床先との水平距離を20mm以下とする。												
			制御方式	※可変電圧可変周波数制御方式（インバータ制御方式）					※安全装置 <ul style="list-style-type: none"> ●戸開走行保護装置 ●かご戸及び乗場ドアスイッチ ●乗場ドアロック ●リミットスイッチ ●ファイナルリミットスイッチ ●過速安全スイッチ ●非常止め装置 ●緩衝装置 ●戸繰り返し反転機構 ●低速自動救出運転装置 ●過荷重検出装置 ●冠水検知スイッチ ●非常停止スイッチ（メンテナンス関係安全装置） ●ピット内安全スイッチ（メンテナンス関係安全装置） ●制御壁扉スイッチ（メンテナンス関係安全装置） ●かご上安全手すり（メンテナンス関係安全装置） 					※一次電源 別途建築工事で予定する場所以外の位置に一次電源を必要とする場合は、予定位置から電源引込み地点までの配管配線は本工事とする。												
			電 源	※動力用（三相 200V）、照明用（単相 100V）供給		⑦			※安全装置 <ul style="list-style-type: none"> ●戸開走行保護装置 ●かご戸及び乗場ドアスイッチ ●乗場ドアロック ●リミットスイッチ ●ファイナルリミットスイッチ ●過速安全スイッチ ●非常止め装置 ●緩衝装置 ●戸繰り返し反転機構 ●低速自動救出運転装置 ●過荷重検出装置 ●冠水検知スイッチ ●非常停止スイッチ（メンテナンス関係安全装置） ●ピット内安全スイッチ（メンテナンス関係安全装置） ●制御壁扉スイッチ（メンテナンス関係安全装置） ●かご上安全手すり（メンテナンス関係安全装置） 			⑧			※乗場信号装置 乗場信号装置（各乗場押ボタン等）は、乗場ホールの昇降路壁面に取付ける。（点字タイル位置に取付ける。）											
			設計用震度	※耐震クラス「A-14」とし、下記による。 <table border="1"> <tr> <th>対象機器</th><th>水平震度KH</th><th>鉛直震度KV</th></tr> <tr> <td>2階以上の階</td><td>0.6</td><td>0.3</td></tr> <tr> <td>1階及び地階</td><td>0.4</td><td>0.2</td></tr> </table>				対象機器	水平震度KH	鉛直震度KV	2階以上の階		0.6	0.3	1階及び地階	0.4	0.2			※「エレベーター安全装置設置済みのマーク表示制度」に基づきかご内にマークを設置すること。			⑨			※「エレベーター安全装置設置済みのマーク表示制度」に基づきかご内にマークを設置すること。
対象機器	水平震度KH	鉛直震度KV																								
2階以上の階	0.6	0.3																								
1階及び地階	0.4	0.2																								
		※ 昇降機耐震設計・施工指針（2016年版）適用						※警報装置（インターホンボタン及び専用ボタンによる） ※連絡装置（1階エレベータホール設置のインターホン及び遠隔監視センターへの連絡） <ul style="list-style-type: none"> ●電源は、自動充電式蓄電池 					※乗場床先とかご床先との水平距離を20mm以下とする。													
			● 下記告示の改正内容を満たしていること。			⑧			※安全装置 <ul style="list-style-type: none"> ●戸開走行保護装置 ●かご戸及び乗場ドアスイッチ ●乗場ドアロック ●リミットスイッチ ●ファイナルリミットスイッチ ●過速安全スイッチ ●非常止め装置 ●緩衝装置 ●戸繰り返し反転機構 ●低速自動救出運転装置 ●過荷重検出装置 ●冠水検知スイッチ ●非常停止スイッチ（メンテナンス関係安全装置）																	

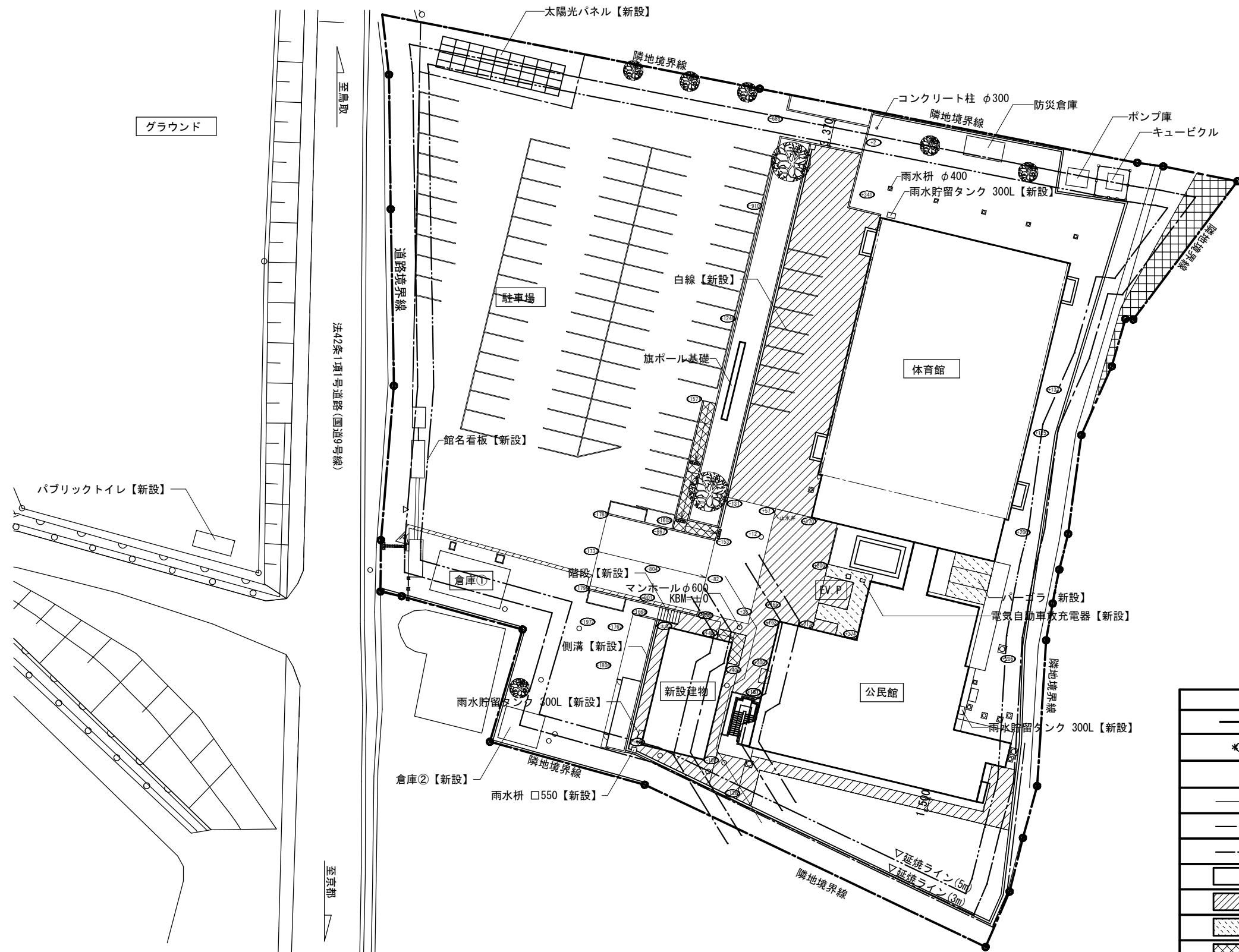














地図情報検索システム（GIS）参照

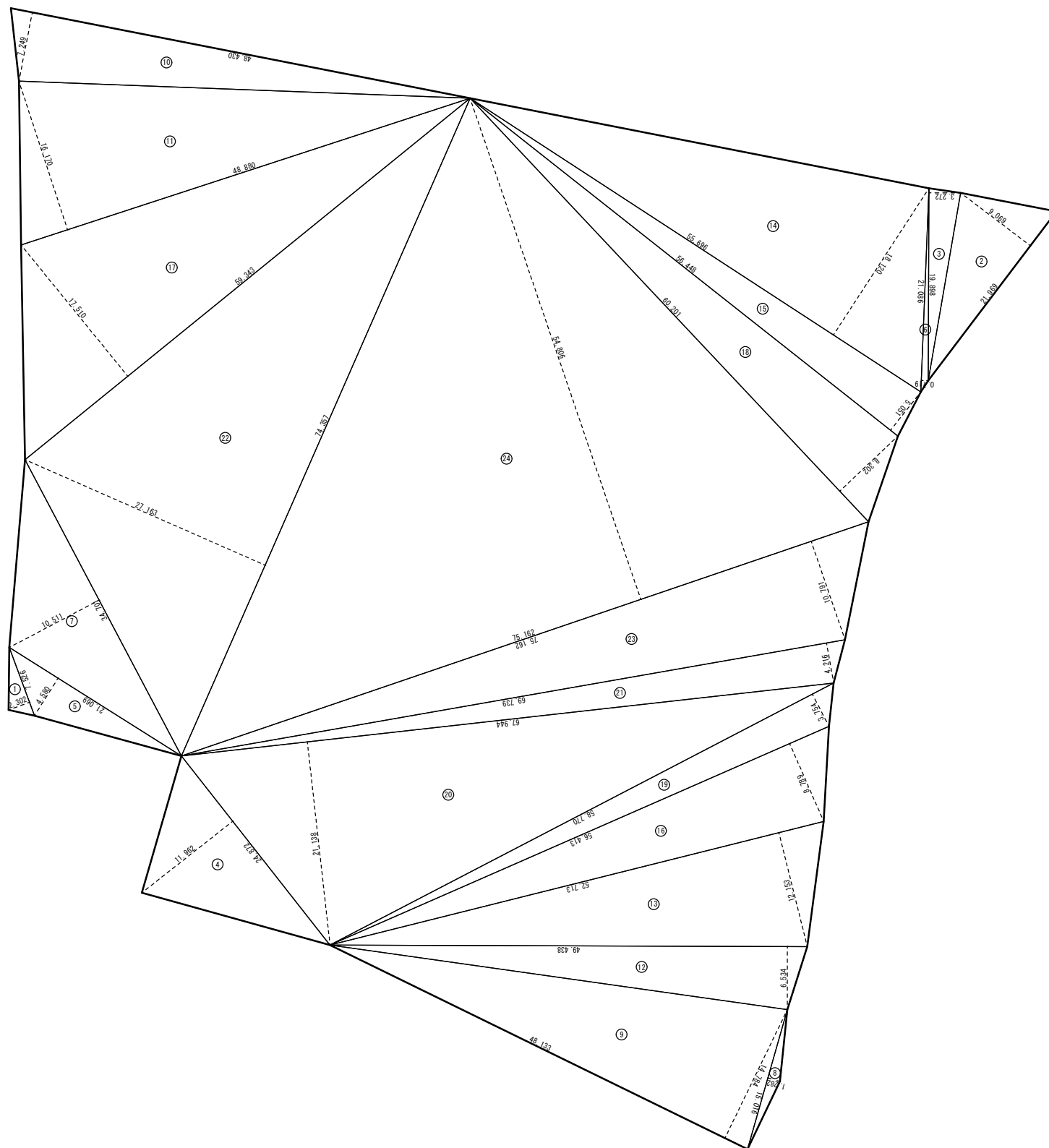
<div>1/1000 1/500 1/250 1/125 1/63 1/32 1/16 1/8 1/4 1/2 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100</div>					<div>株式会社 山崎設計</div> <div>一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号</div> <div>一級建築士 大臣登録 第 219288 号 山崎友也</div>					決裁欄	課 長		担当課長		副 課 長		担 当		工事名	六人部地域公民館・体育館大規模改修工事				図 番	
設 計 番 号		設 計 年 度		令和 年 月											No. A-014		168								
															1/2500		枚の内								
Ver. H25.02																付近見取図		縮尺							



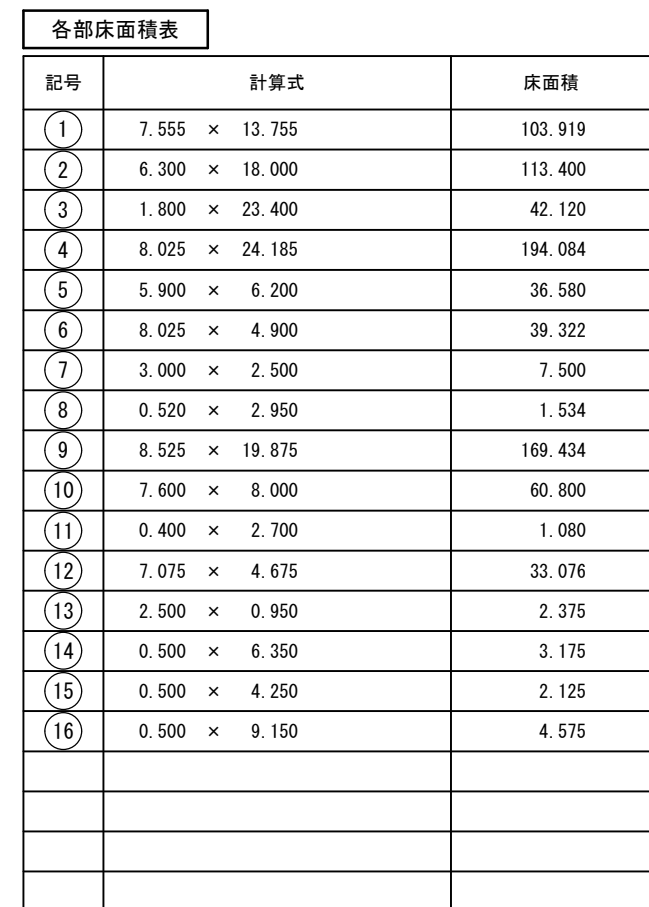
凡 例	
	敷地境界線を示す
	K B Mからの地盤レベルを示す
	隣棟間中心線
	延焼のおそれのある部分 (3 m)
	延焼のおそれのある部分 (5 m)
	白線撤去
	アスファルト撤去
	磁器質タイル撤去
	コンクリート撤去
	土砂鋤取り撤去



凡	例
	敷地境界線を示す
	KBMからの地盤レベルを示す
	隣棟間中心線
	延焼のおそれのある部分（3m）
	延焼のおそれのある部分（5m）
	新設建物
	アスファルト新設
	磁器質タイル新設
	コンクリート新設
	点状ブロック □300
	線状ブロック □300
	点字案内（蝕知図・点字表示）を示す

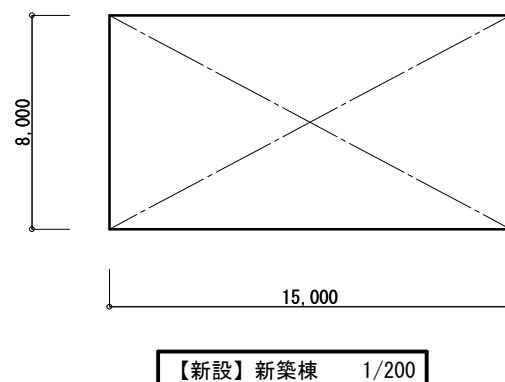
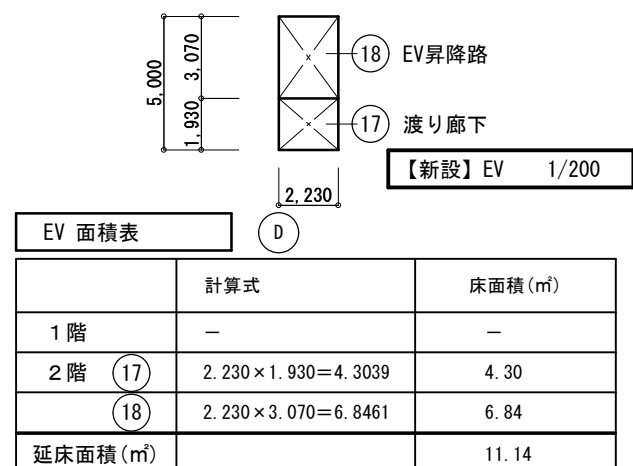


Ver. H25.02		 株式会社 山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第 219288 号 山崎友也		決裁欄	課長	担当課長	副課長	担当	工事名	六人部地域公民館・体育館大規模改修工事			図番 No. A-017/ 168 枚の内
	設計番号	設計年度	令和 年 月						国名	敷地求積図	縮尺	1/400	

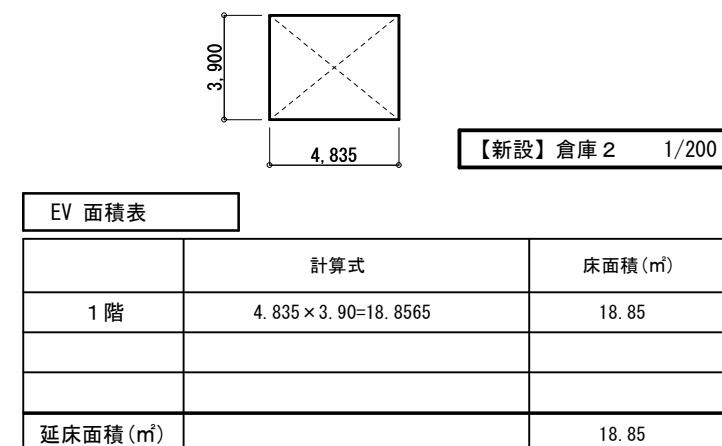


公民館棟 面積表		1 階
	計算式	床面積 (㎡)
1 階	$(1) + (2) + (3) + (4) + (5) + (6) + (7) + (8) + (13)$	540.834
2 階	$(9) + (10) + (11) \times 2 + (17) + (18)$	243.534
延床面積 (㎡)		784.36

建築面積表		
	計算式	建築面積 (㎡)
公民館	1 階床面積 + (12) + (14) × 2 + (15) + (16)	586.96
		586.96



新築棟 面積表		
	計算式	床面積 (㎡)
1 階	$15.00 \times 8.00 = 120.00$	120.00
延床面積 (㎡)		120.00





	計算式	床面積 (㎡)
延床面積	① + ② + ③ + ④ + ⑤ + ⑥	940.33
建築面積	① + ② + ③ + ④ + ⑤ + ⑥	940.33

面積表	
建物名	面積(㎡)
公民館	784.37
体育館	940.33
自転車置場	30.87
消火栓ポンプ室	5.00
防災倉庫(12条5項)	12.00
倉庫①(12条5項)	45.00
【新設】倉庫②	18.85
【新設】EV	11.15
【新設】新設棟	120.00
建物面積合計	1967.57

現況外部仕上表		改修外部仕上表	
部 位	仕 上	部 位	仕 上
屋根	アスファルト露出防水(アスベスト含有)【存置】、ルーフトレイン 鉄製φ100φ75用 横引【撤去】	屋根	下地調整の上改質アスファルトシート防水 AS-T3 (トーチ工法) 【新設】、改修用塩ビ製ルーフトレン φ100【新設】
パラペット笠木	アルミ製【撤去】	パラペット笠木	アルミ製【新設】
庇	天端 防水モルタル塗【存置】、軒天 吹付タイル(アスベスト含有下地共)【撤去】※集塵装置付きディスクグラインダー工法	庇	天端 高圧水洗工法、劣化補修、防水下地調整の上、ウレタン塗膜防水(X-2仕様)【新設】、軒天 下地調整の上外装薄塗材E【新設】
外壁	吹付タイル(アスベスト含有下地共)【撤去】※集塵装置付きディスクグラインダー工法	外壁	下地調整の上防水型複層塗材E【新設】
開口部	アルミサッシ【一部撤去】	開口部	アルミサッシ【一部新設】
カーニバル(吊金物工法)	枠 スチール枠ジュラクロン焼付【存置】、ガラス スクリーン：フロートt15 リブ：フロートt19、玄関 強化t12 【一部撤去】	カーニバル(吊金物工法)	枠 溶融アルミ亜鉛合金メッキ鋼板 t=0.5 (カバー工法)【新設】、ガラス スクリーン：フロートt15 リブ：フロートt19、玄関 強化t12 【一部新設】【清掃】
バルコニー	床 防水モルタルコテ押え【撤去】、パライトコンクリート打ち 水下t=60 水勾配 1/100【撤去】、アスファルト防水(押え工法)【撤去】、均しモルタル t=30【撤去】、ルーフトレイン 鉄製φ100φ75用 横引【撤去】、手摺 スチール製焼付塗装仕上【撤去】	バルコニー	床 アスファルトシート防水(熱工法)【新設】、軽量コンクリート水下t=60 水勾配 1/100【新設】、ルーフトレイン 鉄製φ100φ75用 横引【新設】、手摺 アルミ製【新設】
縦樋	硬質塩ビ管(VP)φ100φ75 VP塗 飾樹【撤去】	縦樋	硬質塩ビ管(カラーVP)φ100φ75 飾樹【新設】
玄関ポーチ	床 木曽石貼【撤去】、 SUS製泥マット【撤去】、庇 ボンデ鋼板ジュラクロン焼付【存置】、軒天 塩ビ鋼板スパンドレル【存置】	玄関ポーチ	床 磁器質タイル口150【新設】、 SUS製泥マット【新設】、庇 下地調整の上、DP塗【新設】、軒天 下地調整の上DP塗【新設】
屋外階段	階段 防水モルタル仕上【存置】 段鼻タイル【撤去】、手摺 スチール製焼付塗装仕上【撤去】	屋外階段	階段 防水モルタル仕上【高圧洗浄】 段鼻タイル【新設】、手摺 アルミ製【新設】

現況内部仕上表										改修内部仕上表									
階	室名	床高	床	巾木	壁	天井	廻り縁	天井高	備考	階	室名	床高	床	巾木	壁	天井	廻り縁	天井高	備考
1	玄関	-150	木曽石貼 150x150【撤去】		レリーフタイル貼 200x100【存置】	LGS下地 PB t=9 捨貼 岩綿吸音板 ビニールクロス貼【撤去】	アルミ青色 【撤去】	2600 6965	坪庭【存置】倉置、下足箱【撤去】 上框 白御影石本磨【存置】 スロープ【撤去】	1	玄関	-150	磁器質タイル□150【新設】	—	レリーフタイル貼 200x100【清浄】	化粧PB t=9.5【新設】	アルミ青色 【新設】	2600 6965	スロープ【新設】
	下足室	±0	モルタル金こて押え下地 CFシート貼 t=2.3【撤去】		モルタルコテ押え 吹付タイル【撤去】 (アスベスト含有下地共)	LGS下地 PB t=9 捨貼 岩綿吸音板 ビニールクロス貼【撤去】	アルミ青色 【撤去】	6815	上框 白御影石本磨【撤去】 下足箱【撤去】、室名札【撤去】		下足室	±0	ビニール床シートt=2.0【新設】	—	レリーフタイル貼 200x100【再設置】	化粧PB t=9.5【新設】	アルミ青色 【新設】	6815	下足箱【新設】
	ロビー	±0	モルタル金こて押え下地 CFシート貼 t=2.3【撤去】	大理石 R付 H=150【存置】	レリーフタイル貼 100x100 古代100【存置】	LGS下地 PB t=9 布クロス貼(無地) VP吹付【撤去】	アルミ青色 【撤去】	6815	坪庭【一部撤去】		ロビー	±0	ビニール床シートt=2.0【新設】	大理石 R付 H=150【清浄】	レリーフタイル貼 200x100【清浄】	化粧PB t=9.5【新設】	アルミ青色 【新設】	6815	EV【新設】 倉庫2【新設】
	廊下	±0	モルタル金こて押え下地 CFシート貼 t=2.3【撤去】	ビニール巾木 H=75【撤去】	PB t=12(GL)【存置】 ビニールクロス貼【撤去】	LGS下地 PB t=9 捨貼 岩綿吸音板【撤去】	塩ビ 【撤去】	2400	—		廊下	±0	ビニール床シートt=2.0【新設】	ビニール巾木 H=75【新設】	ビニールクロス貼【新設】	化粧PB t=9.5【新設】	塩ビ 【新設】	2400	—
		±0	モルタル金こて押え下地 CFシート貼 t=2.3【撤去】	大理石 R付 H=150	レリーフタイル貼 100x100 古代100【一部撤去】	LGS下地 PB t=9 捨貼 岩綿吸音板 VP吹付【撤去】	アルミ青色 【撤去】	2600	—			±0	ビニール床シートt=2.0【新設】	—	レリーフタイル貼 200x100【再設置】	化粧PB t=9.5【新設】	アルミ青色 【新設】	2600	—
	西出入口	-150	100角磁器質タイル貼【存置】	ミカゲ石 H=150【存置】	PB t=12(GL)【存置】 ビニールクロス貼【撤去】	LGS下地 PB t=9 捨貼 岩綿吸音板【撤去】	塩ビ 【撤去】	2550	上框		西出入口	-150	100角磁器質タイル貼【清掃】	ミカゲ石 H=150【清掃】	ビニールクロス貼【新設】	化粧PB t=9.5【新設】	塩ビ 【新設】	2550	—
	事務室	±0	モルタル金こて押え下地 カーペット敷込(ラバー付) 【撤去】	木製 洋サクラ OS、CL H=75【撤去】	PB t=12(GL)(不燃)【存置】 ビニールクロス貼【撤去】	LGS下地 PB t=9 捨貼 岩綿吸音板【撤去】	塩ビ 【撤去】	2600	行事塗板【一時撤去】、カーテン カーテンBOX、ブラインド【撤去】 室名札【一時撤去】		事務室	±0	カーペット敷込(ラバー付) 【新設】	木製 OS、CL H=75【新設】	ビニールクロス貼 (不燃)【新設】	不燃積層化粧PB(不燃) t=9.5【新設】	塩ビ 【新設】	2600	行事塗板、室名札【再設置】 ‘ブラインド’・‘ブラインド’BOX【一部新設】 壁面窓【一部新設】
	湯沸室	±0	モルタル金こて押え下地 CFシート貼 t=2.3【撤去】	ビニール巾木 H=75【撤去】	100角半磁器質タイル貼 【撤去】	LGS下地 ケイ酸カルシウム板 t=6 底目地貼 VP【撤去】	塩ビ 【撤去】	2600	ミニキッチン【撤去】 室名札【一時撤去】、 ガス漏れ警報器		湯沸室	±0	ビニール床シートt=2.0【新設】	ビニール巾木 H=75【新設】	PB t=12.5(GL)【新設】 ビニールクロス貼【新設】	化粧PB t=9.5【新設】	塩ビ 【新設】	2600	ミニキッチン【新設】 室名札【再設置】
	更衣室	±0	モルタル金こて押え下地 CFシート貼 t=2.3【撤去】	ビニール巾木 H=75【撤去】	PB t=12(GL)【存置】 ビニールクロス貼【撤去】	LGS下地 PB t=9 底目地貼 VP 【撤去】	塩ビ 【撤去】	2600	室名札【一時撤去】		更衣室	±0	ビニール床シートt=2.0【新設】	ビニール巾木 H=75【新設】	ビニールクロス貼【新設】	化粧PB t=9.5【新設】	塩ビ 【新設】	2600	室名札【再設置】
	包括支援センター	±0	モルタル金こて押え下地 カーペット敷込(ラバー付) 【撤去】	ビニール巾木 H=75【撤去】	PB t=12(GL)【存置】 一部断熱ボード t=27(GL)【存置】 ビニールクロス貼【撤去】	LGS下地 PB t=9 布クロス貼 【撤去】	塩ビ 【撤去】	2600	カーテンBOX、カーテンレール、 カーテン、室名札【撤去】、 本棚【撤去】		学習室 (室用途変更)	±0	カーペット敷込(ラバー付) 【新設】	ビニール巾木 H=75【新設】	ビニールクロス貼【新設】	化粧PB t=9.5【新設】	塩ビ 【新設】	2600	室名札【新設】
	倉庫	±0	モルタル金こて押え下地 CFシート貼 t=2.3【撤去】	ビニール巾木 H=75【撤去】	PB t=12(GL)VP【存置】	LGS下地 PB t=9 底目地貼 VP 【撤去】	塩ビ 【撤去】	2600	室名札【一時撤去】		倉庫1	±0	ビニール床シートt=2.0【新設】	ビニール巾木 H=75【新設】	下地調整の上EP塗【新設】	化粧PB t=9.5【新設】	塩ビ 【新設】	2600	室名札【再設置】
	便所 (男子・女子)	-70	土間コンクリート【撤去】 ラグランモザイクタイル貼 【撤去】	100角半磁器質 タイル貼 【一部撤去】	CB間仕切壁【撤去】 100角半磁器質 デザインタイル貼【一部撤去】	LGS下地 ケイ酸カルシウム板 t=6 底目地貼 VP【撤去】	塩ビ 【撤去】	2650	ペーパーホルダー【撤去】、 面台 人造大理石 t=25【撤去】、 室名札【撤去】		便所 (男子・女子)	±0	土間コンクリート【新設】 ビニール床シートt=2.0 【新設】	ビニール巾木 H=75【新設】	LGS65+PB t=12.5【新設】 マミン化粧板t=3.0【新設】 既存開口部閉塞【新設】	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP【新設】	塩ビ 【新設】	2580	ペーパーホルダー【新設】、 面台 メラミンポストフォーム t=30【新設】、室名札【新設】
	パリアフリー便所	±0	土間コンクリート【撤去】 モルタル金こて押え下地 CFシート貼t=2.3【撤去】	ビニール巾木 H=75【撤去】	PB t=12(GL)【一部撤去】 ビニールクロス貼【撤去】 手洗前100角半磁器質タイル【撤去】	LGS下地 ケイ酸カルシウム板 t=6 底目地貼 VP【撤去】	塩ビ 【撤去】	2400	室名札【撤去】		パリアフリー便所 (面積拡大)	±0	土間コンクリート【新設】 ビニール床シートt=2.0 【新設】	ビニール巾木 H=75【新設】	LGS65+PB t=12.5 【一部新設】 ビニールクロス貼【新設】	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP【新設】	塩ビ 【新設】	2400	出入口位置変更、既存開口閉塞 【新設】 室名札【新設】
洗面所	±0	土間コンクリート【撤去】 モルタル金こて押え下地 CFシート貼t=2.3【撤去】	ビニール巾木 H=75【撤去】	PB t=12(GL)【一部撤去】 ビニールクロス貼【撤去】	LGS下地 ケイ酸カルシウム板 t=6 底目地貼 VP【撤去】	塩ビ 【撤去】	2400	化粧鏡【撤去】、室名札【撤去】		授乳室 (新規)	±0	土間コンクリート【新設】 ビニール床シートt=2.0 【新設】	ビニール巾木 H=75【新設】	LGS65+PB t=12.5 【一部新設】 ビニールクロス貼【新設】	化粧PB t=9.5【新設】	塩ビ 【新設】	2400	室名札【新設】	
										倉庫2 (新規)	±0	ビニール床シートt=2.0 【新設】	ビニール巾木 H=75【新設】	LGS65+PB t=12.5 EP 【新設】	LGS下地【新設】 化粧PB t=9.5【新設】	塩ビ 【新設】	1960 ～ 3510	室名札【新設】	

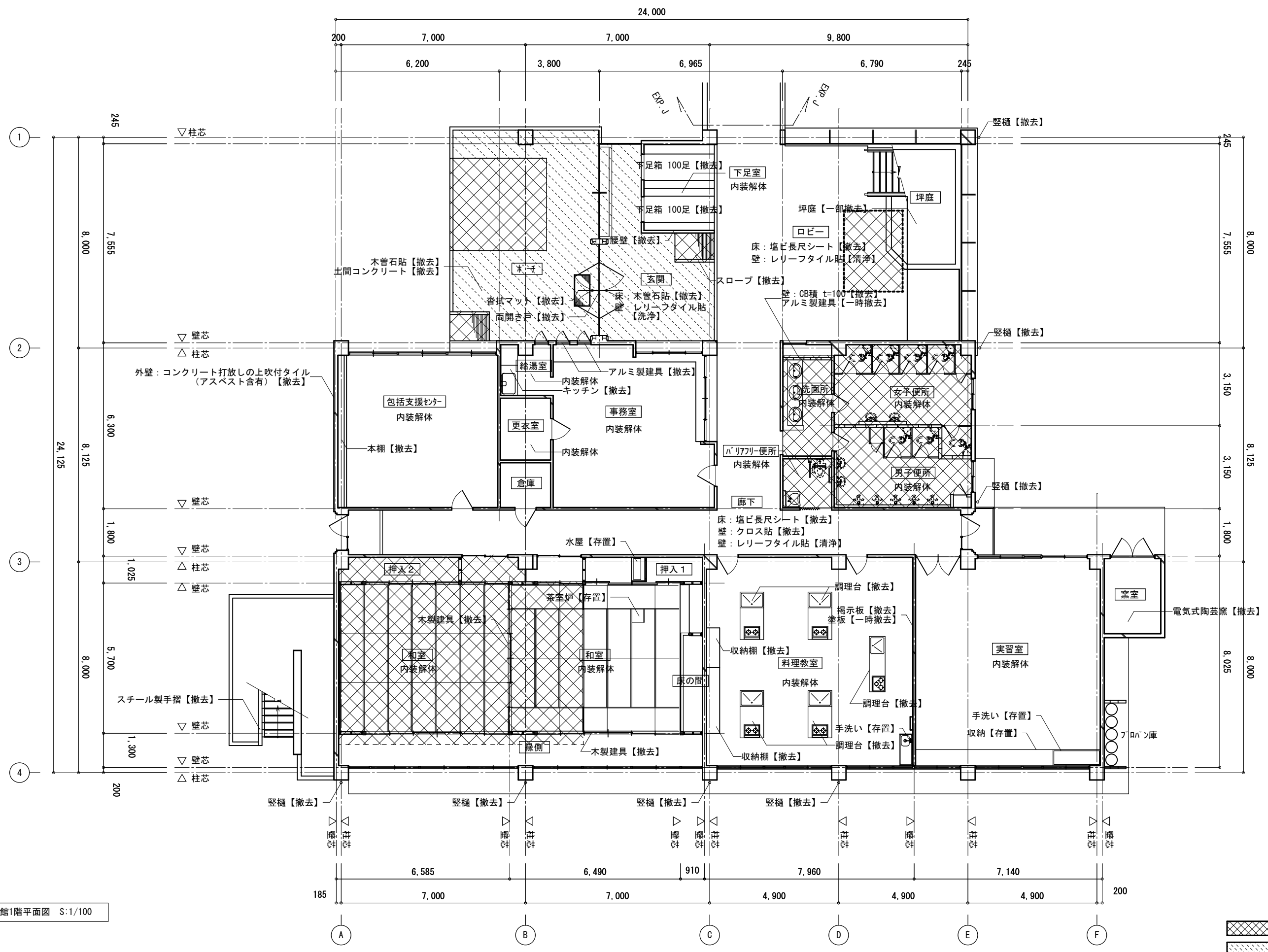
※特記なき限り【存置】とする

<div>1/100</div>									
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

現況内部仕上表									改修内部仕上表										
※ビニール巾木・ケイ酸カルシウム板(天井)・岩綿吸音板+石膏ボード(天井)はアスベスト含有建材として撤去・処分を行う																			
階	室 名	床高	床	巾 木	壁	天 井	廻り縁	天井高	備 考	階	室 名	床高	床	巾 木	壁	天 井	廻り縁	天井高	備 考
1	和室	+250	土間コンクリート【一部撤去】 モルタル下地 ネダフォーム t=95【撤去】 スタイロタタミ敷 t=55【撤去】	タタミ寄せ【撤去】	PB t=12(GL)【一部撤去】 一部断熱ボード t=27(GL)【存置】 ジュラク調クロス貼【撤去】	木製下地 杉桟石膏ボード 底目地貼【撤去】	桧(二重) 30x30 40x40【撤去】	2500	長押【一部撤去】 室名札【一時撤去】 茶室炉(本炉)【存置】	1	和室	+250	モルタル下地 ネダフォーム t=95【新設】 スタイロタタミ敷 t=55【新設】	タタミ寄せ【新設】	PB t=12.5(GL)【一部新設】 LGS65+PB t=12.5【新設】 ジュラク調クロス貼(不燃)【新設】	石膏ボード t=12.5(不燃)【新設】 ビニルクロス貼(木目調)(不燃)【新設】	桧(二重) 30x30 40x40【新設】	2500	出入口位置変更 茶室炉(受金具,電熱器,炭型シーズヒーター)【新設】
			モルタル下地敷瓦貼200口								洋室(室用途変更)	±0	土間コンクリート【新設】 モルタルコテ押えの上 ビニル床シートt=2.0【新設】	ビニール巾木H=75【新設】	PB t=12.5(GL)【新設】 ビニールクロス貼【新設】	化粧PB t=9.5【新設】	塩ビ【新設】	2750	姿見鏡【新設】
	踏込	±0	土間コンクリート【一部撤去】 モルタル下地敷瓦貼200口【一部撤去】	—	PB t=12(GL)【存置】 ジュラク調クロス貼【撤去】	木製下地 杉桟石膏ボード 底目地貼【一部撤去】	桧40x40【撤去】	2400	鴨居 白御影石本磨き【存置】 坪庭【一部撤去】 框 台桧【撤去】 巾木台 白御影石【一部撤去】		踏込	±0	—	—	ジュラク調クロス貼【新設】	石膏ボード t=9.5【新設】 ビニルクロス貼(木目調)【新設】	桧40x40【新設】	2400	—
	押入 1	+250	耐水ペニヤ t=12【存置】	雑巾摺り20x18【存置】	ラワンペニヤ t=5.5【存置】	木製下地 ラワンペニヤ t=5.5【存置】	米桐40x40【存置】		中段付		押入 1	+250	—	—	—	—	—	—	—
	押入 2	+250	土間コンクリート【撤去】 耐水ペニヤ t=12【撤去】	雑巾摺り20x18【撤去】	ラワンペニヤ t=5.5【撤去】	木製下地 ラワンペニヤ t=5.5【撤去】	米桐40x40【撤去】		中段付(一部中段なし)【撤去】		押入 2	±0	モルタルコテ押えの上 ビニル床シート t=2.0【新設】	ビニール巾木H=75【新設】	PB t=12.5(GL)【新設】 ビニールクロス貼【新設】	化粧PB t=9.5(押入用)【新設】	塩ビ【新設】	2000	—
	床の間	+400	ウスベリ貼【存置】 スタイロタタミ敷 t=55【撤去】	—	PB t=12(GL)【存置】 ジュラク調クロス貼【撤去】	木製下地 杉桟石膏ボード 底目地貼【存置】	桧40x40【存置】		床框 面皮カシュー塗,幕板 床柱 杉シボ丸太,地袋,落掛, 地板 ヤニ松合板		床の間	+400	スタイロタタミ敷【新設】	—	ジュラク調クロス貼【新設】	—	—	—	—
	広縁	+100	コロガシ根太下地【一部撤去】 桧縁甲板貼【一部撤去】	—	PB t=12(GL)【一部撤去】 一部断熱ボード t=27(GL)【存置】 ジュラク調クロス貼【撤去】	木製下地 杉桟石膏ボード 底目地貼【撤去】	桧40x40【撤去】	2520	カーテンレール【撤去】 カーテン【一時撤去】 カーテンBOX【撤去】		広縁	+100	—	—	PB t=12(GL)【一部新設】 ジュラク調クロス貼 不燃【新設】	石膏ボード t=12.5【新設】 ビニルクロス貼 不燃(木目調)【新設】	桧40x40【新設】	2520	—
	水屋	+250	モルタル下地 ネダフォーム t=95 スタイロタタミ敷 t=55【撤去】	腰板 一部タタミ寄せ【撤去】	PB t=12(GL)【存置】 ジュラク調クロス貼【撤去】	木製下地 杉桟石膏ボード【撤去】 サオフチ天井【撤去】	桧40x40【存置】	2200			水屋	+250	スタイロタタミ敷 t=55【新設】	腰板 一部タタミ寄せ【新設】	ジュラク調クロス貼 不燃【新設】	石膏ボード t=9.5【新設】 ビニルクロス貼(木目調) 竿縁天井【新設】	—	2200	上框 台桧【新設】
	料理教室	±0	モルタル金こて押え下地 C Fシート貼 t=2.3【撤去】	ビニール巾木H=75【撤去】	PB t=12(GL)【一部撤去】 ビニールクロス貼【撤去】 一部断熱ボード t=27(GL)【存置】	LGS下地 ケイ酸カルシウム板 t=6 底目地貼 VP【撤去】	塩ビ【撤去】	2700	カーテンBOX,カーテンレール, カーテン,塗板【一時撤去】 掲示板【撤去】 調理台【存置】 室名札【一時撤去】 ガス漏れ警報器,		料理教室	±0	ビニール床シートt=2.0【新設】	ビニール巾木H=75【新設】	PB t=12(GL)(不燃)【一部新設】 ビニールクロス貼(準不燃)【新設】	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP(不燃)【新設】	塩ビ【新設】	2700	倉庫3【新設】 塗板【再設置】 掲示板【新設】 調理台【新設】 室名札【再設置】 収納棚【新設】
											倉庫 3(新規)	±0	ビニール床シートt=2.0【新設】	ビニール巾木H=75【新設】	PB t=12.5(GL)EP【新設】 LGS65+PB t=12.5EP【新設】	化粧PB t=9.5【新設】	塩ビ【新設】	2700	—
	実習室	±0	モルタル金こて押え下地 C Fシート貼 t=2.3【撤去】	ビニール巾木H=75【撤去】	PB t=12(GL)【存置】 ビニールクロス貼【撤去】 一部断熱ボード t=27(GL)【存置】	LGS下地 ケイ酸カルシウム板 t=6 底目地貼 VP【撤去】	塩ビ【撤去】	2700	カーテンBOX,カーテンレール, カーテン,塗板,掲示板,流し台, 地袋, 室名札【一時撤去】		実習室	±0	ビニール床シートt=2.0【新設】	ビニール巾木H=75【新設】	ビニールクロス貼【新設】	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP【新設】	塩ビ【新設】	2700	室名札【再設置】
	窯元	±0	モルタル金こて押え【清掃】	—	コンクリート打放し【清掃】	コンクリート打放し【清掃】	—	—	陶芸窯(OSA-02型)【撤去】 排気フード,室名札		窯元	±0	—	—	—	—	—	—	陶芸窯(OSA-02型)【新設】
	階段	±0	モルタル金こて押え下地 C Fシート貼 t=2.3【撤去】	大理石貼 t=20 H=75【存置】	—	—	—	—	ノンスリップ金物【撤去】 手摺【一部撤去】 強化ガラス		階段	±0	ビニール床シートt=2.0【新設】	—	—	—	—	—	—
2	ホール	±0	モルタル金こて押え下地 C Fシート貼 t=2.3【撤去】	大理石貼 t=20 H=75【存置】	レリーフタイル貼 100x100 古代100【一部撤去】	LGS下地 PB t=9 布クロス貼(無地) VP吹付【撤去】	アルミ着色【撤去】	2915		2	ホール	±0	ビニール床シートt=2.0【新設】	木製 t=25 OSCL H=200【一部新設】	—	化粧PB t=9.5【新設】	アルミ着色【新設】	2915	
	廊下	±0	モルタル金こて押え下地 C Fシート貼 t=2.3【撤去】	ビニール巾木H=75【撤去】	PB t=12(GL)【存置】 ビニールクロス貼【撤去】	LGS下地 PB t=9 捨貼 岩綿吸音板【撤去】	塩ビ【撤去】	2500	—		廊下	±0	ビニール床シートt=2.0【新設】	ビニール巾木H=75【新設】	PB t=12(GL)【一部新設】 ビニールクロス貼【新設】	化粧PB t=9.5【新設】	塩ビ【新設】	2500	—
	研修室	±0	モルタル金こて押え下地 C Fシート貼 t=2.3【撤去】	ビニール巾木H=75【撤去】	PB t=12(GL)【存置】 ビニールクロス貼【撤去】 一部断熱ボード t=27(GL)【存置】	LGS下地 PB t=9 捨貼 岩綿吸音板【撤去】	塩ビ【撤去】	3200	スクリーンBOX,暗幕BOX, 暗幕レール,暗幕,舞台【撤去】 室名札【一時撤去】		研修室	±0	ビニール床シートt=2.0【新設】	ビニール巾木H=75【新設】	ビニールクロス貼【新設】	化粧PB t=9.5【新設】	塩ビ【新設】	3200	舞台【新設】 ,室名札【再設置】 ピクチャーレール【新設】 ワイヤーフック【新設】
	会議室	±0	モルタル金こて押え下地 カーベット敷込(ラバー付)【撤去】	ビニール巾木H=75【撤去】	PB t=12(GL)【存置】 ビニールクロス貼【撤去】 一部断熱ボード t=27(GL)【存置】	LGS下地 PB t=9 捨貼 岩綿吸音板【撤去】	塩ビ【撤去】	2500	カーテンBOX,カーテンレール, カーテン,室名札【一部撤去】		会議室	±0	カーベット敷込(ラバー付)【新設】	ビニール巾木H=75【新設】	ビニールクロス貼【新設】	化粧PB t=9.5【新設】	塩ビ【新設】	2500	壁面窓【新設】 室名札【再設置】
	湯沸室	±0	モルタル金こて押え下地 C Fシート貼 t=2.3【撤去】	ビニール巾木H=75【撤去】	PB t=12(GL)【存置】 ビニールクロス貼【撤去】 一部断熱ボード t=27(GL)【存置】 流し台前横100角半磁器質 タイル貼 H=1275【撤去】	LGS下地 ケイ酸カルシウム板 t=6 底目地貼 VP【撤去】	塩ビ【撤去】	2400	室名札【撤去】 , 1口コンロ【撤去】 , ガス漏れ警報器, 流し台【撤去】 , 給湯器【撤去】		倉庫 4(室用途変更)	±0	ビニール床シートt=2.0【新設】	ビニール巾木H=75【新設】	LGS65+PB t=12.5 EP【新設】	化粧PB t=9.5【新設】	塩ビ【新設】	2400	室名札【新設】
	倉庫	±0	モルタル金こて押え下地 C Fシート貼 t=2.3【撤去】	ビニール巾木H=75【撤去】	PB t=12(GL)VP【存置】 一部断熱ボード t=27(GL)【存置】 ビニールクロス貼【撤去】	LGS下地 PB t=9 底目地貼【撤去】 ビニールクロス貼 VP【撤去】	塩ビ【撤去】	2400	棚,室名札【一部撤去】		倉庫 5	±0	ビニール床シートt=2.0【新設】	ビニール巾木H=75【新設】	下地調整の上 EP【新設】	化粧PB t=9.5【新設】	塩ビ【新設】	2400	室名札【再設置】
	便所	-70	ラグランモザイクタイル貼【撤去】	100角半磁器質タイル貼【撤去】 (サニタリー)	100角半磁器質タイル貼【撤去】	LGS下地【撤去】 ケイ酸カルシウム板 t=6 底目地貼 VP【撤去】	塩ビ【撤去】	2400	ペーパーホルダー【撤去】 化粧鏡【撤去】 , 面台【撤去】 室名札【撤去】		便所(面積拡大)	±0	嵩上コンクリート【新設】 モルタル下地の上 ビニール床シートt=2.0【新設】	ビニール巾木H=75【新設】	PB t=12.5(GL)【新設】 LGS65+PB t=12.5【新設】 メラミン化粧板 t=3.0【新設】	LGS下地【新設】 ケイ酸カルシウム板 t=6.0 EP【新設】	塩ビ【新設】	2400	メラミンポストフォーム t=30【新設】 室名札【新設】

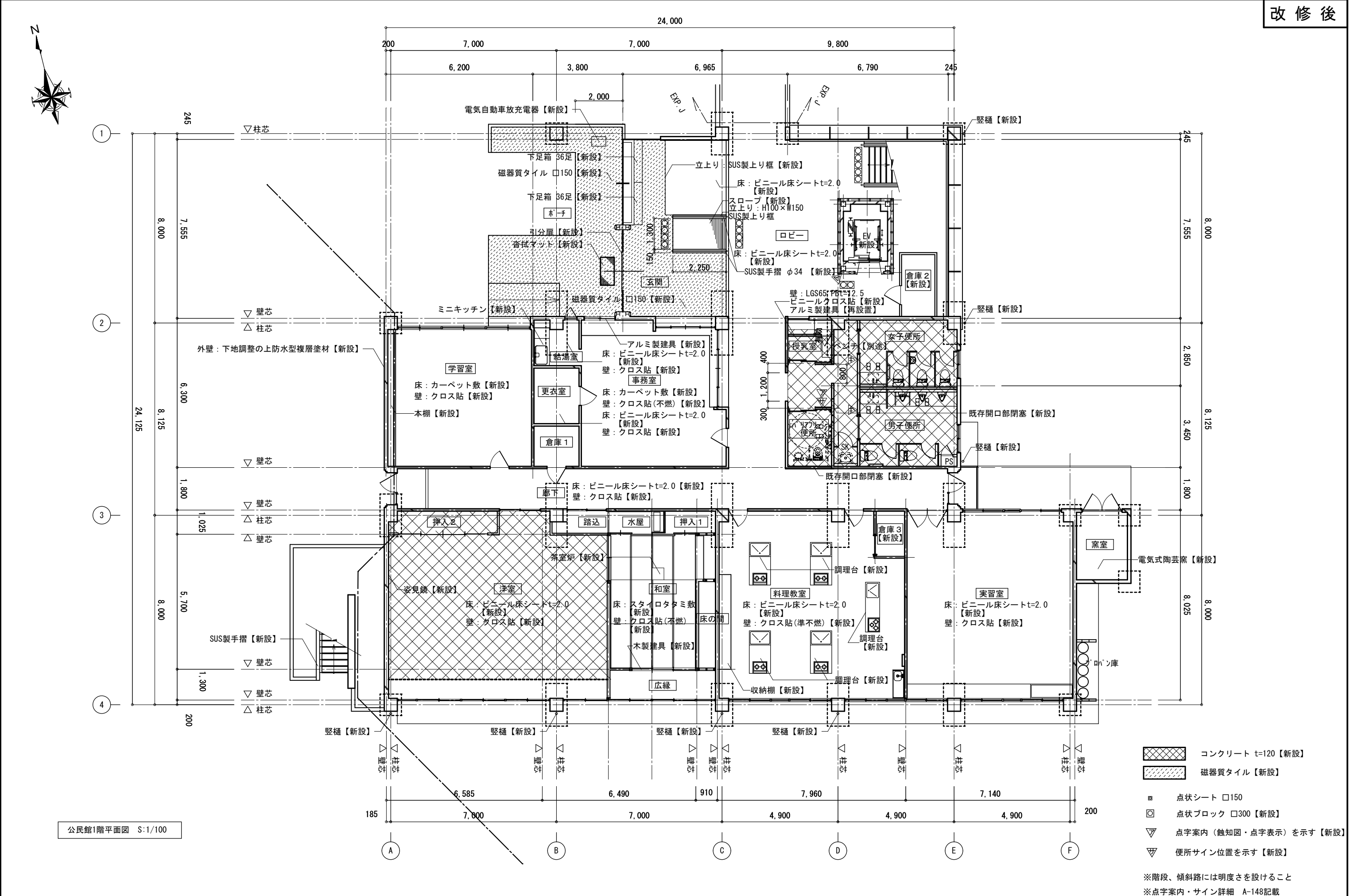
※特記なき限り【存置】とする

1/100			1/200			1/500			1/1000								
株式会社 山崎 設計									課 長								
一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号									担当課長								
一級建築士 大臣登録 第 219288 号 山崎友也									副 課 長								
設 計 番 号			設計年度			令和 年 月			担 当								
Ver. H25.02									工 事 名								
									六人部地域公民館・体育館大規模改修工事								
									図 番								
									No. A-021								
									【公民館】改修前・改修後 仕上表(2)								
									縮 尺								
									—								
									168								
									枚の								



公民館1階平面図 S:1/100

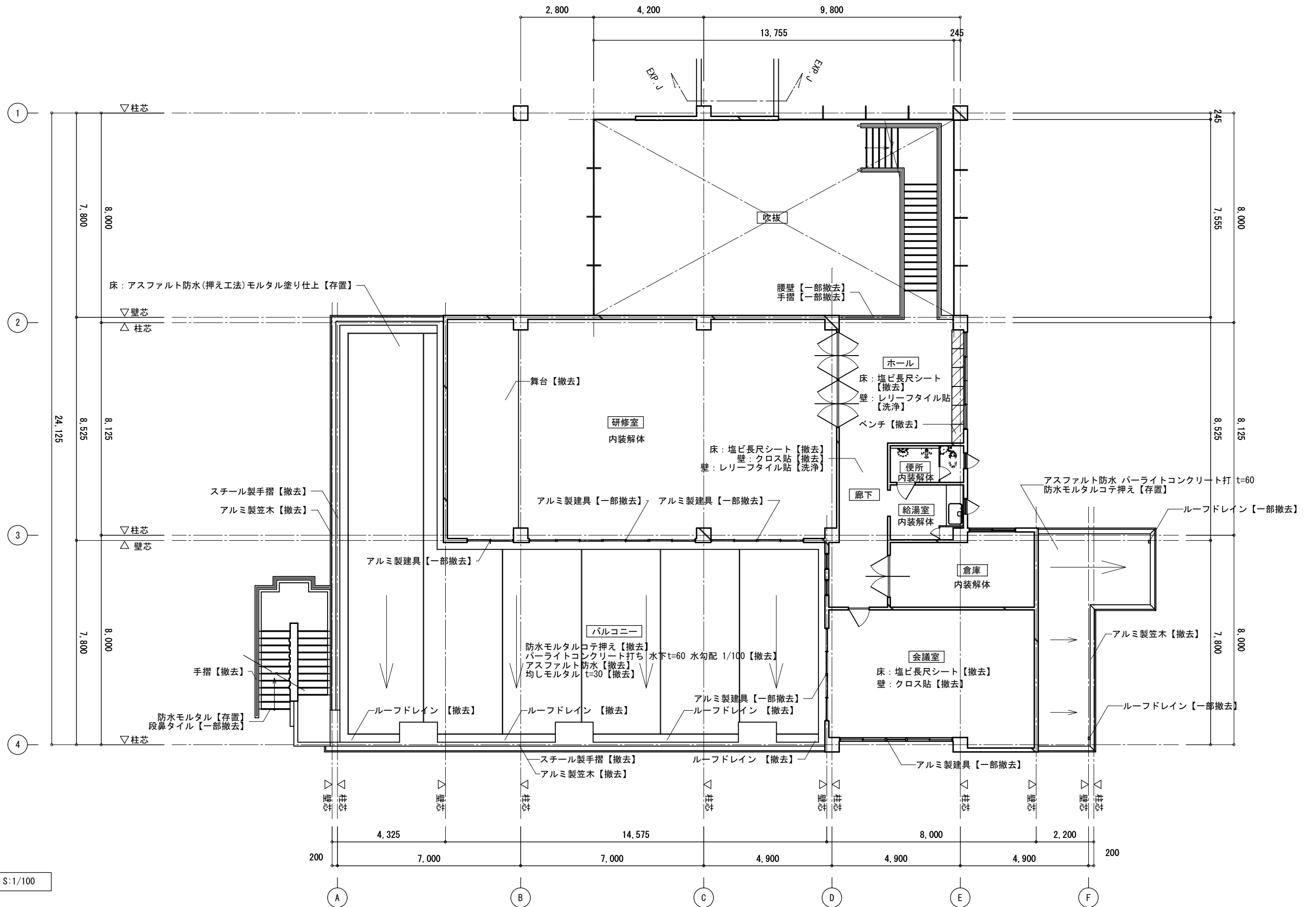
- コンクリート撤去
- 磁器質タイル撤去



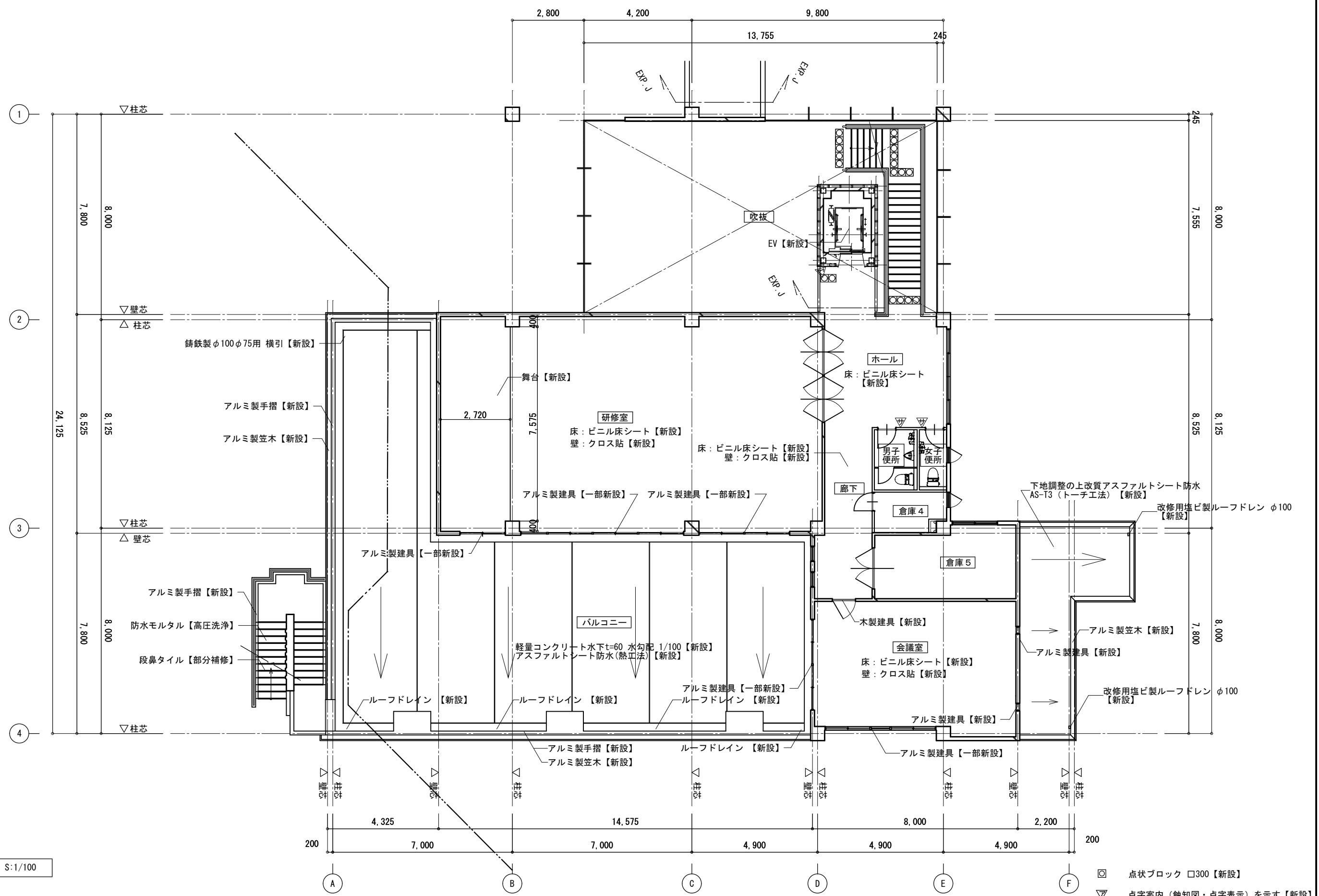
公民館1階平面図 S:1/100

- コンクリート t=120【新設】
- 磁器質タイル【新設】
- 点状シート □150
- 点状ブロック □300【新設】
- 点字案内（触知図・点字表示）を示す【新設】
- 便所サイン位置を示す【新設】

※階段、傾斜路には明度さを設けること
※点字案内・サイン詳細 A-148記載



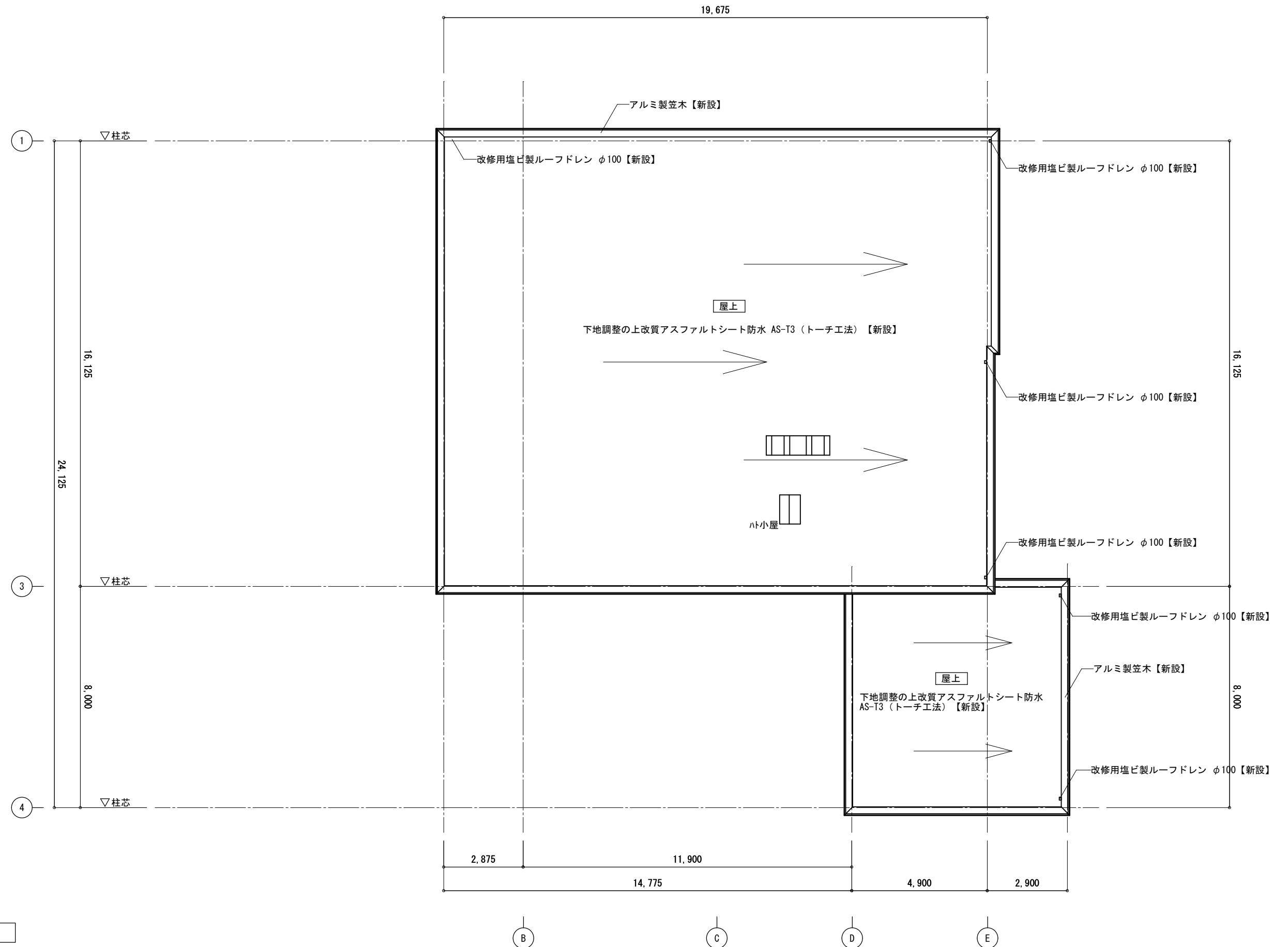
公民館2階平面図 S:1/100



公民館2階平面図 S:1/100

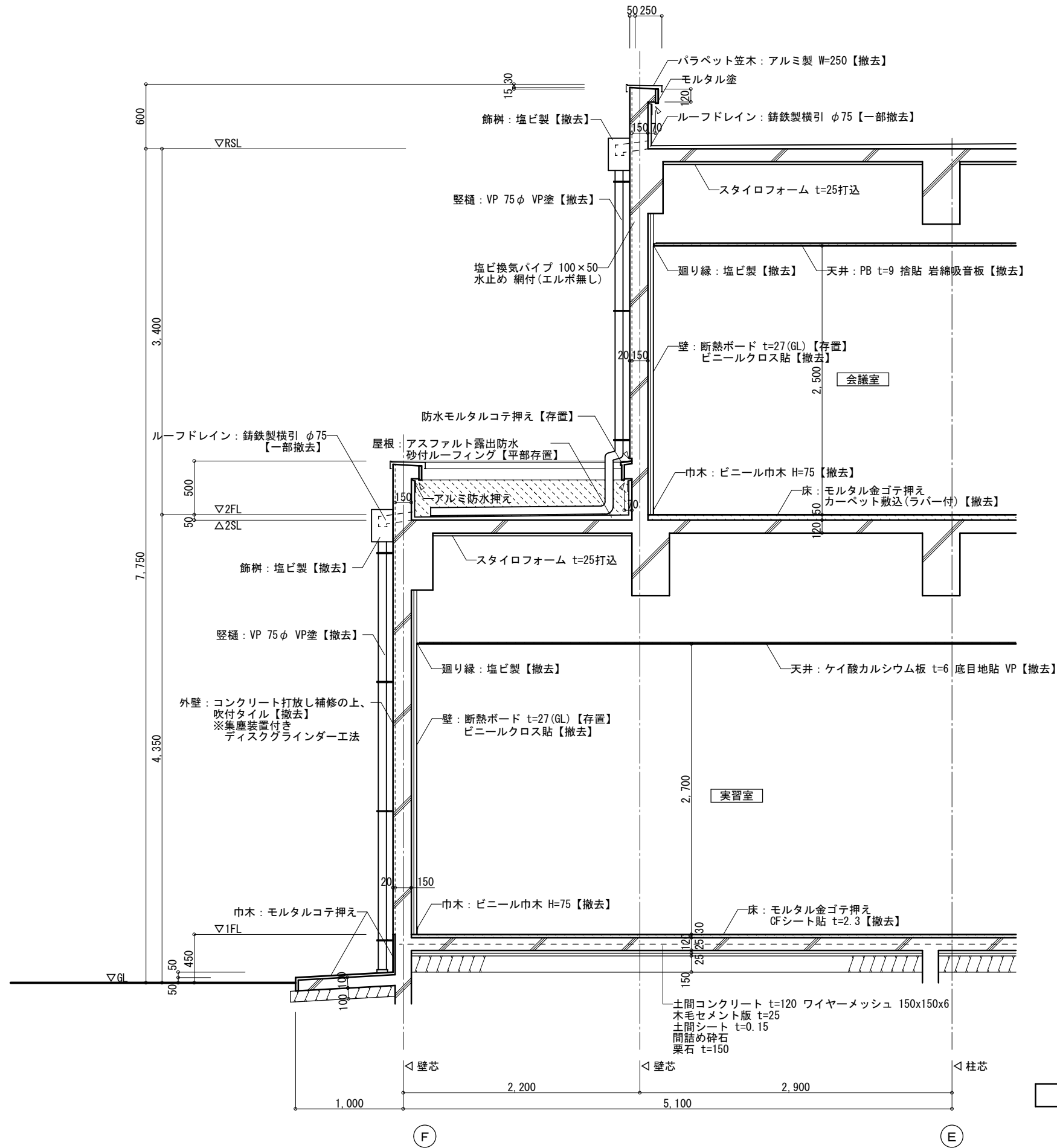
- 点状ブロック □300【新設】
- 点字案内（触知図・点字表示）を示す【新設】
- 便所サイン位置を示す【新設】
- ※点字案内・サイン詳細 A-148記載

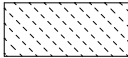

Ver. H25.02		株式会社 山崎設計		課長		担当課長		副課長		担当		工事名		図番	
		一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号										六人部地域公民館・体育館大規模改修工事		No. A-025	
		一級建築士 大臣登録 第 219288 号 山崎友也		設計番号		設計年度		令和 年 月				図名		縮尺	
												【公民館】改修後 2階平面図		1/100	
														168	
														枚の内	
														A2 594 × 420	



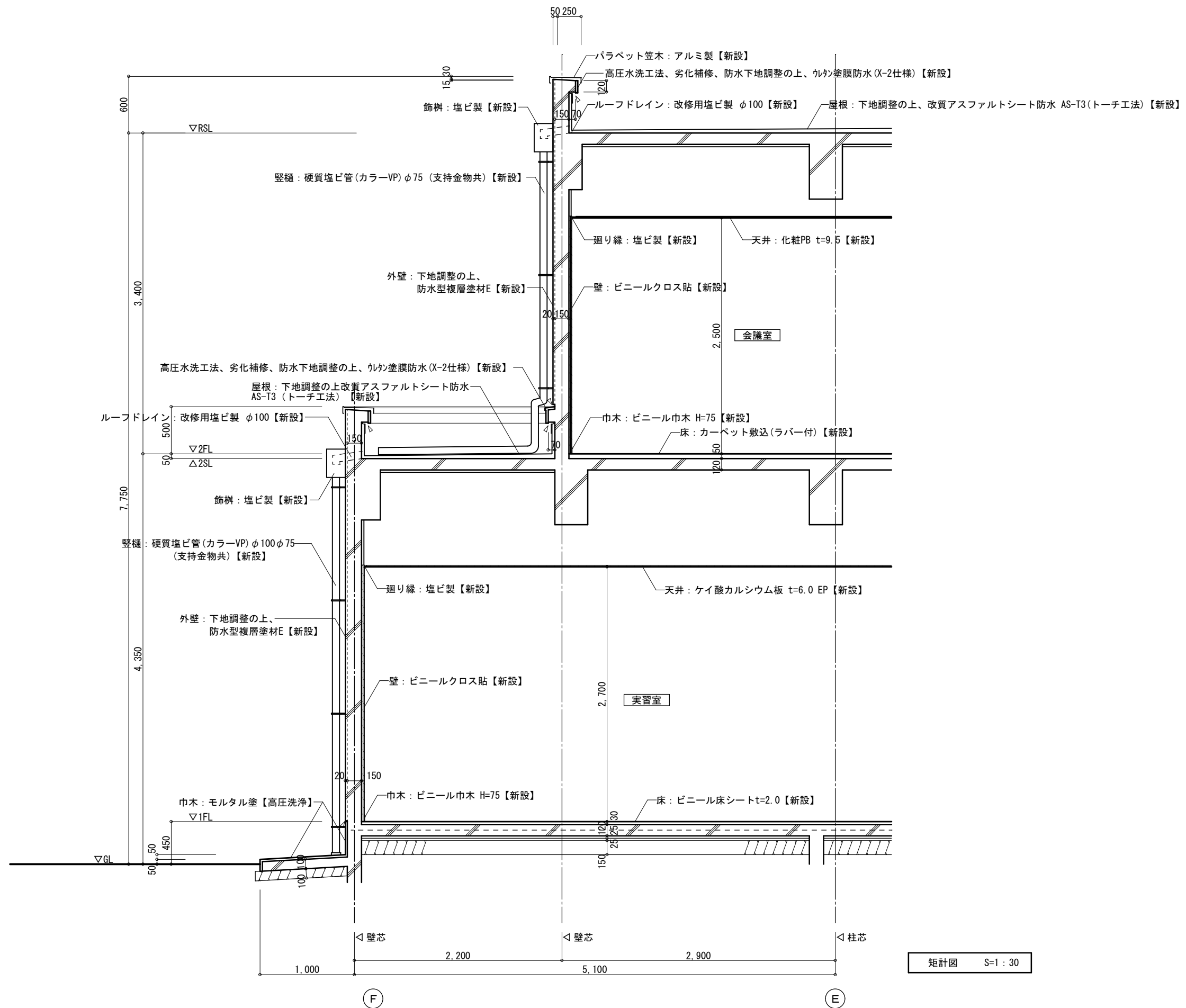
公民館R階平面図 S:1/100

		株式会社 山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第 219288 号 山崎友也		決裁欄	課 長	担当課長	副 課 長	担 当	工事名 六人部地域公民館・体育館大規模改修工事			図 番 No. A-027/
Ver. H25. 02		設計番号 設計年度 令和 年 月			工務名 図名	【公民館】改修後 R階平面図			縮尺 1/100	168 枚の内		



- 凡 例
- ※  撤去範囲を示す
 - ※  シーリング撤去箇所を示す

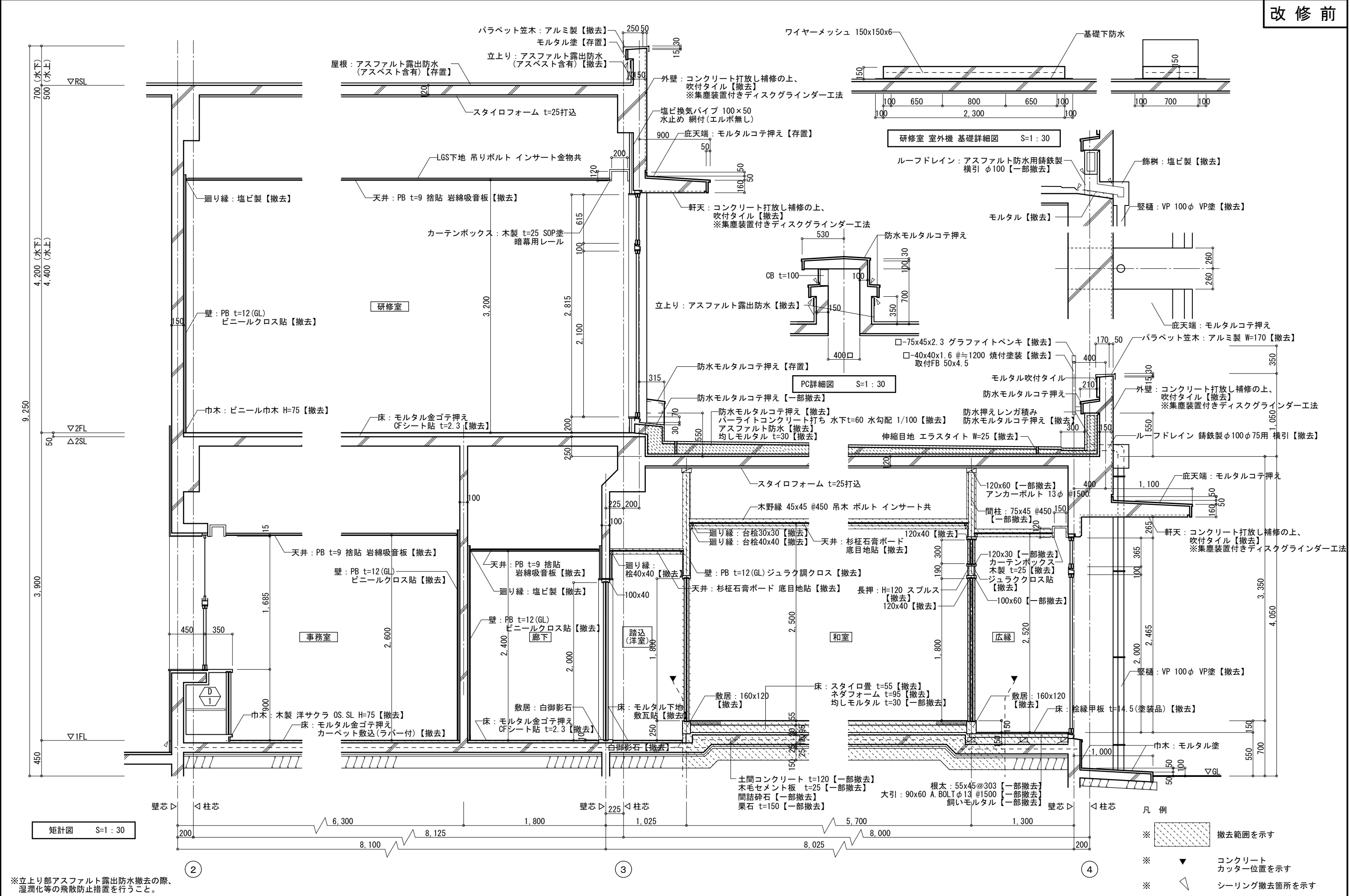
1/100 1/200 1/500 1/1000		株式会社 山崎設計		課長	担当課長	副課長	担当	工事名	六人部地域公民館・体育館大規模改修工事		図番
Ver. H25.02		一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第 219288 号 山崎友也		決裁欄					【公民館】改修前 矩計図(1)		No. A-032
設計番号		設計年度		令和 年 月				図名	縮尺	1/30	168 枚の内

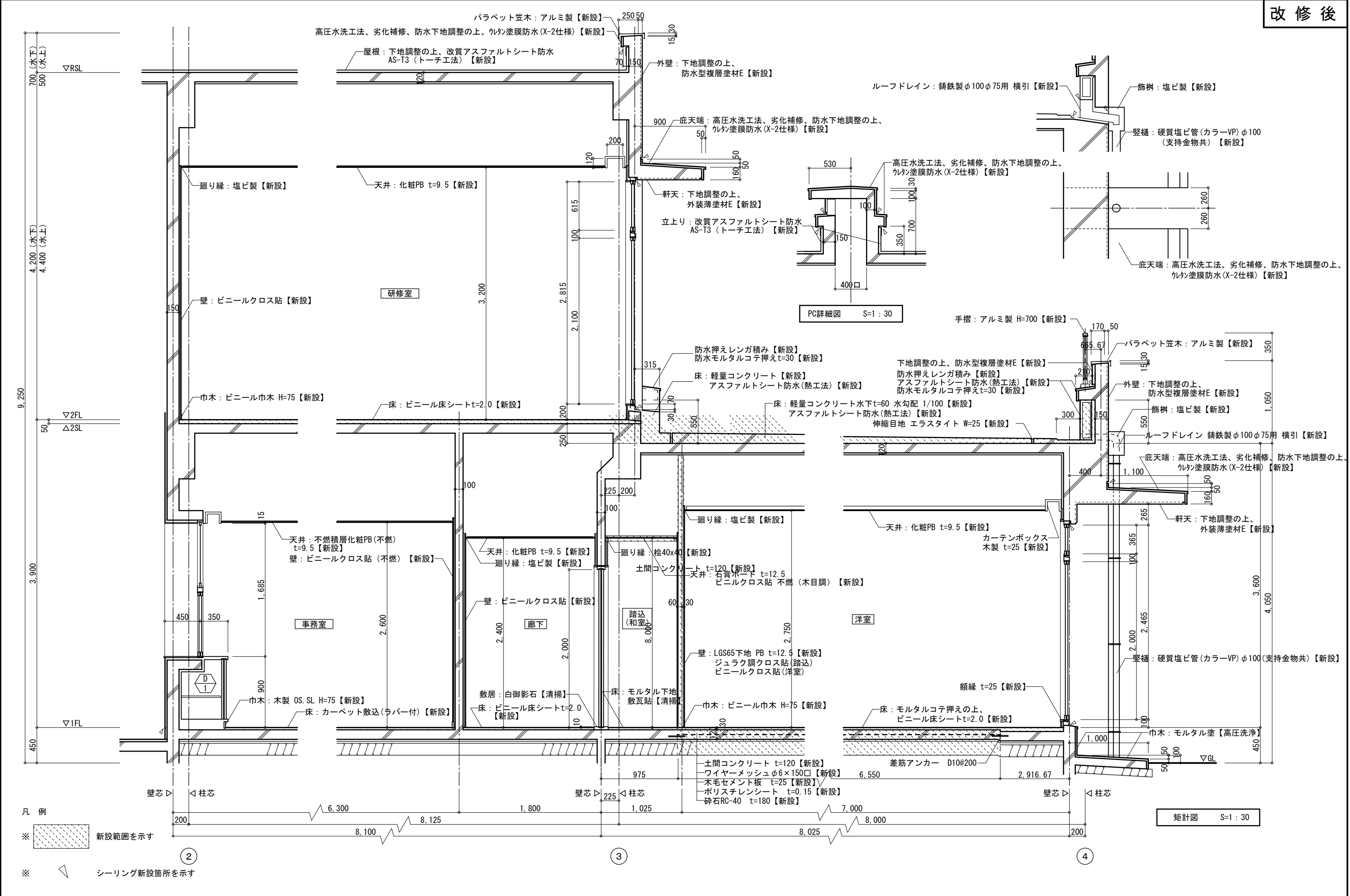


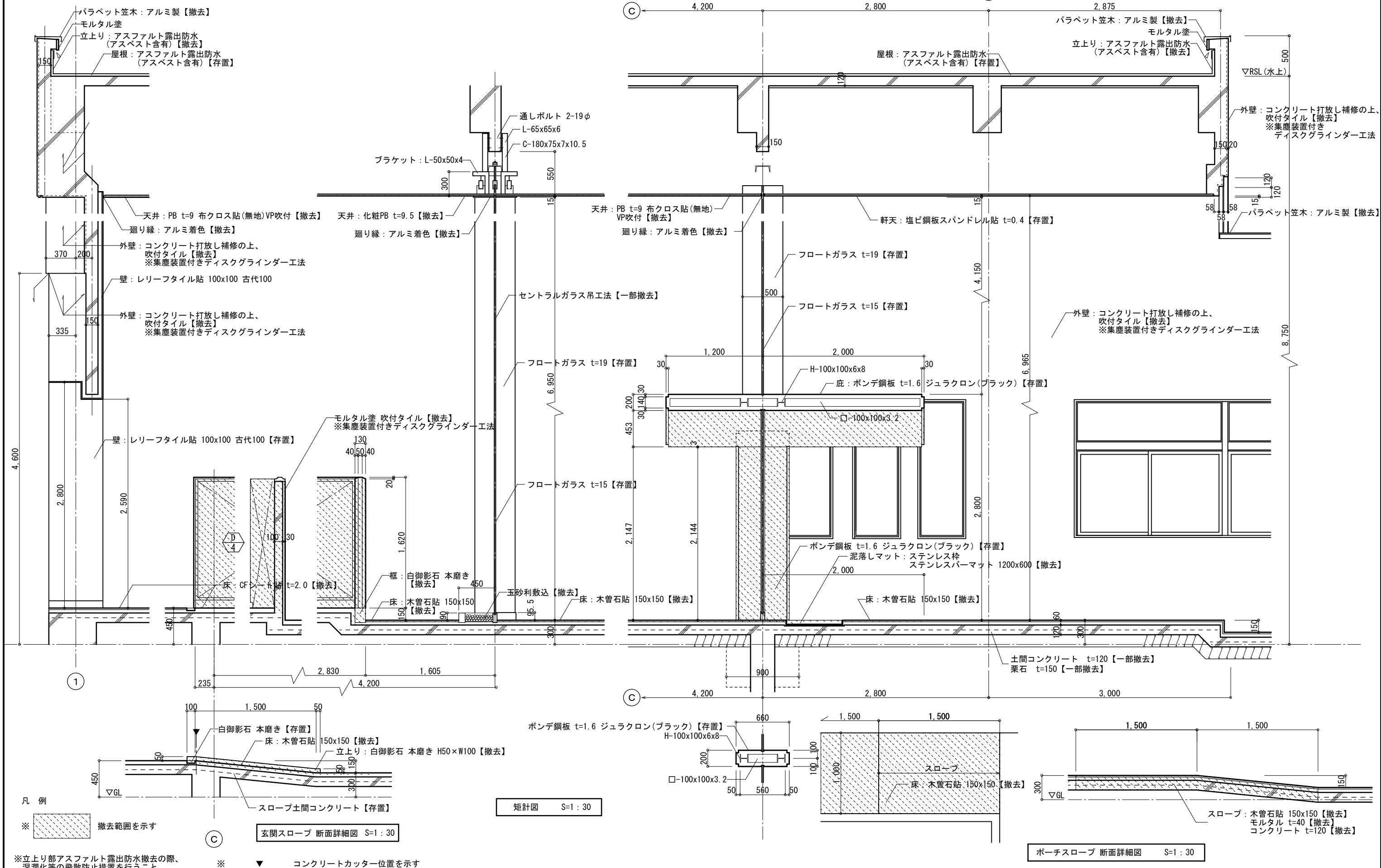
矩計図 S=1 : 30

凡 例
※ シーリング新設箇所を示す

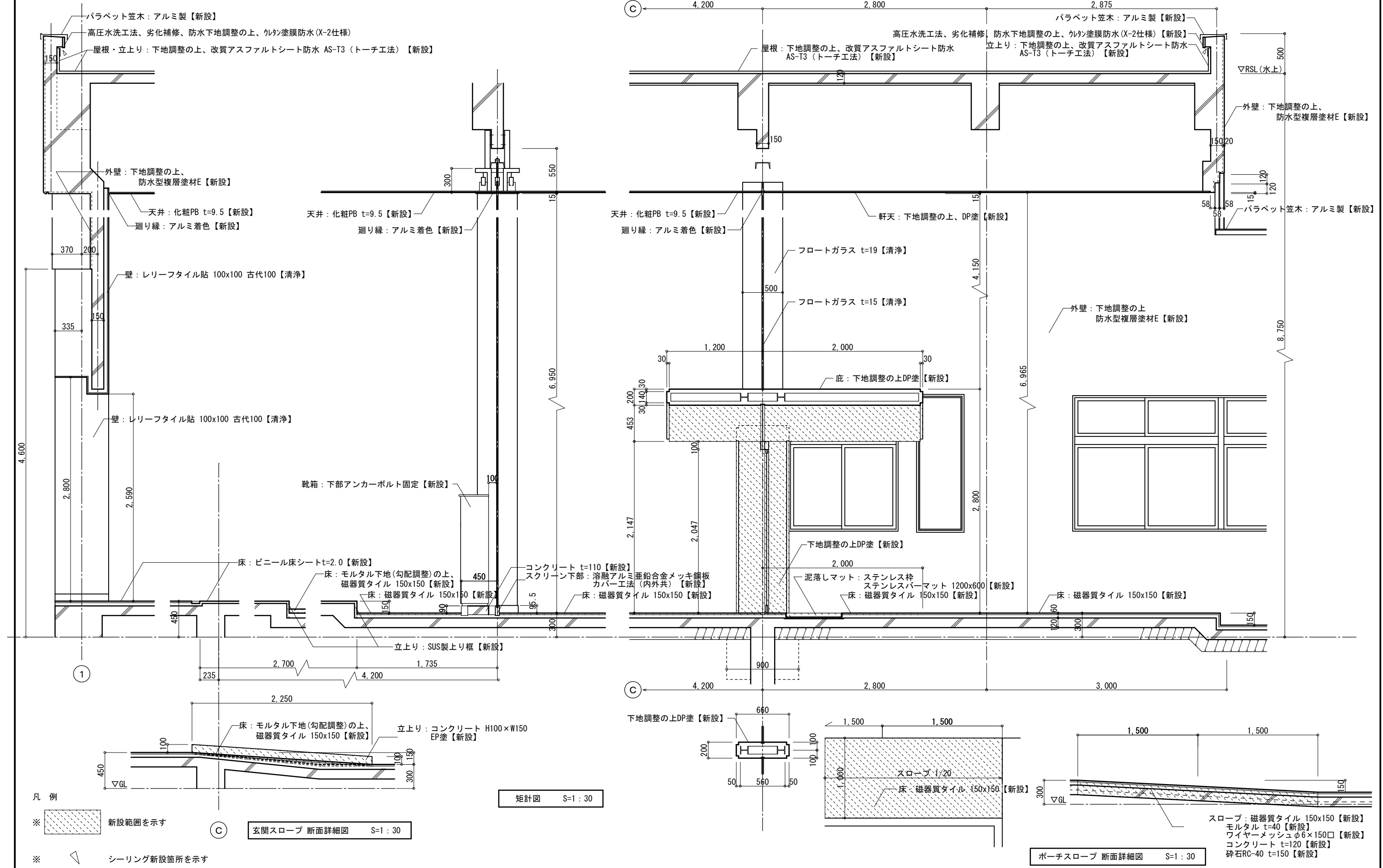
1/1000 1/500 1/200 1/100 1/50 1/20 1/10 1/5 1/2 1/1					株式会社 山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第 219288 号 山崎友也			決裁欄	課 長	担当課長	副 課 長	担 当	工 事 名	六人部地域公民館・体育館大規模改修工事			図 番
Ver. H25. 02					設 計 番 号	設計年度	令和 年 月						図 名	【公民館】改修後 矩計図 (1)	縮 尺	1/30	No. A-033 168 枚の内



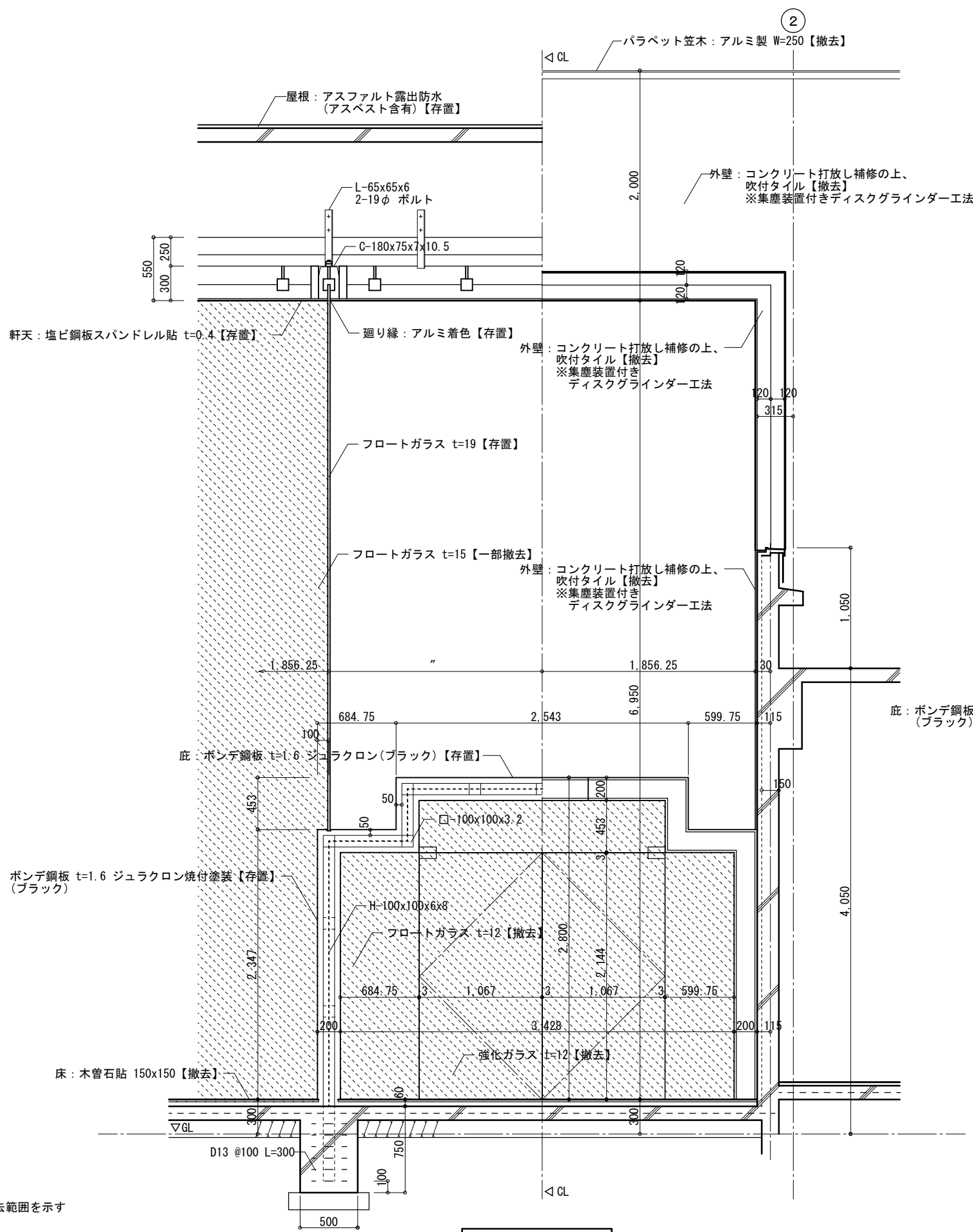




Ver. H25.02		株式会社 山崎設計		課長	担当課長	副課長	担当	工事名	六人部地域公民館・体育館大規模改修工事	図番	No. A-036
		一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第 219288 号 山崎友也		決裁欄				図名	【公民館】改修前 矩計図 (3)	縮尺	1/30
		設計番号 設計年度 令和 年 月									168 枚の内

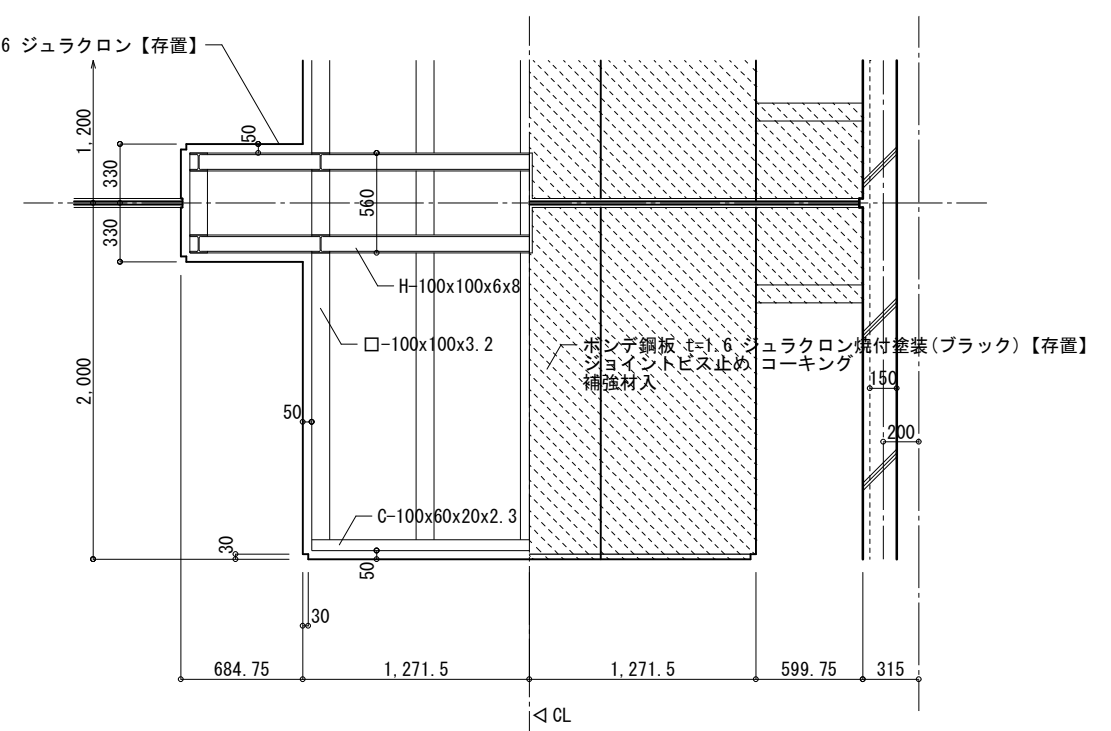


Ver. H25. 02		株式会社 山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録 (01A) 第02439号 一級建築士 大臣登録 第 219288 号 山崎友也		課長	担当課長	副課長	担当	工事名	六人部地域公民館・体育館大規模改修工事	図番	No. A-037
設計番号		設計年度	令和 年 月	決裁欄				図名	【公民館】改修後 矩計図 (3)	縮尺	1/30
168 枚の内										A2 594 × 420	



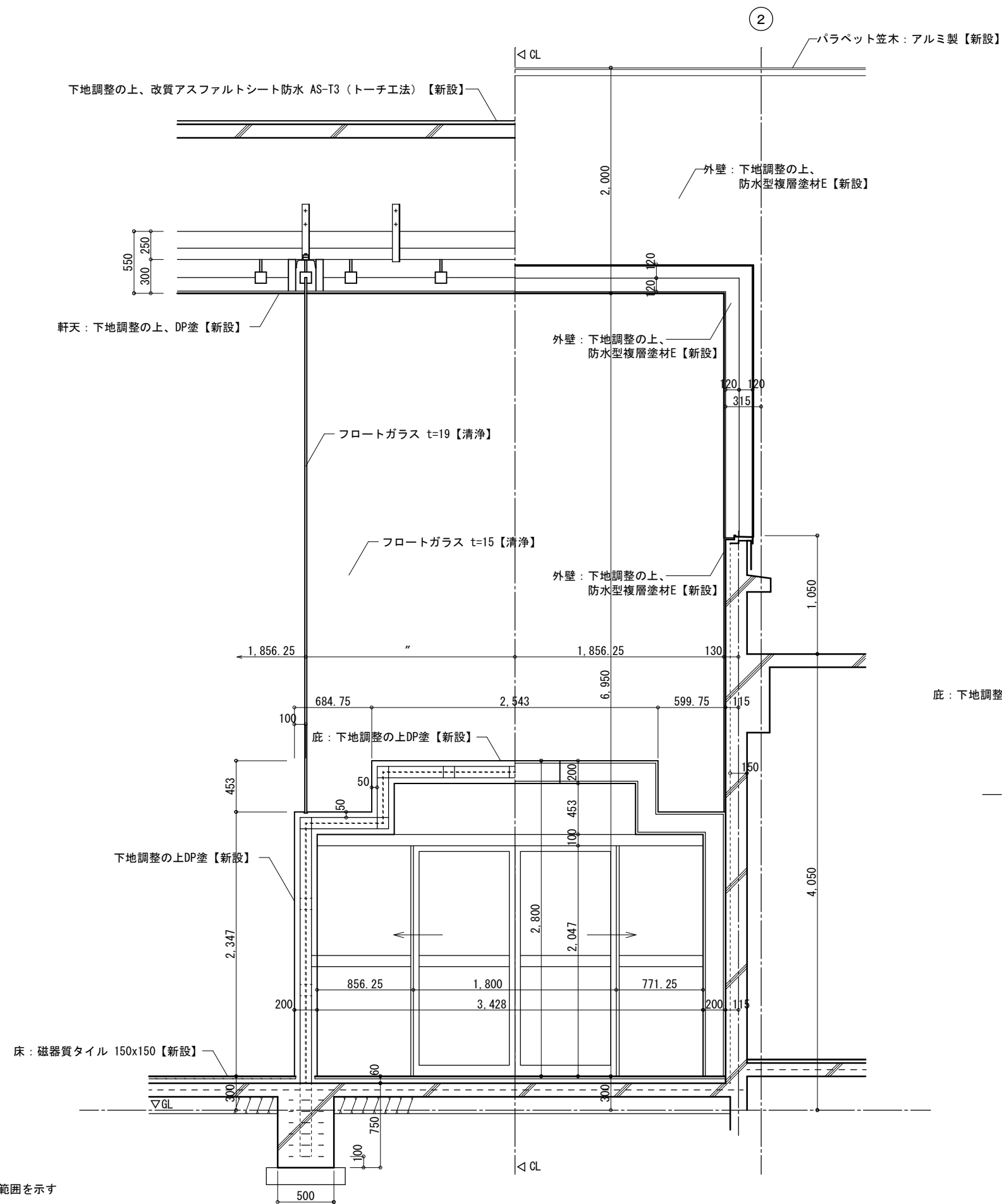
- 凡 例
- ※ 撤去範囲を示す
 - ※ シーリング撤去箇所を示す

矩計図 S=1:30

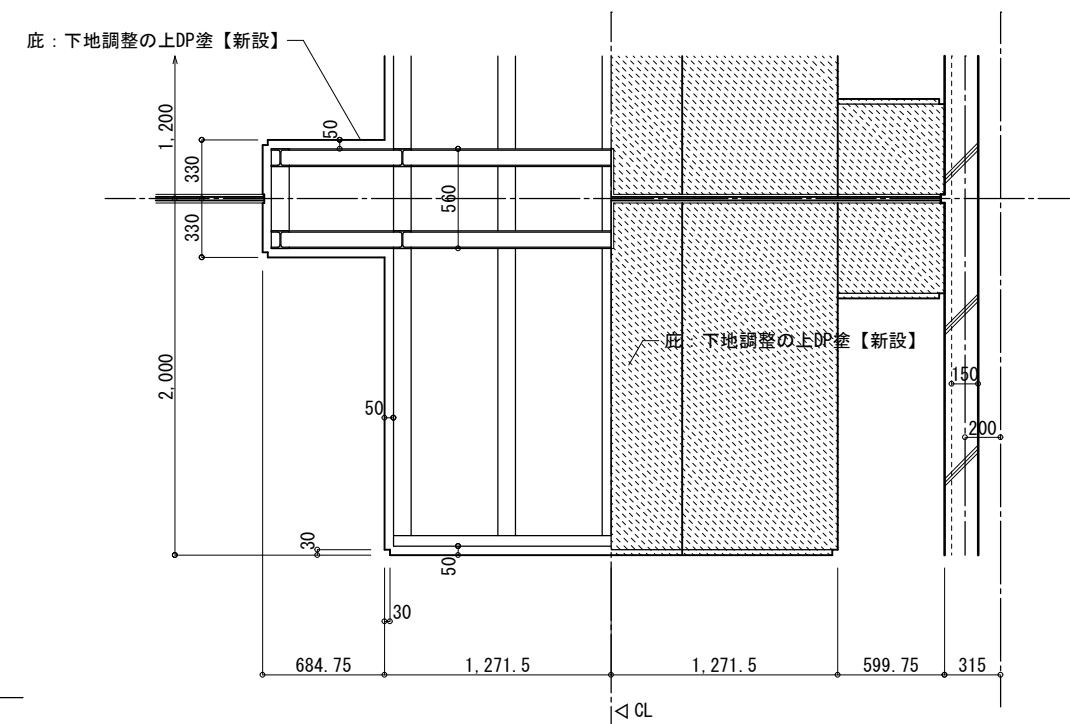


底平面図 S=1:30

1/100mm 1/200mm 1/500mm 1/900mm 1/20mm 1/25mm				株式会社 山崎 設計 一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第 219288 号 山崎友也		決 裁 欄	課 長		担当課長		副 課 長		担 当		工事名		六人部地域公民館・体育館大規模改修工事		図 番		
																	No. A-038				
				設 計 番 号			設計年度										【公民館】改修前 矩計図 (4)		縮尺 1/30		
									令和 年 月										168 枚の内		
Ver. H25.02																				A2 594 × 420	




矩計図 S=1 : 30

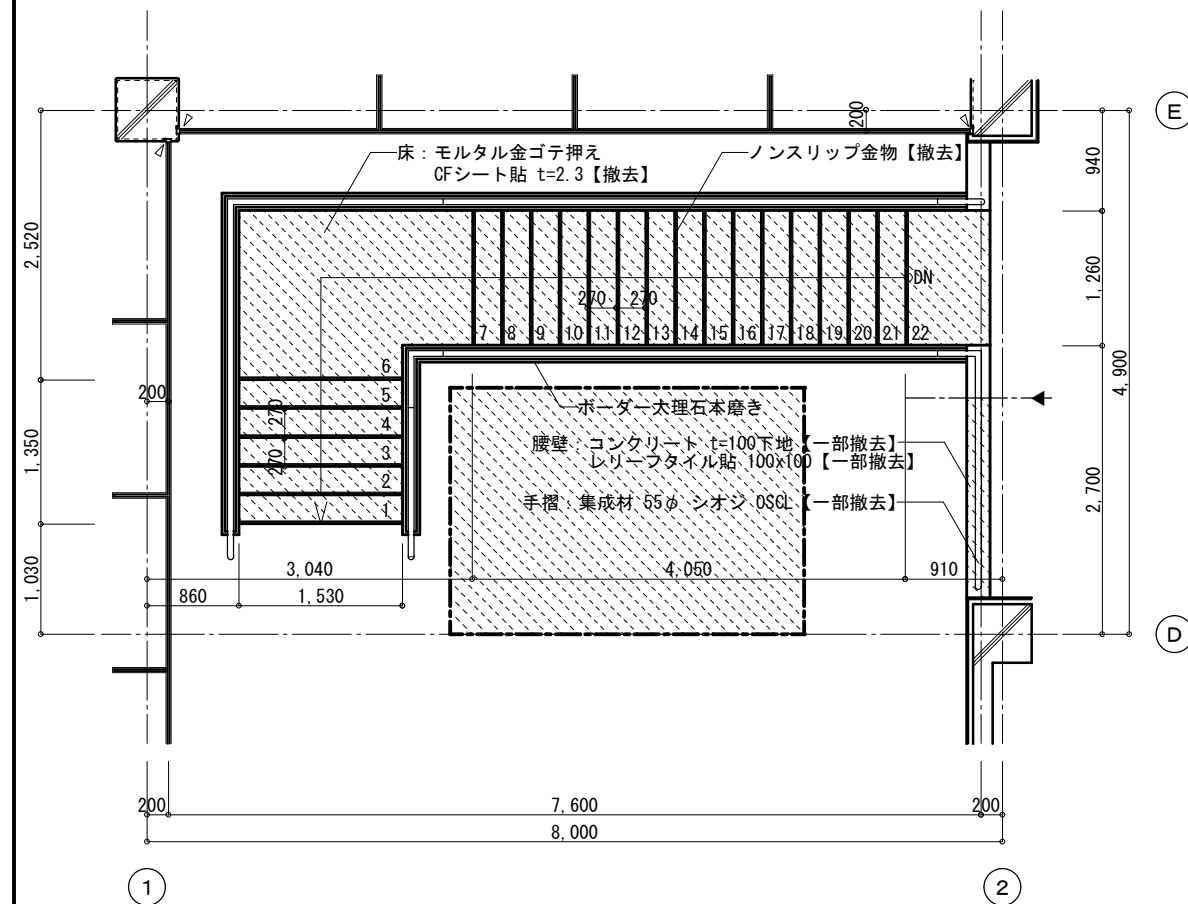


底平面図 S=1 : 30

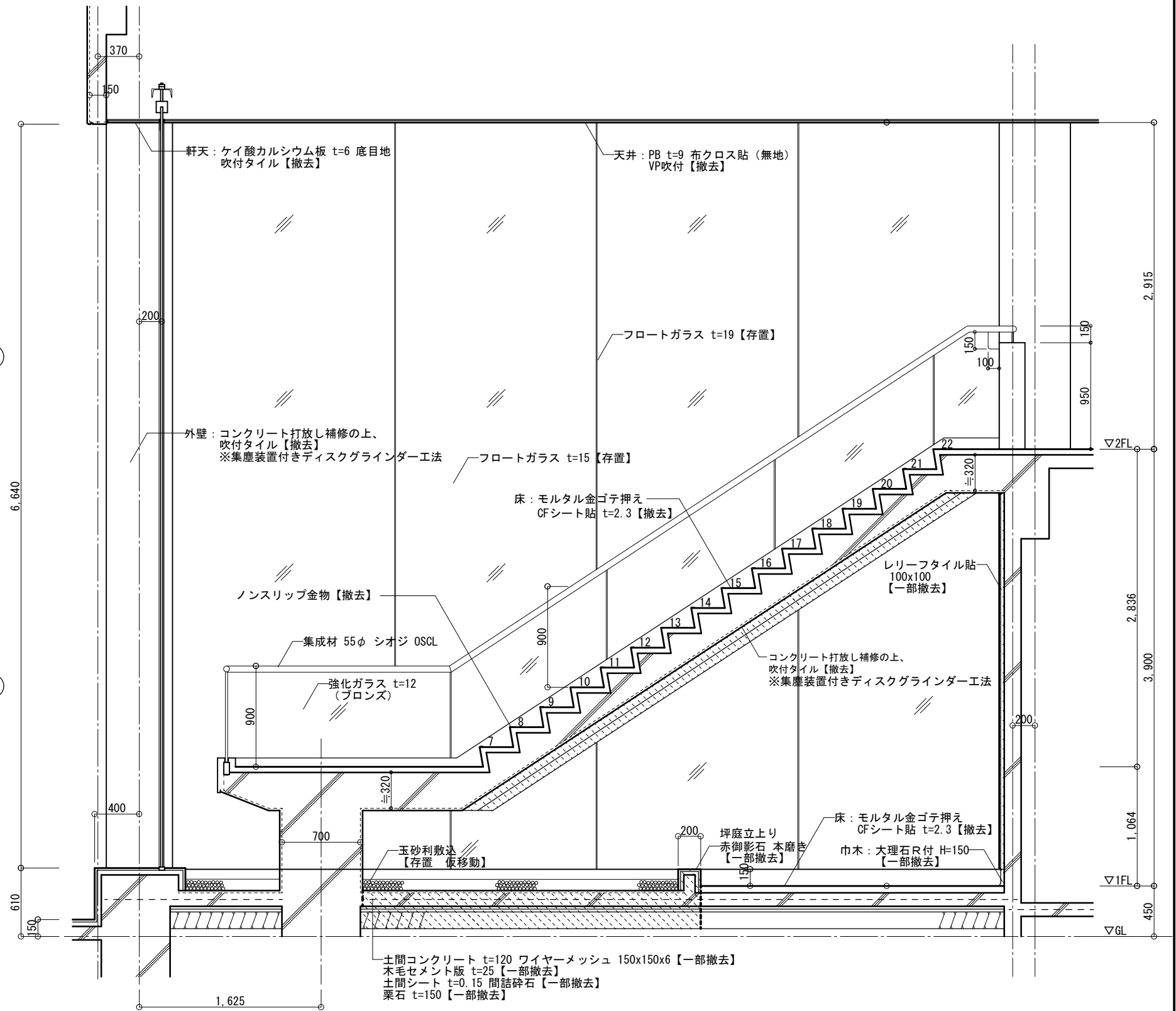
凡 例

※  新設範囲を示す

※  シーリング新設箇所を示す



階段平面詳細図 S=1 : 50



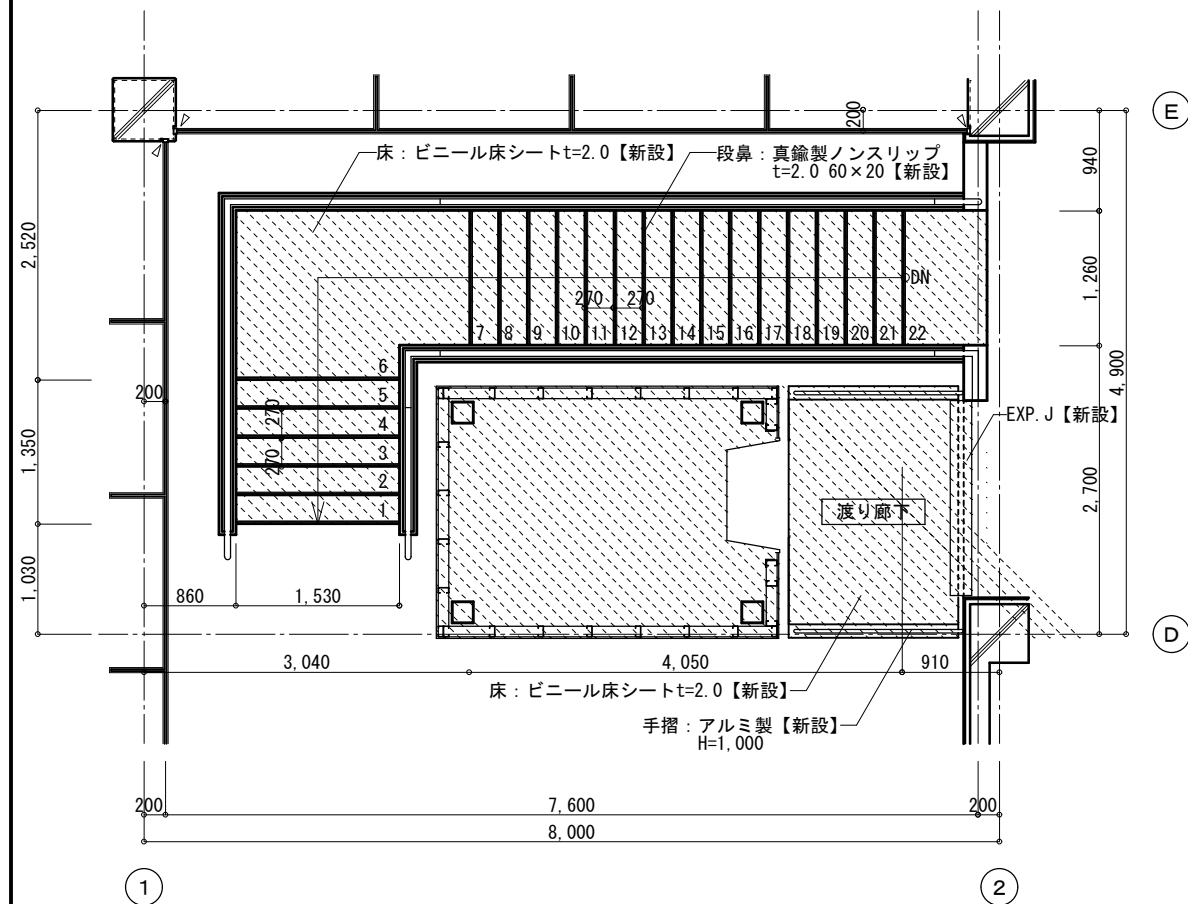
階段断面詳細図 S=1 : 30

凡 例

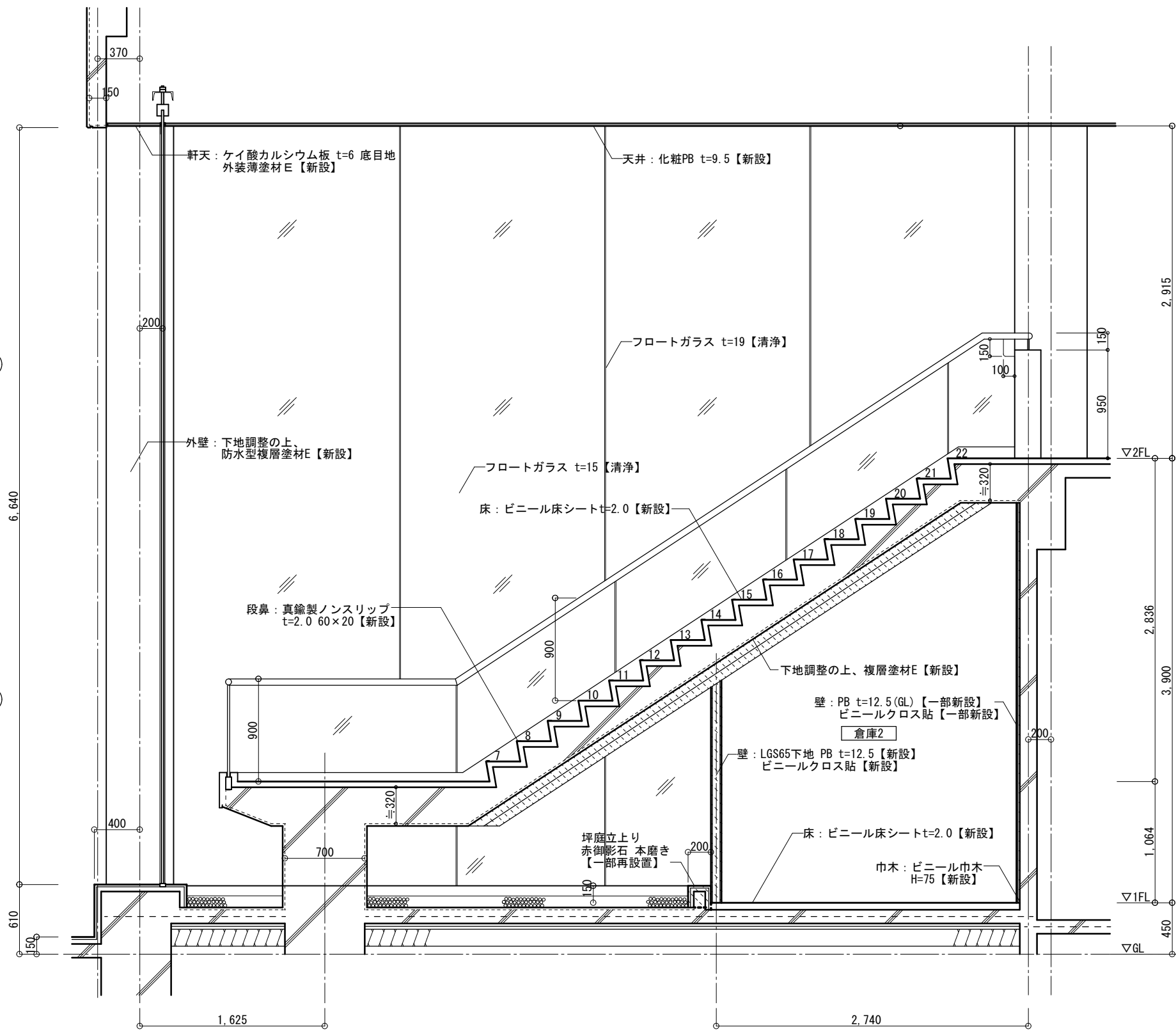
※ 撤去範囲を示す

※ 撤去部分を示す ※ ▼ コンクリートカッター位置を示す

				株式会社 山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第 219288 号 山崎友也			決裁欄	課長	担当課長	副課長	担当	工事名 六人部地域公民館・体育館大規模改修工事	図番 No. A-040/ 168 枚の内
								設計番号	設計年度	令和 年 月	図名 【公民館】改修前 階段断面詳細図（１）		
Ver. H25. 02													



階段平面詳細図 S=1:50



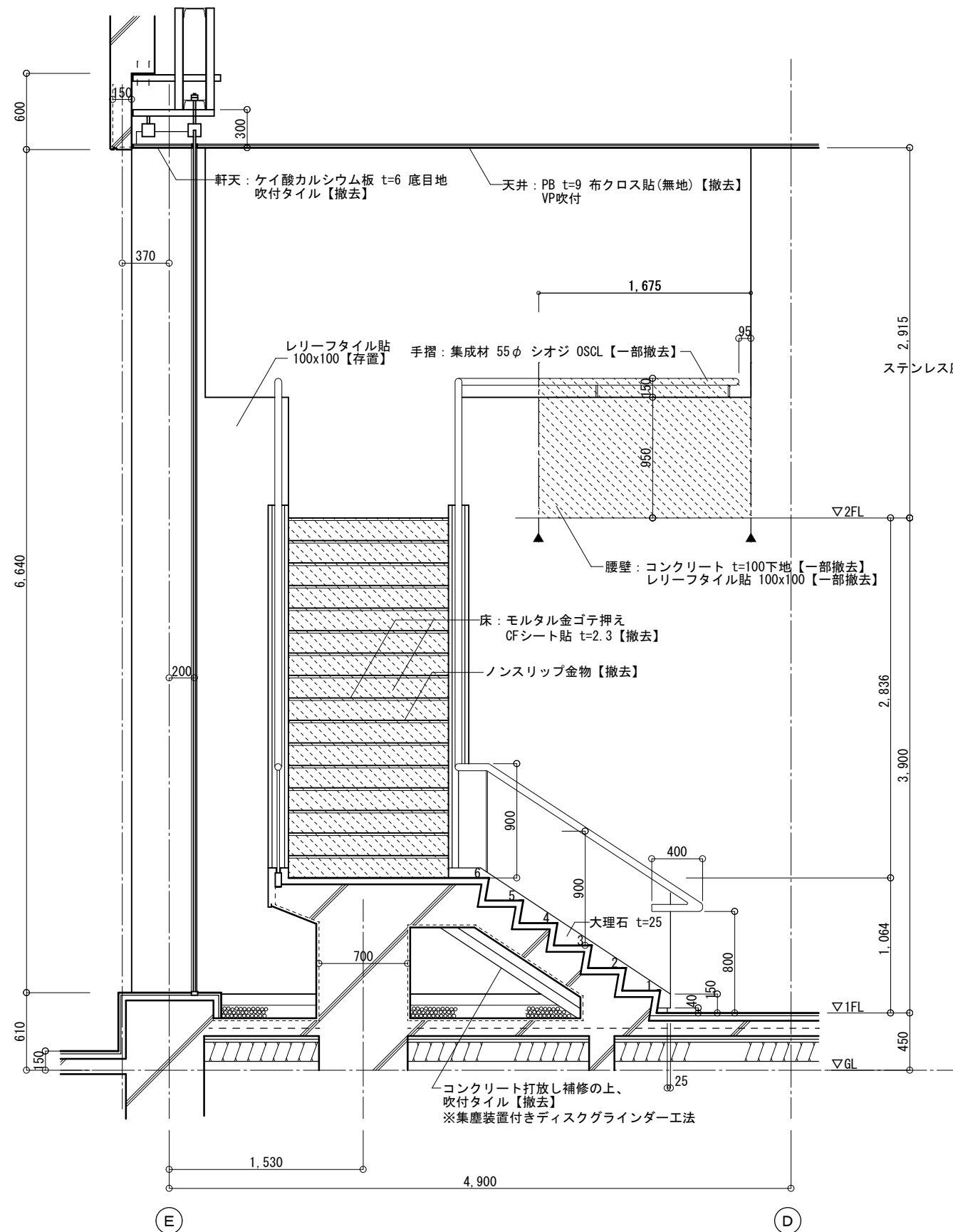
階段断面詳細図 S=1:30

凡例

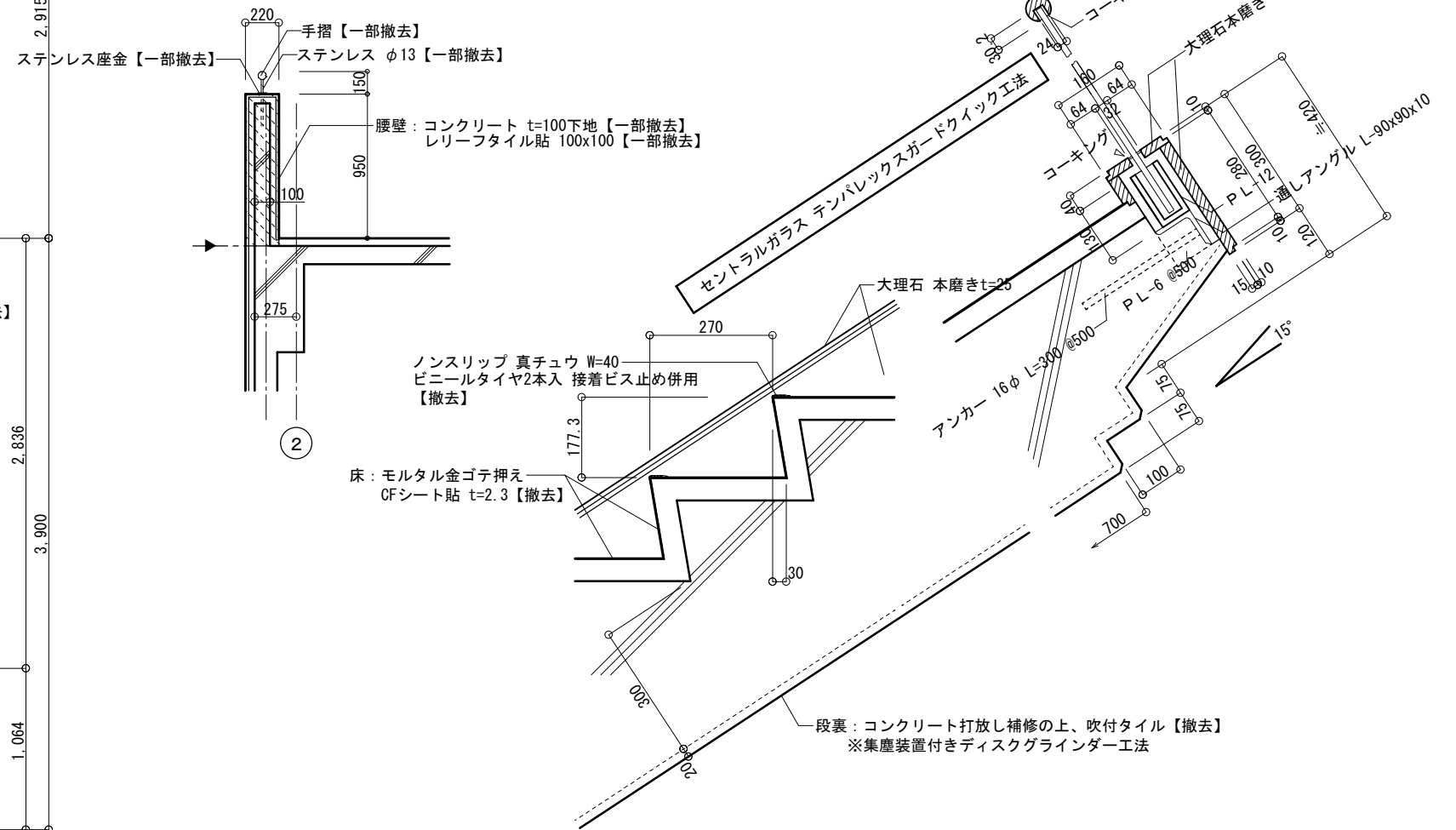
※ [Hatched Box] 新設範囲を示す

※ [Dashed Box] 新設部分を示す

1/1000		1/500	1/200	1/100	1/50	1/20	1/10	1/5	1/2	1/1	1/0.5	1/0.2	1/0.1	1/0.05	1/0.02	1/0.01	1/0.005	1/0.002	1/0.001
Ver. H25.02		株式会社 山崎設計		課長		担当課長		副課長		担当		工事名		図番		No. A-041		168	
一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号		一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎友也		設計番号		設計年度		令和 年 月		【公民館】改修後 階段断面詳細図(1)		縮尺		1/30		枚の内		A2 594 x 420	



階段断面詳細図 S=1 : 30



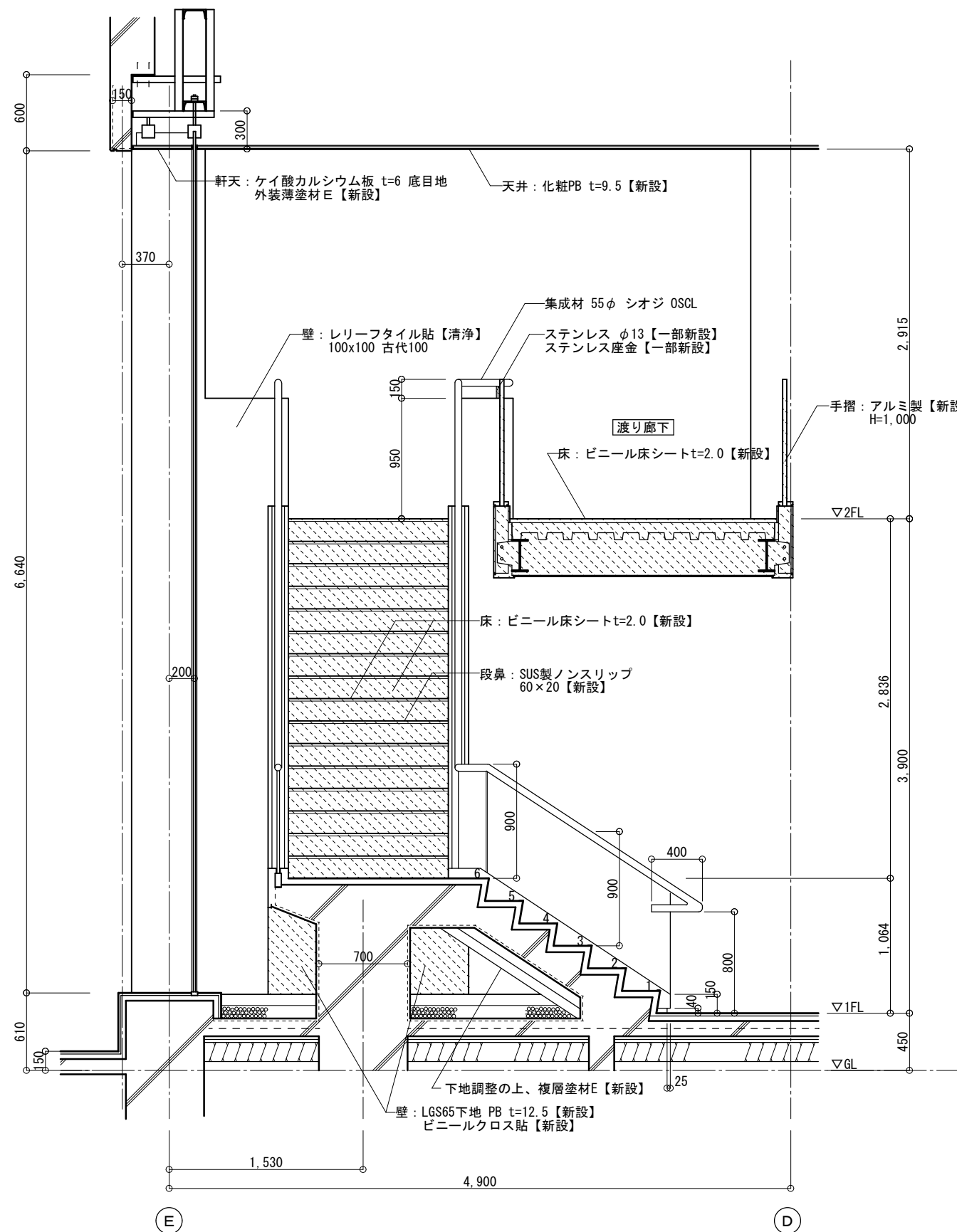
階段詳細図 S=1 : 10

凡 例

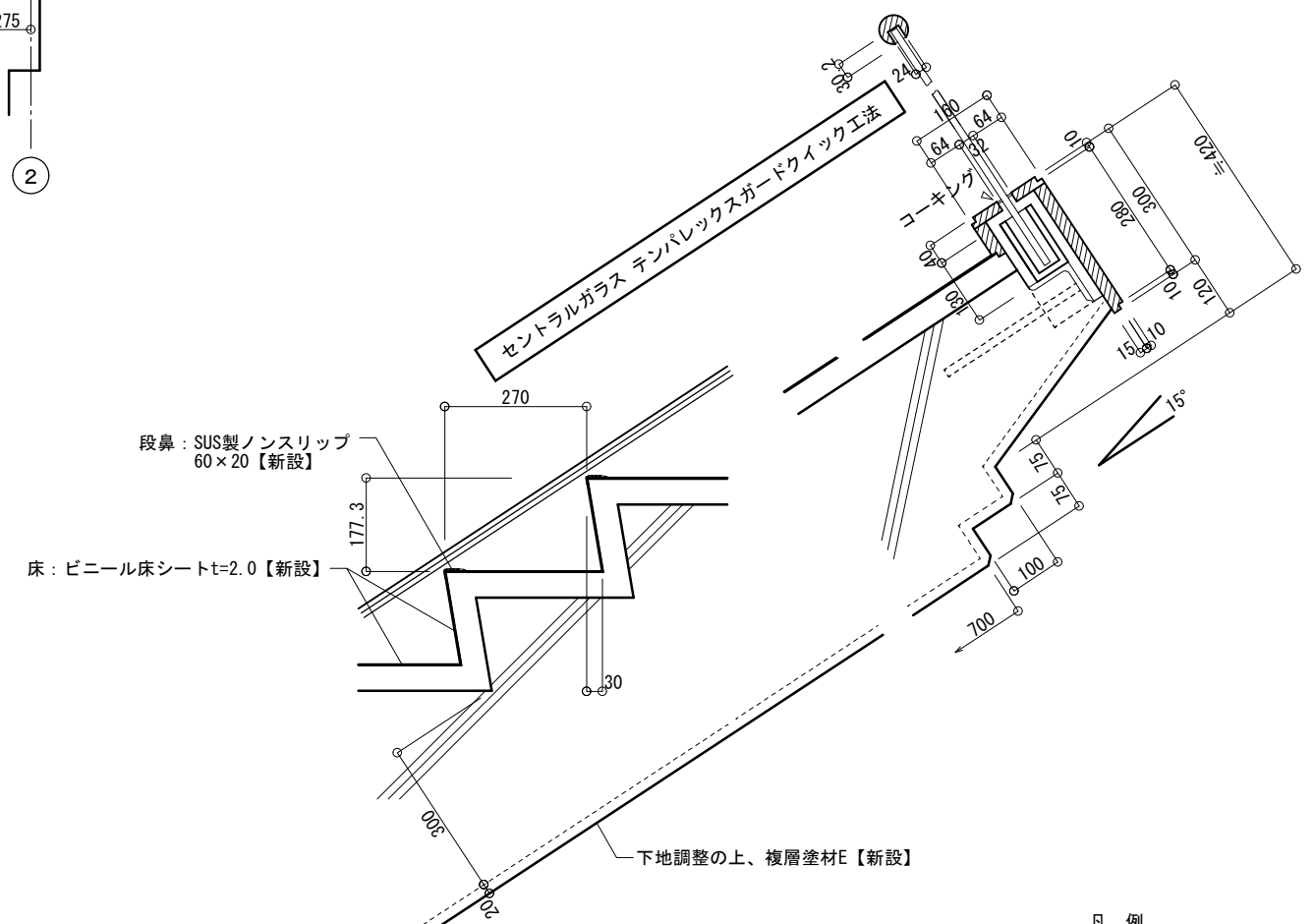
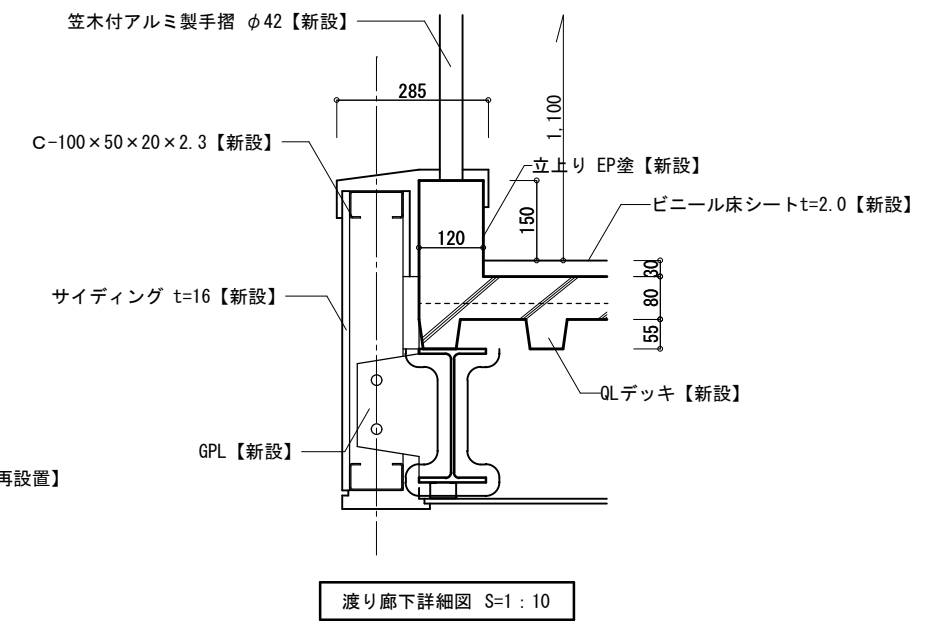
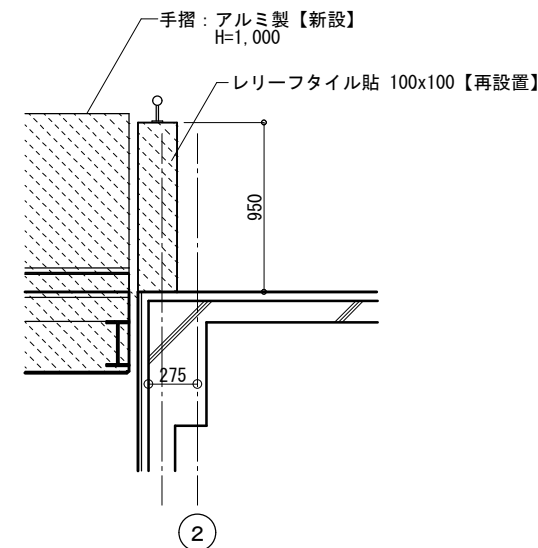
※  撤去範囲を示す

※ 撤去部分を示す

※ ▼ コンクリートカッター位置を示す





階段断面詳細図 S=1 : 30

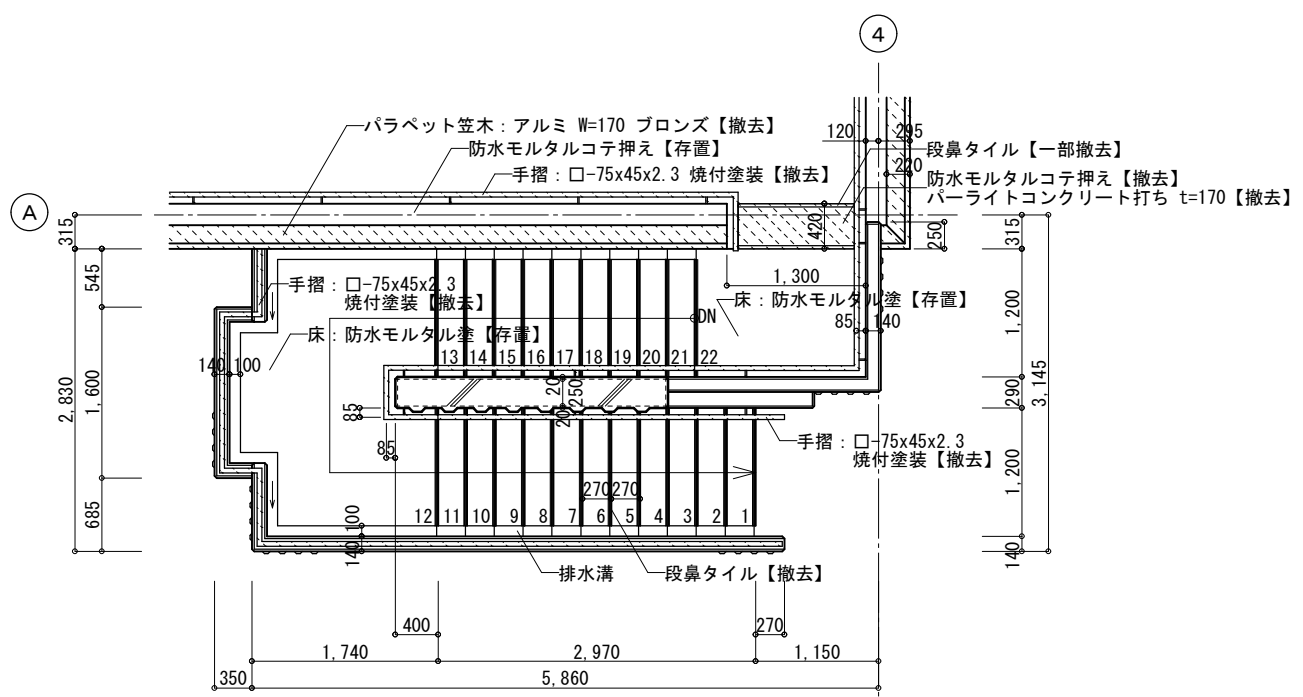


階段詳細図 S=1 : 10

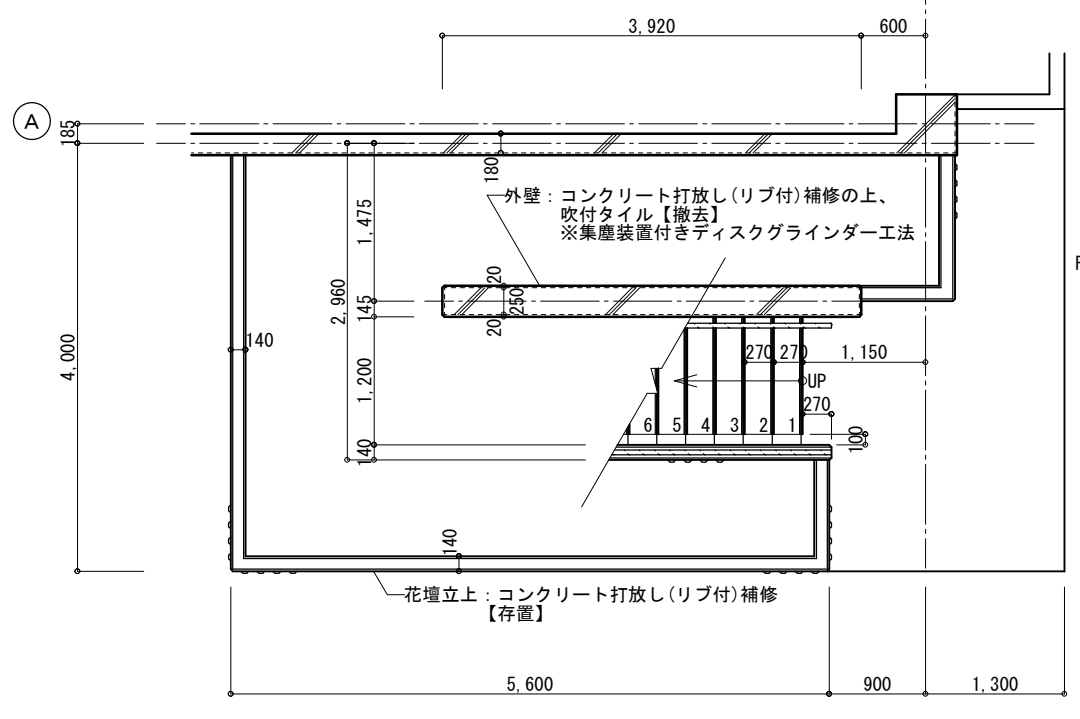
凡 例

※  新設範囲を示す

※  新設部分を示す

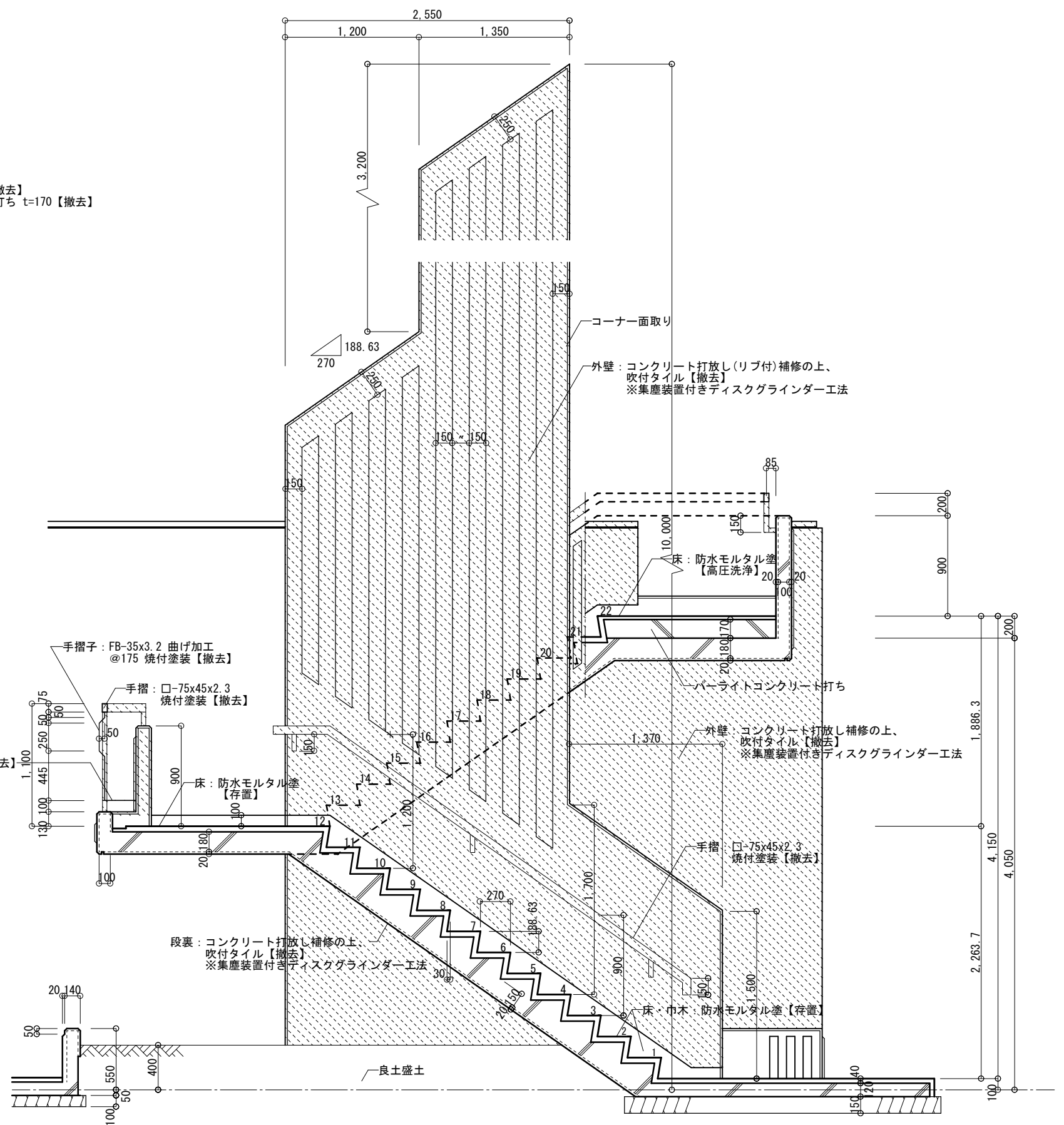


階段平面詳細図 S=1 : 50

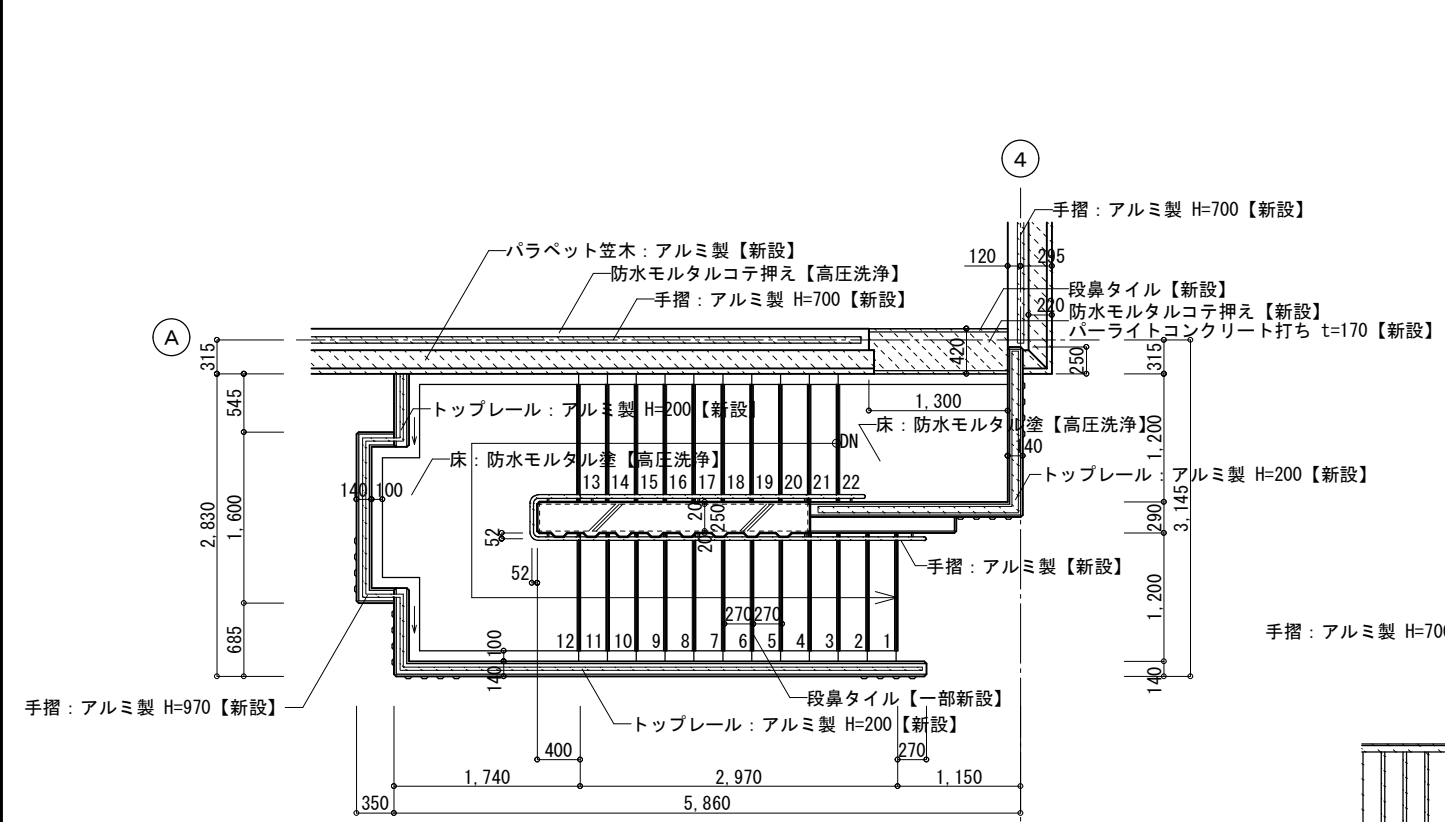


階段平面詳細図 S=1 : 50

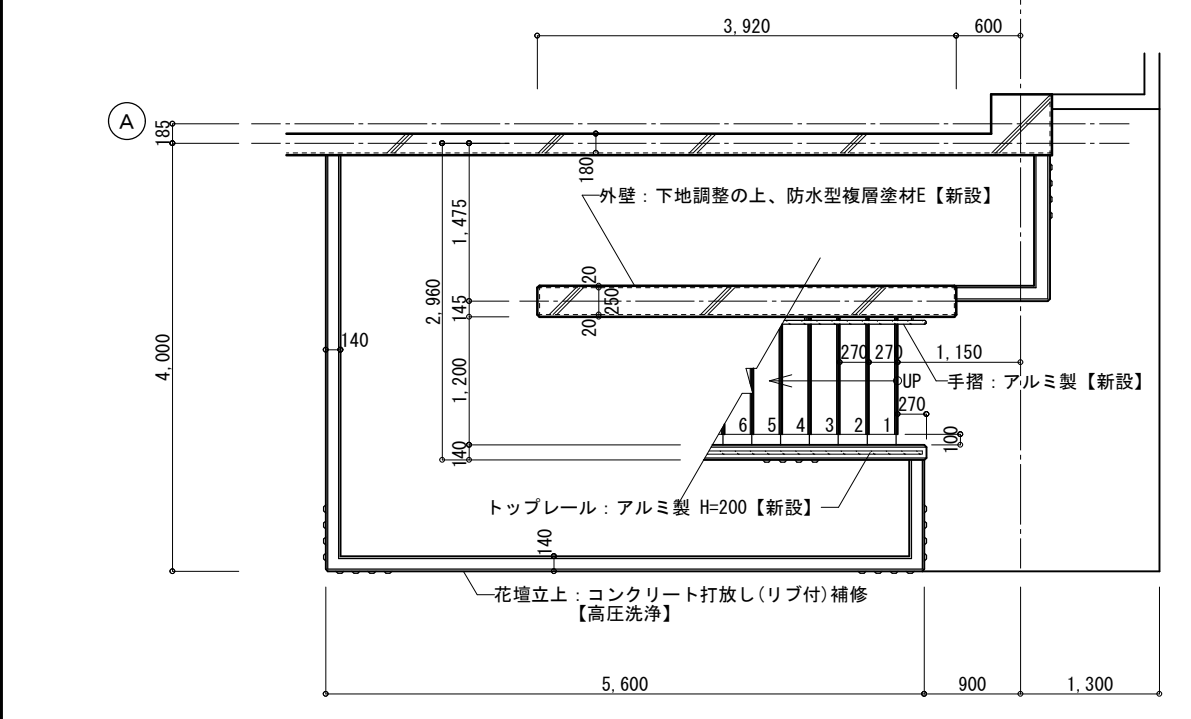
- 凡 例
- ※ 撤去範囲を示す
 - ※ 撤去部分を示す



階段断面詳細図 S=1 : 30

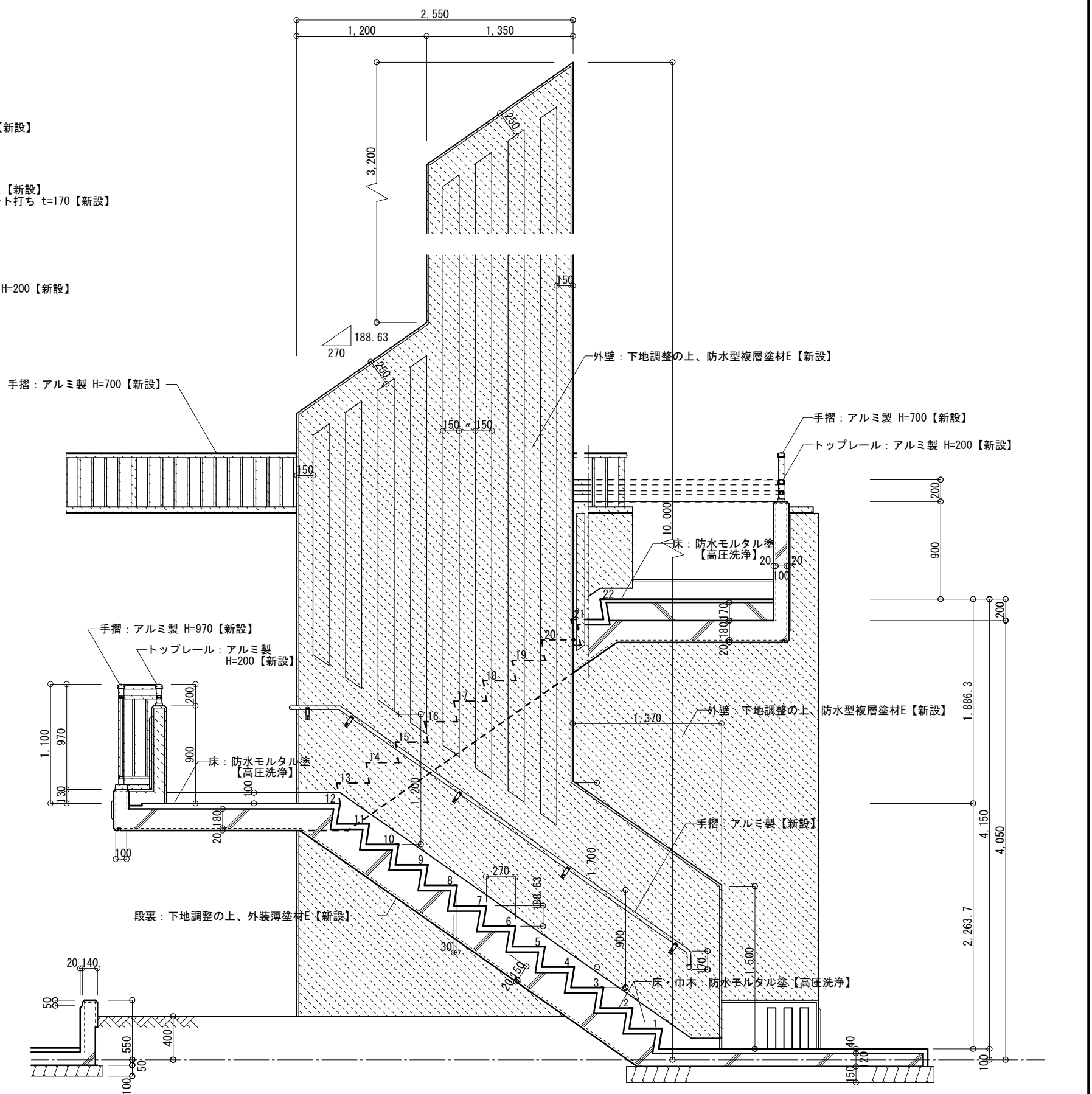


階段平面詳細図 S=1 : 50



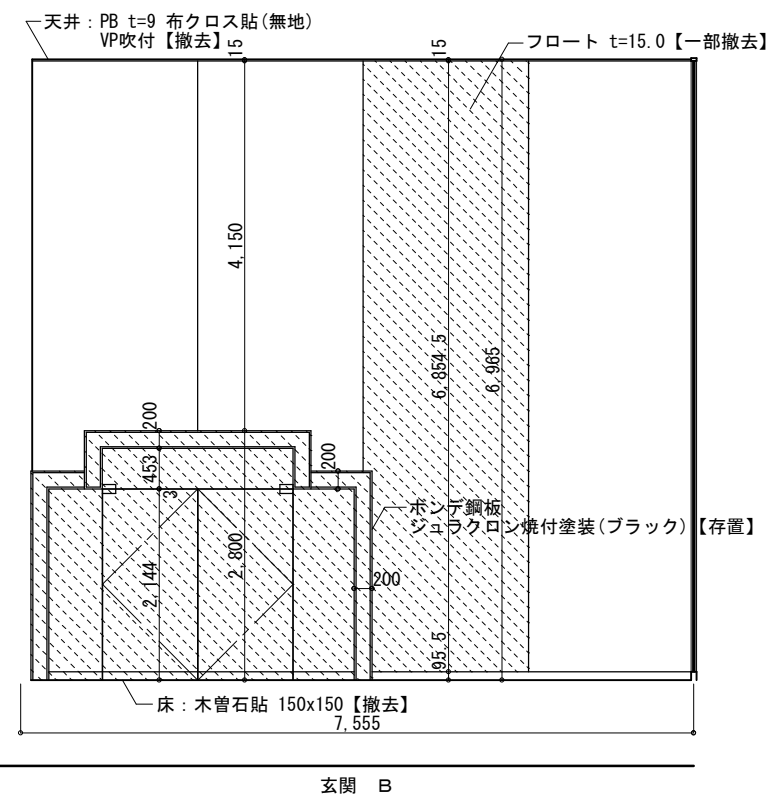
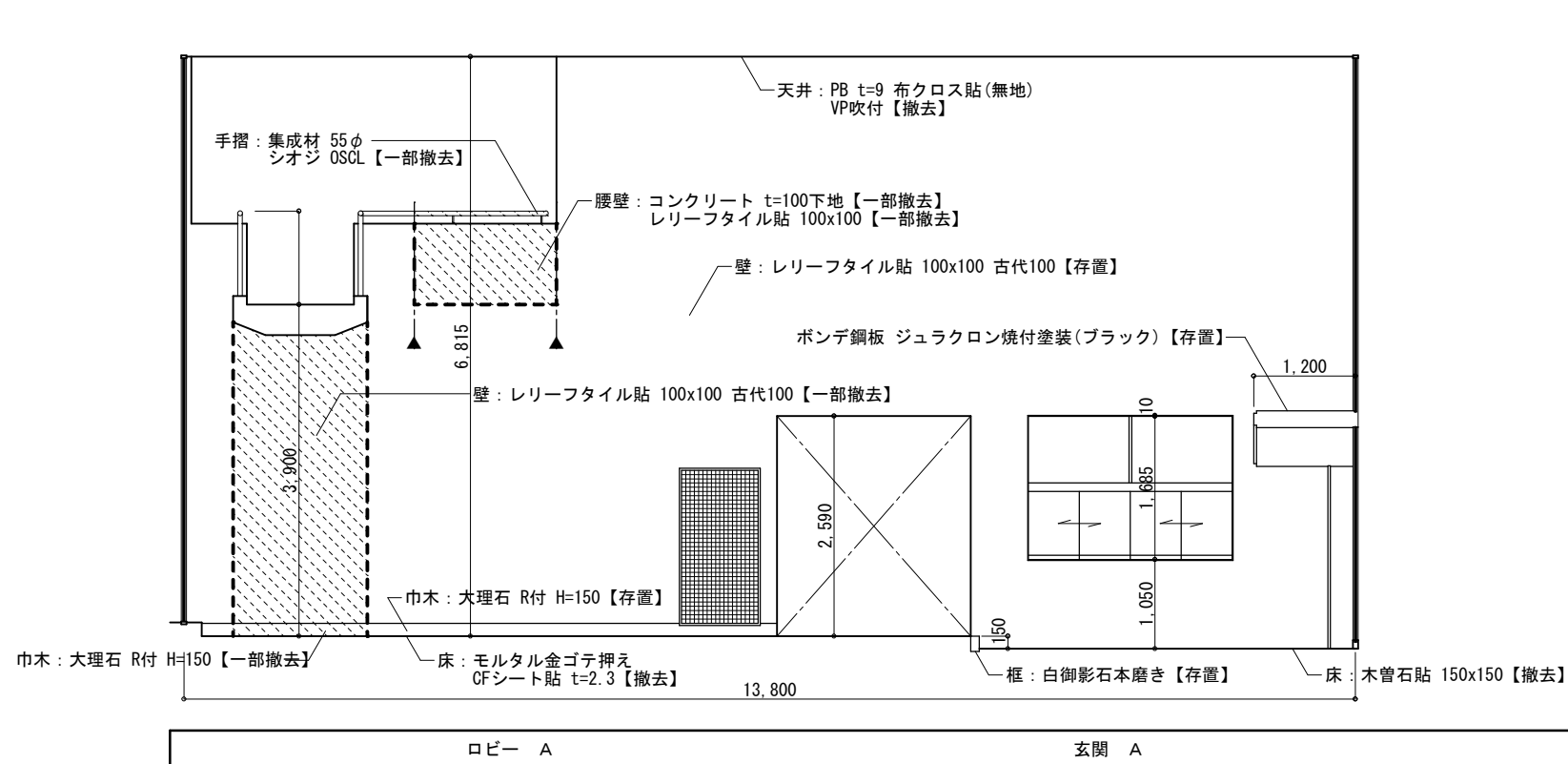
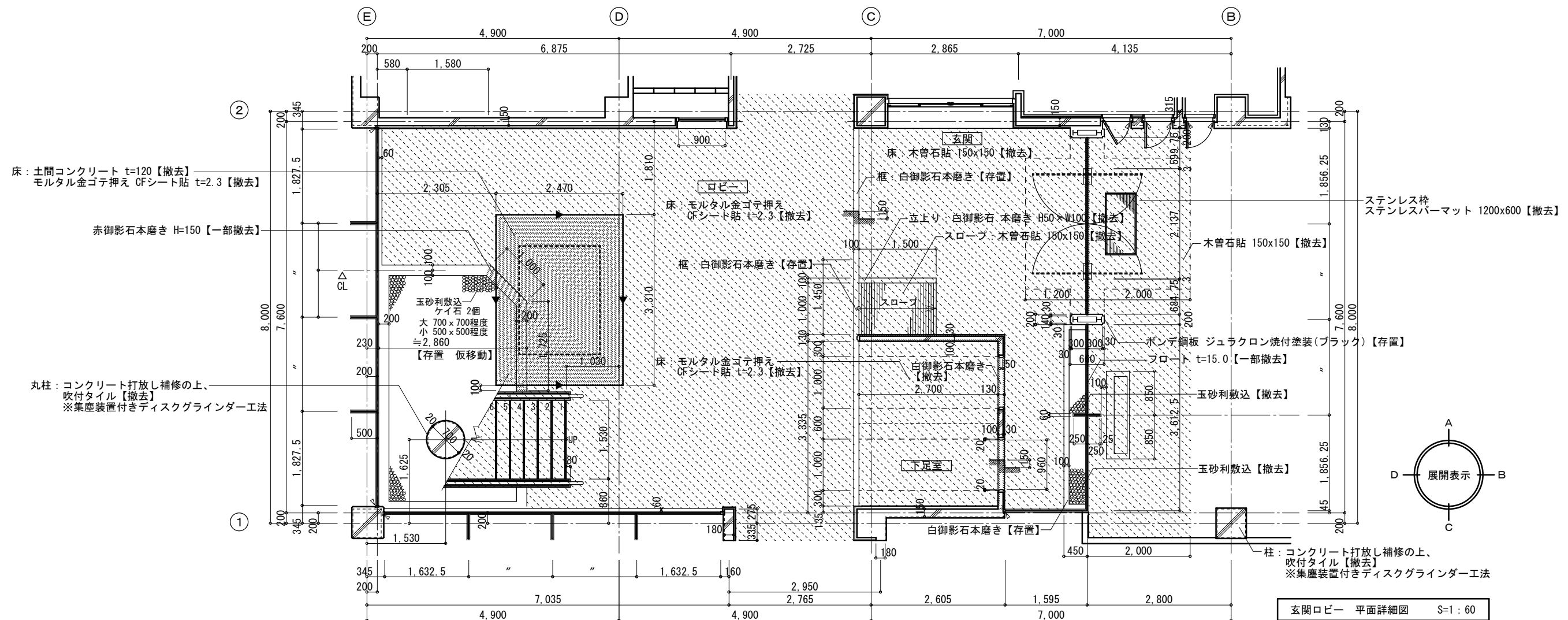
階段平面詳細図 S=1 : 50

- 凡 例
- ※ [Hatched Box] 新設範囲を示す
 - ※ [Dashed Box] 新設部分を示す





階段断面詳細図 S=1 : 30

Ver. H25.02				株式会社 山崎 設計 一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第 219288 号 山崎友也		決 裁 欄	課 長		担当課長		副 課 長		担 当		工事名 六人部地域公民館・体育館大規模改修工事		図 番 No. A-045	
				設 計 番 号			設 計 年 度		令和 年 月								168 枚の内	

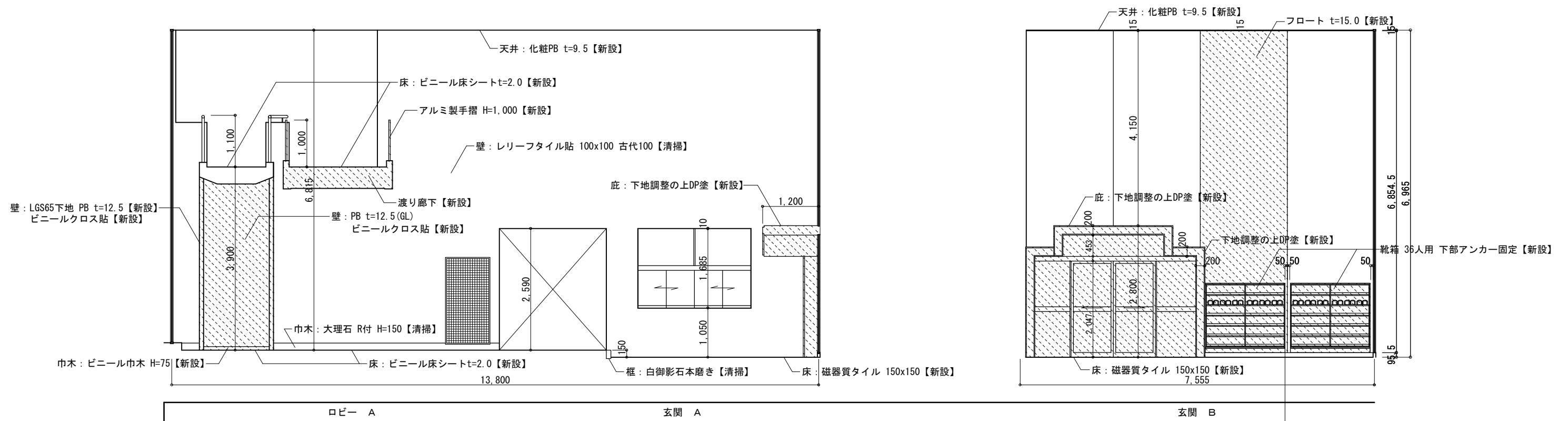
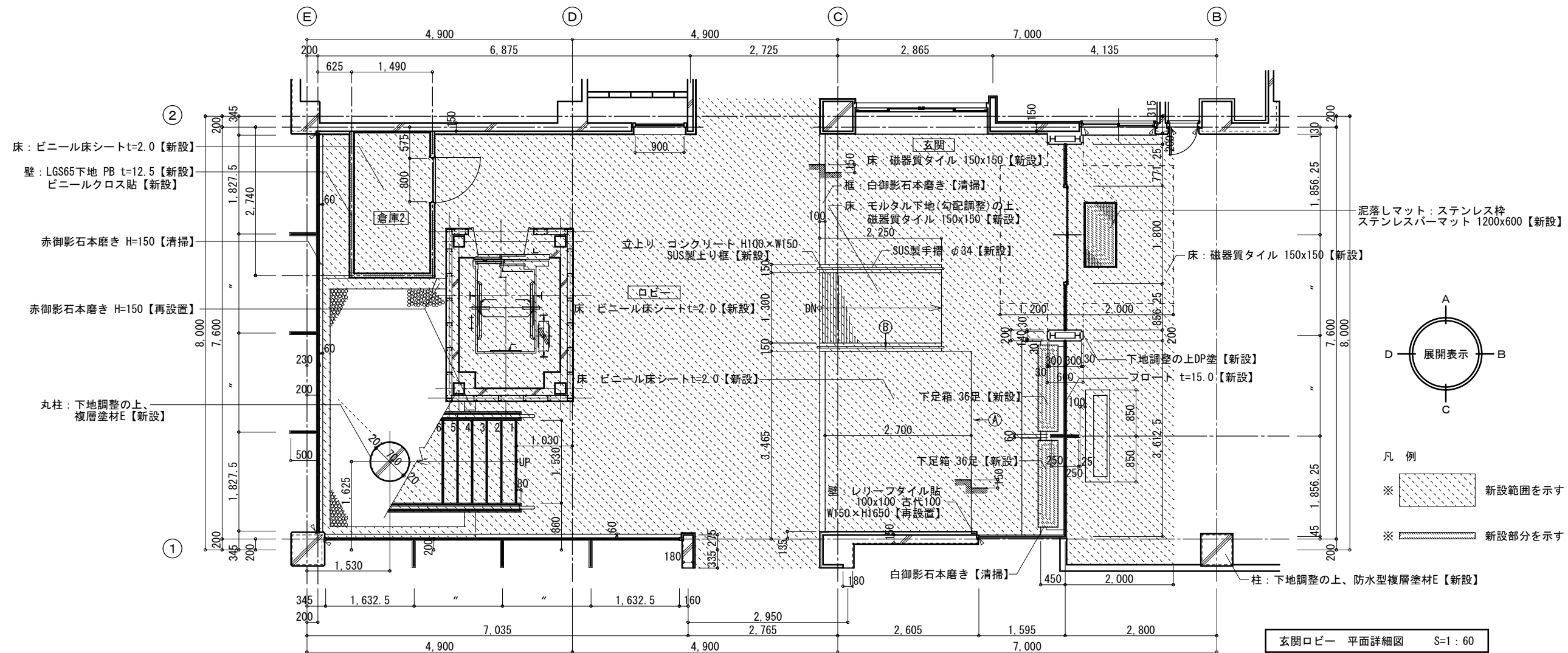


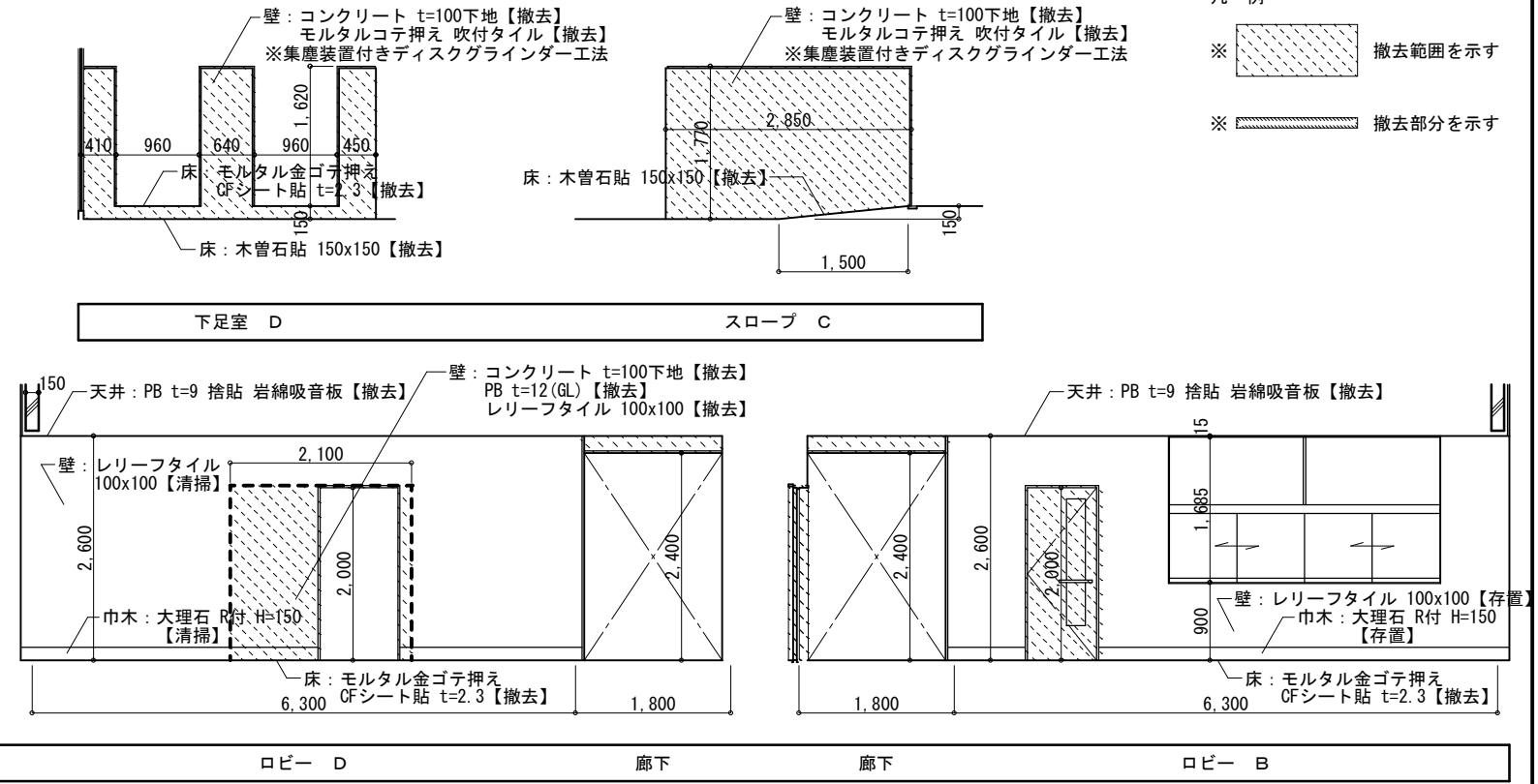
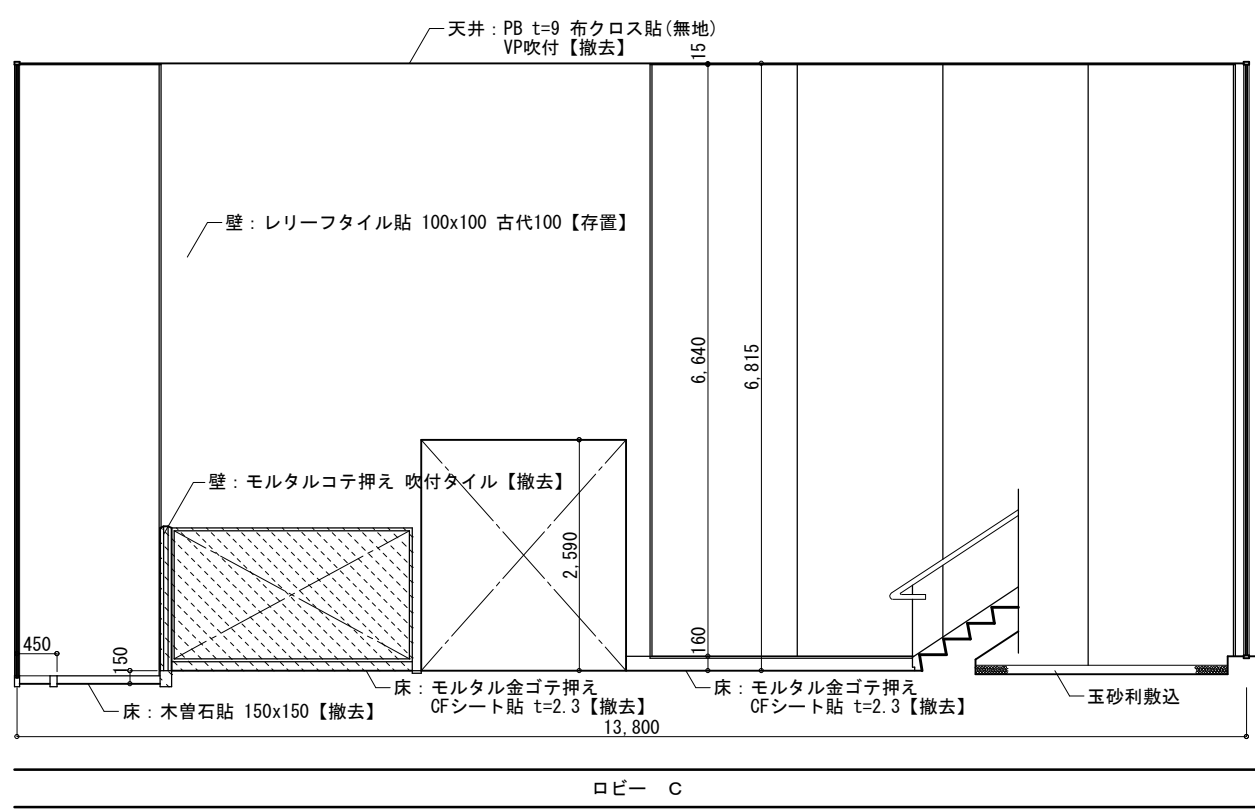
凡 例

※  撤去範囲を示す

※  撤去部分を示す

※ ▼ コンクリート
カッター位置を示す

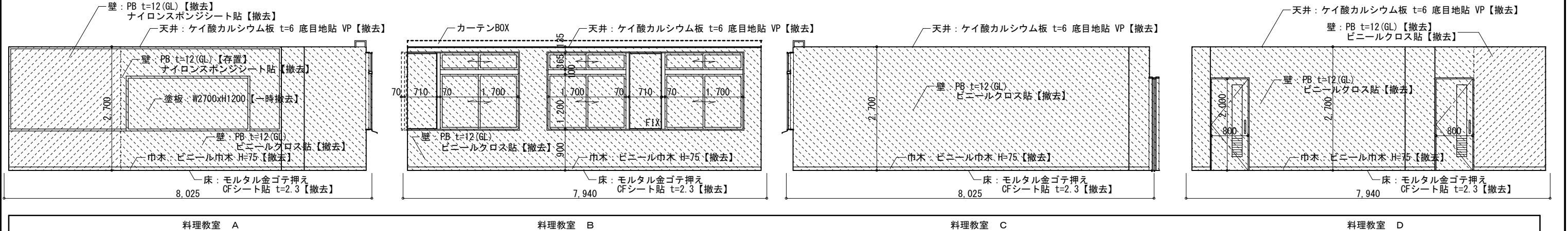
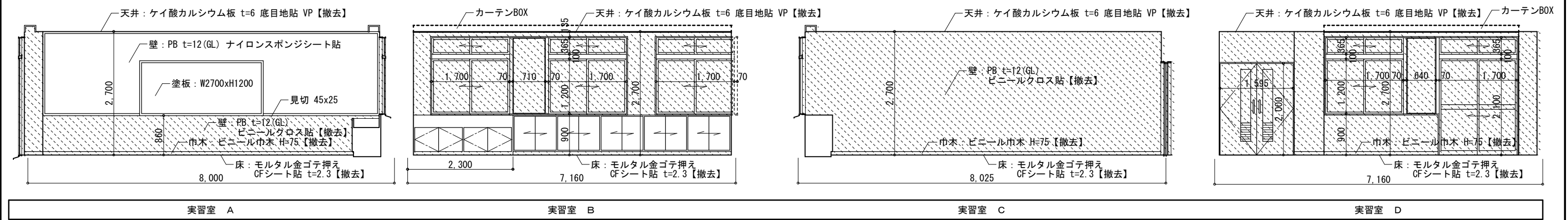


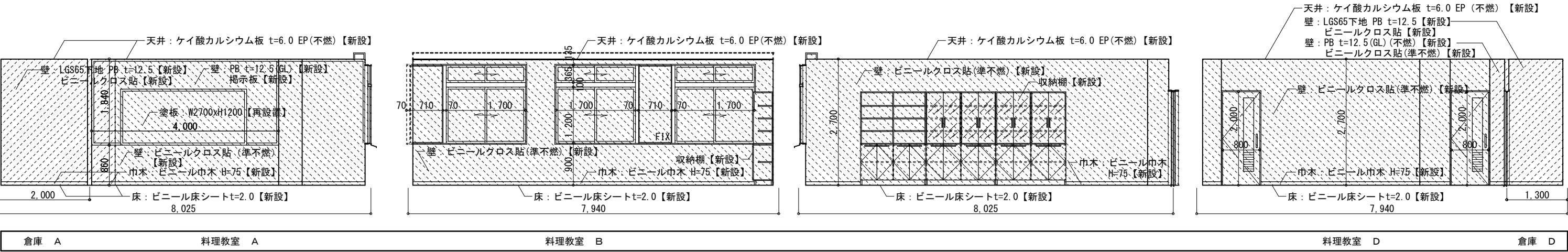
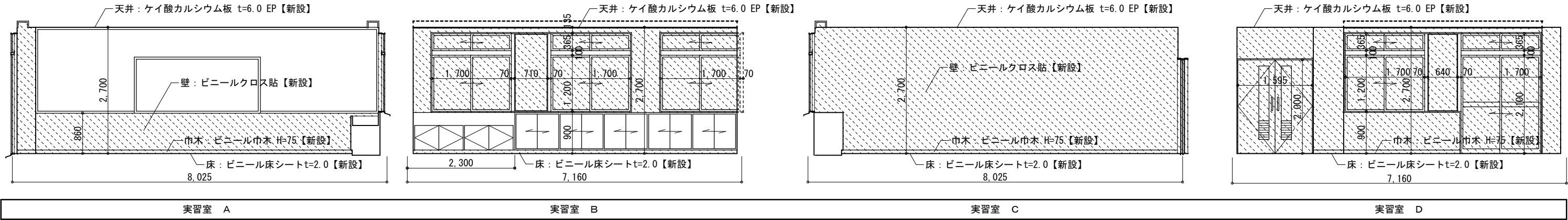
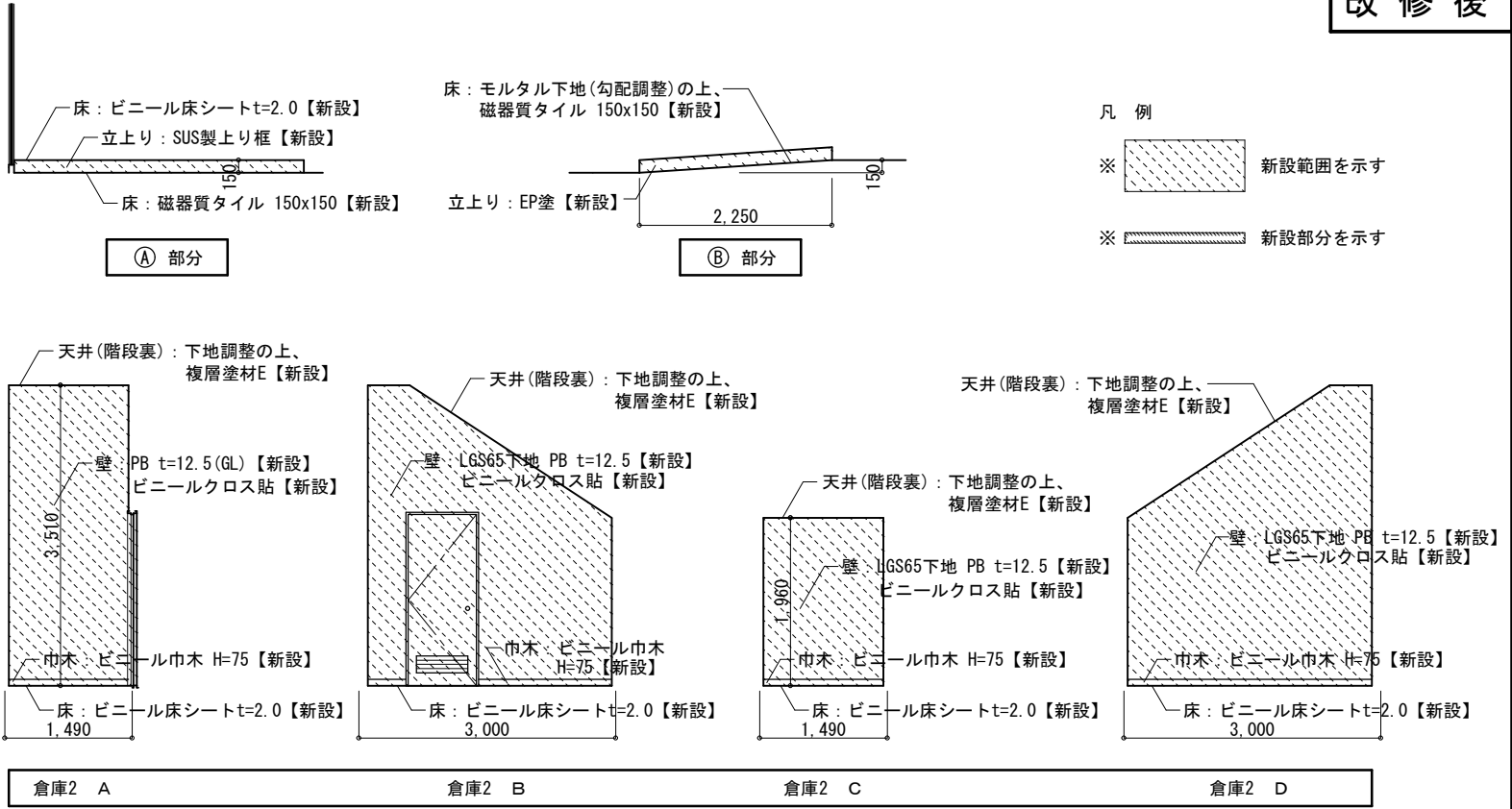
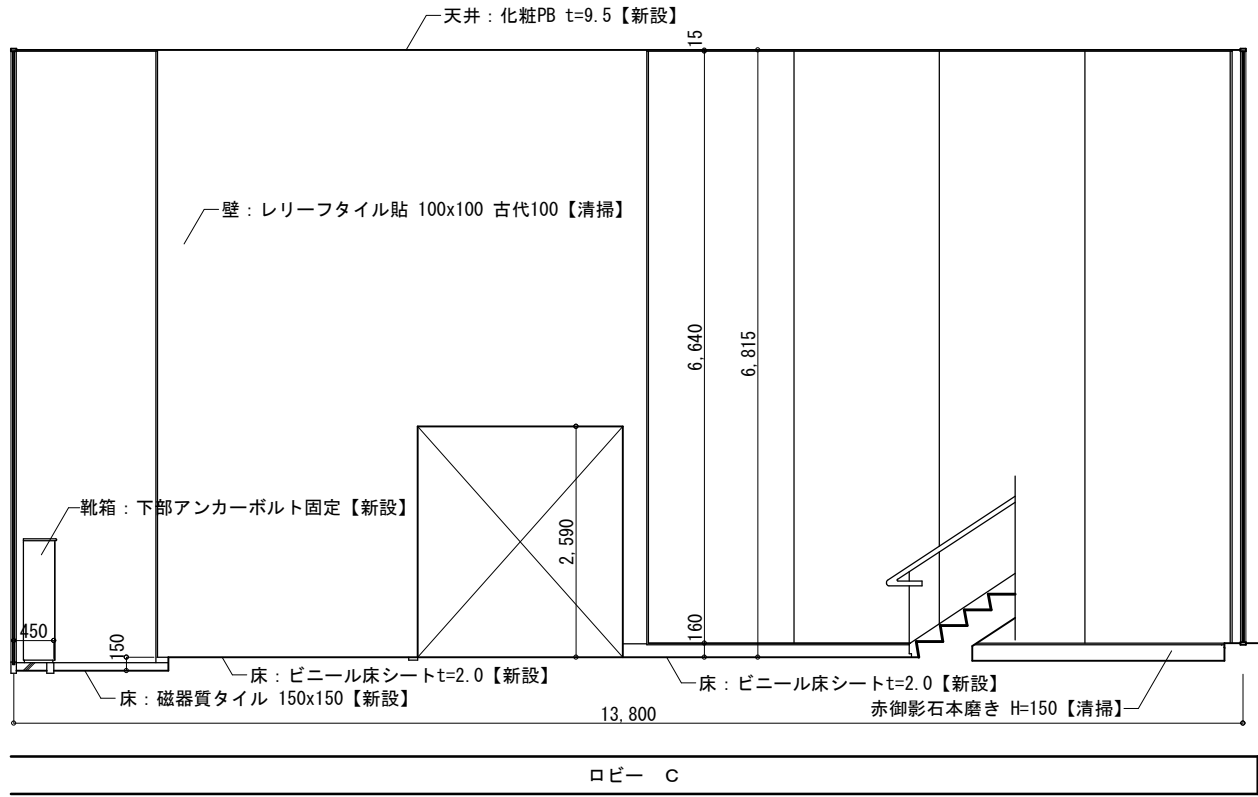


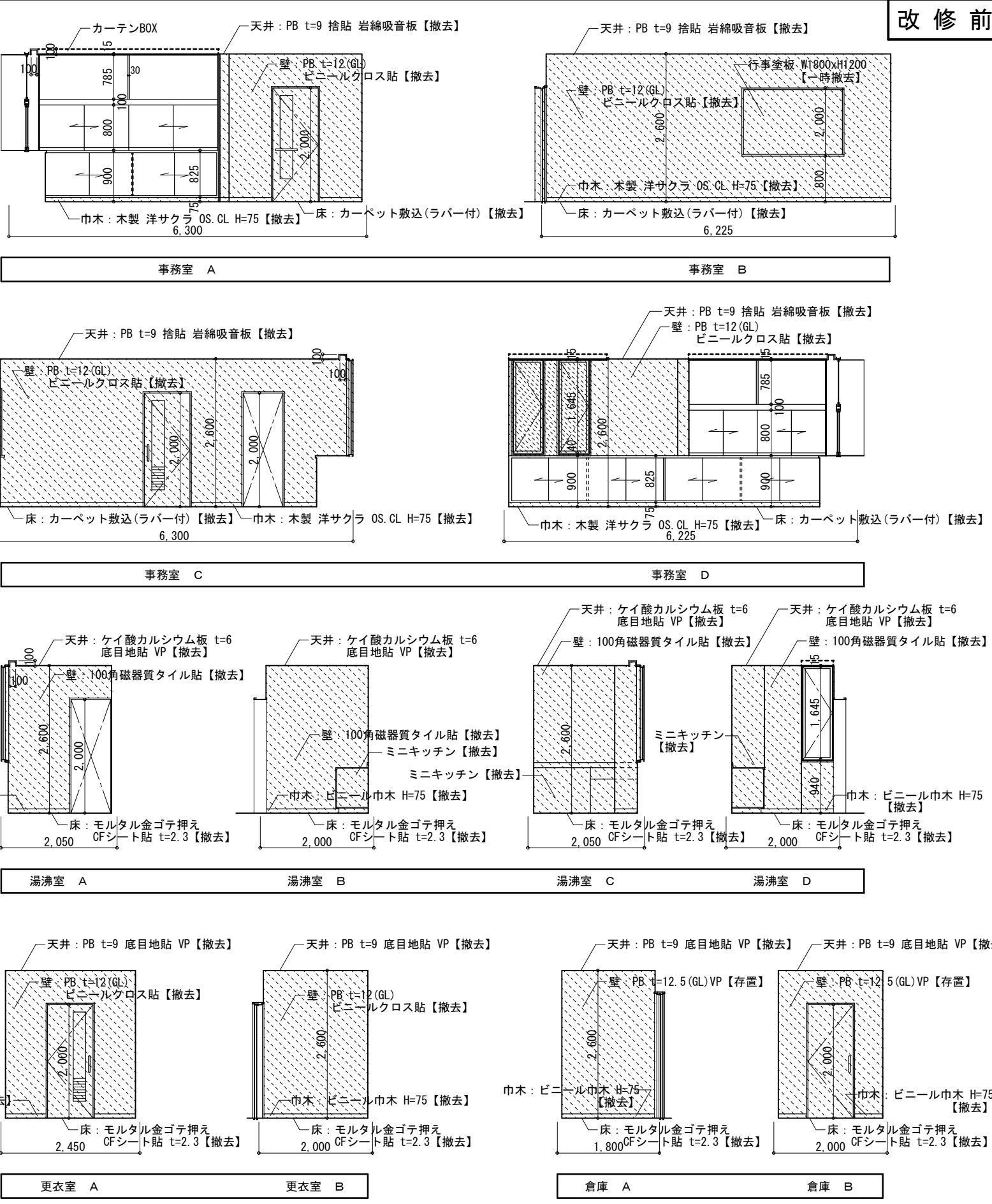
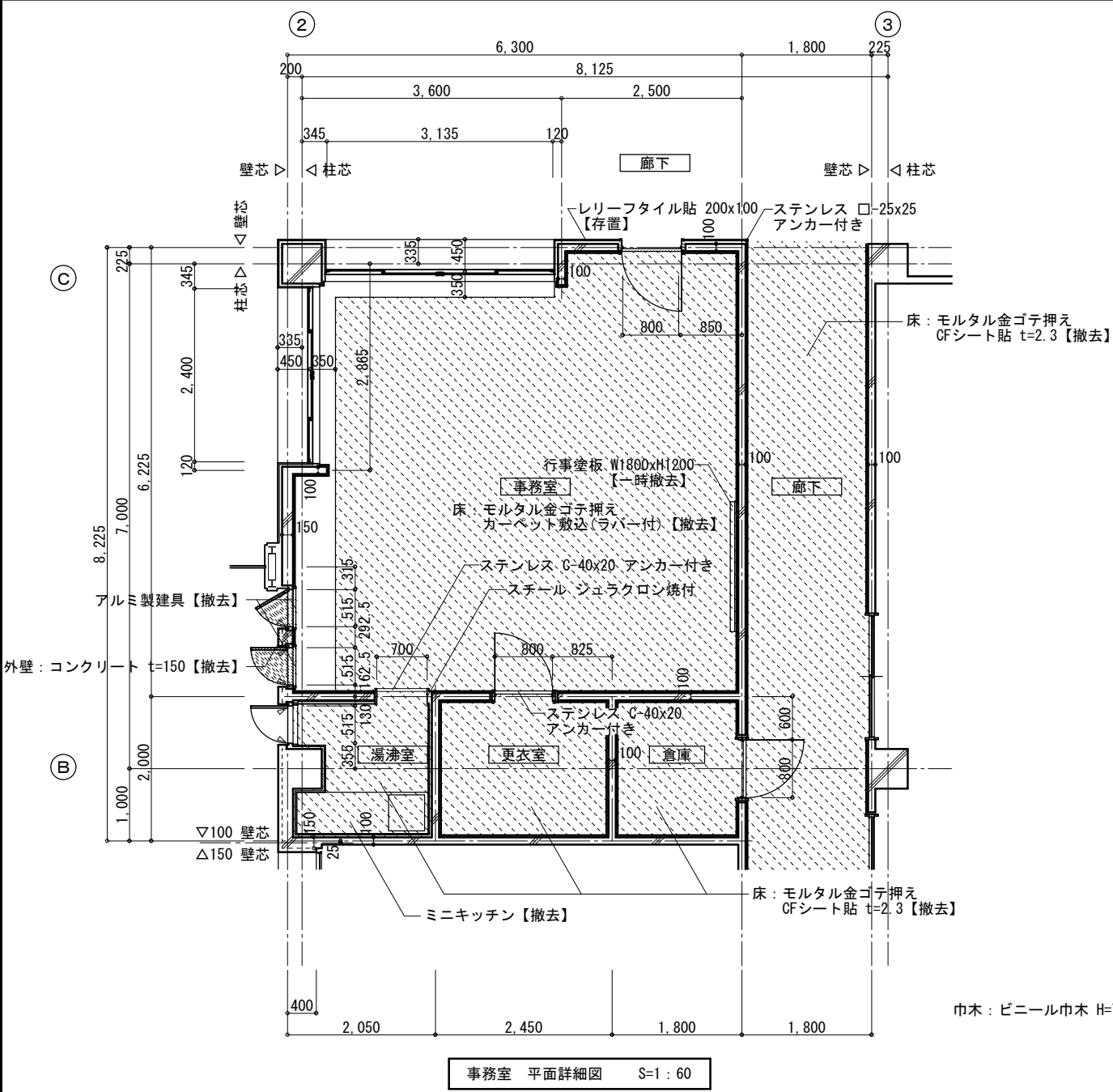
凡 例

※ 撤去範囲を示す

※ 撤去部分を示す







- 凡例
- ※ 撤去範囲を示す
 - ※ 撤去部分を示す